

消 防 年 報

令 和 7 年 版



第 10 回気仙沼・南三陸フォトコンテスト 「天空の島」 藤原栄一氏

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部
(令和 8 年刊行)

は し が き

この消防年報は、気仙沼・本吉地域広域行政事務組合の消防事情を広く紹介するとともに、消防行政の資料として活用するために当組合の現勢並びに令和7年中の消防業務の実態を収録したものです。

本書により消防の実態をご理解いただき、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年8月

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部

目 次

沿 革	1
圏域管内図，位置及び管内情勢	15
組合組織図	16
庁舎，待機宿舎の位置	17
総 務	
予 算	
令和8年度当初歳入歳出予算	18・19
令和8年度（当初）組合消防費にかかる性質別歳出の財源内訳	20
令和8年度（当初）構成市町の一般会計と消防予算	20
令和7年度（決算）構成市町負担金負担割合	20
決 算	
令和7年度歳入歳出決算	21・22
職 員	
配 置 状 況	23
階級別勤続年数	24
階級別年齢	25
年齢構成図	26
学校等教育状況	27
資格取得状況	28
予 防	
防 火 対 象 物	
消防法第17条対象物数	29
用途別消防用設備等の設置状況	30
用途別予防査察状況	31
用途別中高層建築物の現況	32
防火管理者を要する対象物	33
建 築 同 意 事 務	34
危 険 物	
危 険 物 施 設	35
危険物施設の予防査察実施状況	36
危険物事務処理件数	37
民間防火組織	
危険物安全協会結成状況	38
女性防火クラブ結成状況	38

防火管理者協会結成状況	38
幼年消防クラブ結成状況	39
少年消防クラブ結成状況	39

警 防

消 防 車 両

消防車両等の配置状況	40
消防車両等の配置現況	41

消防力の整備指針と現有

消防本部・署所の人員	42
署所及び動力消防ポンプの基準と現有	43

消 防 水 利

管内水利状況	44
--------	----

通 信

通信施設の現況	45
119 番受信件数	46・47
通 信 系 統 図	48

気 象

気 象 統 計	49
気象情報等受信件数	50

管内消防団

組 織 機 構 図	51・52
組 織	53
階級別消防団員数	53
年齢別消防団員数	53
在職年数別消防団員数	54
消防団員報酬	54
消防施設の現況	54

火災・救急・救助統計

火 災 統 計

火災件数及び損害額の推移	55
火災発生状況（署所別）	56・57
〃 （覚知別）	57
〃 （月 別）	58・59
月別火災発生状況	60
曜日別火災発生状況	61

時間別火災発生状況	61
原因別火災発生状況・損害額	62
建物用途別火災発生状況（火元）	63

救 急 統 計

救急概況	64
事故種別活動状況	65
署所別事故別活動状況	66
署所別救急活動状況	67
月別出動件数	68
時間別出動件数	69
曜日別搬送人員	70
年齢区分・傷病程度別搬送人員	71
年齢区分別搬送人員	72
医療機関別搬送人員	73
覚知別出動状況，不搬送理由，診療科目別搬送状況，その他の統計	74
救急活動の推移	75

救 助 統 計

事故種別救助活動状況	76
救助活動の推移	77

防災センター

防災センターの概要	78
月別・地域別利用状況	79
月別・曜日別利用状況	80
利用者別状況	81
主 な 備 蓄 品	81

沿革

昭和46年 7月21日	宮城県知事から広域市町村圏の指定受ける。
8月 2日	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合設立。
昭和47年 4月 1日	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部発足。
〃	初代消防長に加藤留七就任。
〃	広域消防職員として前気仙沼市消防本部職員 55 人任用，18 人新規採用。（消防職員定数 155 人）
4月10日	宮城県より危険物規制事務を引き継ぐ。
4月15日	消防常備化市町村の指定（郡内 5 町）を受ける。
8月 4日	消防職員 16 人採用。
12月 1日	広域消防の業務開始。（1 本部，2 消防署，1 分署，4 出張所）
12月 4日	消防職員 15 人採用。
12月20日	志津川消防署庁舎落成。
12月25日	志津川消防署津山出張所庁舎落成。
昭和48年 1月 7日	気仙沼消防署本吉分署庁舎落成。
1月18日	志津川消防署歌津出張所庁舎落成。
1月24日	広域消防間の相互応援協定締結。（石巻，塩釜，登米，大崎の各広域消防本部）
1月25日	気仙沼消防署唐桑出張所庁舎落成。
1月30日	管内各消防無線固定局開局。
1月31日	広域消防開庁祝賀会開催。
3月15日	気仙沼消防署に救急自動車配置。
3月23日	広域消防間の相互応援協定締結。（岩手県両磐地区，陸前高田市の各消防本部）
3月25日	財日本自動車工業会から救急自動車の寄贈を受け，気仙沼消防署に配置。
4月 2日	消防職員 21 人採用。
4月24日	気仙沼本吉地区危険物安全協会結成。
6月20日	救急業務市町村の指定（郡内 5 町）を受ける。
7月19日	干害対策本部設置。
8月 2日	消防職員 14 人採用。
8月23日	志津川消防署に消防ポンプ自動車配置。
10月 1日	気仙沼海上保安署と業務協定締結。
昭和49年 3月 2日	消防職員（船舶職員）3 人採用。
3月31日	気仙沼消防署「望楼」勤務を廃止。（昭和 12 年建設，昭和 60 年撤去）
4月 4日	消防職員 10 人採用。
4月16日	気仙沼消防署臨港出張所落成。
〃	消防艇「あさぎり」配置。
7月30日	第 1 回消防職員技術大会実施。（以後毎年実施）
12月 5日	志津川町防火管理者協会結成。
昭和50年 3月14日	気仙沼市で市民消防学校を開催。

昭和50年 6月 2日	消防職員 1 人採用。
6月10日	昭和 50 年度宮城県総合防災訓練を気仙沼市 内の脇地区において実施。
7月 1日	消防職員 1 人採用。
9月11日	(財)日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
10月 1日	第 2 代消防長に村上栄就任。
11月13日	「第 8 なか丸」歌津沖で転覆事故。気仙沼港に曳航、人命搜索救助活動を実施。
昭和51年 3月23日	志津川町で町民消防学校を開催。
6月 8日	消防本部庁舎増築落成。
8月20日	本吉町防火管理者協会結成。
12月 2日	気仙沼市大島地区に駐在員 2 人派遣。
12月10日	本吉町で町民消防学校を開催。
12月18日	唐桑町で町民消防学校を開催。
昭和52年 2月 1日	消防音楽隊結成。(隊員 25 人)
3月11日	歌津町で町民消防学校を開催。
3月19日	津山町で町民消防学校を開催。
3月30日	気仙沼信用金庫から救助工作車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
4月11日	津山町防火管理者協会結成。
10月28日	気仙沼消防署、志津川消防署に作業車更新配置。
11月 2日	気仙沼消防署に指令車更新配置。
11月12日	唐桑町防火管理者協会結成。
11月19日	気仙沼市大島地区で市民消防学校を開催。
昭和53年 4月 1日	消防職員 3 人採用。
4月 3日	消防本部、志津川消防署の消防救急通信指令装置が完成。
6月12日	宮城県沖地震。
7月27日	第 7 回全国消防救助技術大会(千葉市)に、水中検索の部で高崎秀敏消防士出場。
12月 1日	広域行政事務組合が理事制に移行。
昭和54年 3月20日	本吉町で同時大規模林野火災発生。(12ha・5 ha) 管内消防団、登米広域消防本部及び両磐広域消防本部の応援を受ける。
4月 6日	気仙沼消防署大島出張所庁舎落成。
4月20日	消防本部に指令車更新配置。
4月26日	昭和 54 年度宮城県林野火災防ぎょ訓練を歌津町田束山において実施。
6月16日	唐桑町で少年消防クラブ結成。
12月13日	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合職員互助会発足。
12月25日	(有)気仙沼モータースから人員搬送車の寄贈を受け、消防本部に配置。
12月26日	気仙沼消防署に消防ポンプ自動車更新配置。
〃	気仙沼消防署に屈折梯子車配置。
昭和55年 5月29日	第 3 回全国消防職員意見発表大会(東京都)において、錦部照夫消防士長最優秀賞受賞。
6月 1日	志津川町、歌津町及び津山町消防職員待機宿舎落成。
6月10日	消防本部に査察車更新配置。

昭和55年 8月28日	(財)日本船舶振興会から救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
9月 1日	昭和 55 年度宮城県総合防災訓練を気仙沼市館山地区で実施。
9月18日	気仙沼消防署唐桑出張所、志津川消防署歌津出張所及び津山出張所に防火広報車配置。
10月 1日	第3代消防長に畠山誠就任。
11月21日	歌津町防火管理者協会結成。
12月19日	気仙沼消防署南出張所に消防ポンプ自動車更新配置。
12月27日	宮城県知事から空中消火用資機材の保管を委託され、志津川消防署で管理。
昭和56年 1月10日	(財)日本船舶振興会から防火広報車の寄贈を受け、消防本部に配置。
4月 1日	消防職員 4 人採用。
6月 4日	歌津町で幼年消防クラブ結成。
8月11日	気仙沼本吉地区婦人防火クラブ連合会結成。(1 市 5 町)
11月30日	気仙沼消防署本吉分署に査察車、志津川消防署に指令車更新配置。
12月14日	(社)日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受け、志津川消防署津山出張所に配置。
昭和57年 2月25日	唐桑町消防職員待機宿舎落成。
3月17日	気仙沼消防署本吉分署に救急自動車更新配置。
3月19日	気仙沼消防署に消防ポンプ自動車配置。
4月 1日	第4代消防長に川合昭伍就任。
〃	消防職員 3 人採用。
4月11日	気仙沼市魚市場に係留中の「第 11 豊洋号」(ブンヤン号)において、アンモニアガス噴出事故発生。死者 8 人、負傷者 6 人。 この救助活動に従事した職員及び団体の功績に対し、(財)宮城県消防協会長から「功労章」、(財)日本消防協会長から「現場功労章」、宮城県知事から「顕彰状」、消防庁長官から「功績章」が授与され、内閣総理大臣から当消防本部に対して昭和 58 年度「防災功労章」が授与された。
6月10日	気仙沼市で幼年消防クラブ結成。
7月12日	津山町で幼年消防クラブ結成。
7月30日	第 25 回宮城県消防操法大会を気仙沼市で開催。
8月24日	(財)日本消防協会から緊急用ろ水器が寄贈され、気仙沼消防署と志津川消防署に配置。
9月 9日	「救急の日」制定。
12月 1日	気仙沼消防署に照明電源車配置。
昭和58年 1月30日	志津川消防署に救急自動車更新配置。
3月 9日	志津川町で幼年消防クラブ結成。
3月30日	本吉町消防職員待機宿舎落成。
4月 1日	警防課に通信担当者 2 人配置。
6月 2日	第 6 回全国消防職員意見発表大会(京都府)において、芳賀保宏消防士優秀賞受賞。
昭和59年 3月16日	宮城県知事から「林野火災特別地域」の指定を受ける。
4月 1日	消防職員 3 人採用。
7月10日	宮城県防災気仙沼消防無線局を開局。
7月20日	本吉町で少年消防クラブ結成。

昭和59年12月 4日	本吉町で幼年消防クラブ結成。
昭和60年 2月 8日	志津川消防署に水槽付消防ポンプ自動車配置。
2月15日	異常気象（厳冬による消防水利確保困難）のため「火災警報」発令。
3月12日	気仙沼消防署本吉分署に水槽付消防ポンプ自動車配置。
4月 1日	消防職員 3 人採用。
6月 1日	宮城県防災気仙沼消防無線局にファクシミリ開通。
8月 1日	消防衛生管理規程制定。
8月19日	異常渇水のため消防対策本部設置。（9月2日まで継続）
8月23日	第 14 回全国消防救助技術大会（広島市）において、伊藤大志消防士「ロープ登はんの部」入賞。
8月26日	財日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
10月 8日	第 32 回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
11月27日	第 1 回「火災予防キャンペーン」実施。（以後毎年実施）
12月18日	国道 45 号線安波山トンネル開通に伴う関係機関合同総合訓練。（以後隔年実施）
昭和61年 1月 6日	消防出初式に「梯子乗り」登場。
3月 8日	「消防表彰式」創設。（以後毎年実施）
3月10日	財日本自動車工業会から救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
3月27日	志津川消防署歌津出張所、津山出張所に消防ポンプ自動車更新配置。
4月 1日	消防職員 2 人採用。
8月 5日	台風 10 号くずれの低気圧により、宮城県全域で大雨洪水による被害多発。
10月16日	気仙沼市で「幼年消防フェア」開催。
11月27日	気仙沼消防署唐桑出張所、志津川消防署歌津出張所に広報車更新配置。
〃	広域組合消防計画書策定。
昭和62年 3月18日	気仙沼消防署に指令車更新配置。
3月26日	「火災警報」発令。
5月15日	異常渇水のため消防対策本部設置。
5月28日	第 10 回全国消防職員意見発表大会（横浜市）において、佐藤武敏消防士長優秀賞受賞。
8月 1日	広域組合消防安全管理規程制定。
8月12日	第 30 回宮城県消防操法大会を志津川町で開催。
9月 1日	財日本船舶振興会から救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
10月23日	気仙沼消防署、志津川消防署に作業車更新配置。
11月 9日	「119 番の日」制定。
11月17日	株アーバンから防災指揮車の寄贈を受け、消防本部に配置。
12月19日	危険物安全協会創立 30 周年記念式典開催。
昭和63年 4月 1日	東京消防庁への研修派遣制度導入。（計 8 人派遣）
6月 4日	気仙沼市で少年消防クラブ結成。
8月19日	第 17 回全国消防救助技術大会（横浜市）において、伊藤大志消防士「ロープブリッジ渡過の部」入賞。
昭和63年10月 7日	志津川消防署津山出張所に広報車を更新配置。

平成元年 1月29日	4週6休実施。
2月21日	宮城県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
4月18日	平成元年度宮城県林野火災防ぎょ訓練を気仙沼市 太田放牧地において実施。
8月 8日	(有)気仙沼モーターズへの車両整備技術取得研修派遣制度導入。(計8人派遣)
12月25日	唐桑町で幼年消防クラブ結成。
平成 2年 2月21日	広域組合の休日进行定める条例制定。
3月29日	消防訓練塔落成。
3月31日	消防職員高齢化対策で職員2人退職。(4月1日付で気仙沼市へ身分移管)
4月 1日	消防職員3人採用。
4月26日	第13回全国消防長会東北支部意見発表大会(新潟市)において、森淳一消防士長優秀賞受賞。
5月17日	第41回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
7月 6日	第15回宮城県消防救助技術指導会を気仙沼市で開催。
8月24日	第19回全国消防救助技術大会(広島市)において、志津川消防署隊 大森透消防副士長、伊藤大志、阿部権吾、昆野誠消防士「ロープブリッジ救出の部」入賞。
9月 1日	9.1宮城県総合防災訓練を志津川町で開催。
平成 3年 2月25日	消防本部に人員輸送車配置。
〃	人員輸送車運行管理要綱制定。
3月31日	消防職員高齢化対策で職員1人退職。(4月1日付で気仙沼市へ身分移管)
4月 1日	第5代消防長に若杉市郎就任。
〃	消防職員2人採用。
〃	(財)日本消防協会へ職員1人研修派遣。
8月28日	第20回全国消防救助技術大会(大阪府)において、伊藤大志消防士「ロープブリッジ渡過の部」入賞。
9月 9日	カメイ(株)から広報車の寄贈を受け、消防本部に配置。
10月 1日	消防職員高齢化対策で職員1人広域組合に研修派遣。
〃	宮城県防災航空隊に職員1人派遣。
12月 9日	気仙沼消防署、本吉分署、志津川消防署、津山出張所に救急応急処置範囲の拡大に伴う9点セットを配置。
平成 4年 3月21日	岩手県東磐井郡室根村地内の大川にタンクローリー横転、重油流出により「大川油流出事故対策本部」を設置、消防職・団員及び自衛隊(第22普通科連隊)が災害復旧活動に従事。(4月14日対策本部解散) また、3月24日から3日間、広域消防相互応援協定に基づき、大崎広域消防本部、塩釜地区消防本部、両磐地区消防本部からのタンク車による応援を受けた。
3月31日	志津川消防署に指令車、気仙沼消防署本吉分署に査察車更新配置。
〃	消防職員高齢化対策で職員4人退職。(4月1日付で広域組合、唐桑町、本吉町、津山町へ身分移管)
4月 1日	消防職員4人採用。
〃	宮城県広域航空消防応援協定締結。

平成 4年 8月28日	第 21 回全国消防救助技術大会（千葉市）において、伊藤大志消防士「ロープブリッジ渡過の部」入賞。
9月 4日	財日本防火協会より防火広報車の寄贈を受け、消防本部に配置。
10月21日	第 8 回全国婦人消防操法大会（横浜市）において、津山町婦人消防隊準優勝。
10月30日	広域組合設立、広域消防発足 20 周年記念式典挙行。 浅野大三郎消防庁長官が記念講演。
平成 5年 2月 1日	4 週 8 休実施。
2月 8日	気仙沼三菱自動車販売(株)より連絡広報車の寄贈を受け、気仙沼消防署大島出張所に配置。
3月31日	消防職員高齢化対策で職員 1 人退職。（4 月 1 日付で志津川町へ身分移管）
4月 1日	消防職員 1 人採用。
〃	消防職員定数を 187 人に改正。
4月18日	津山町で大規模林野火災発生（10ha 焼失）管内消防団の応援を受ける。
10月 1日	気仙沼消防署唐桑出張所に救急自動車（2 B 型）配置。
10月26日	消防本部、気仙沼消防署、広域防災センター新庁舎落成。
平成 6年 1月31日	気仙沼消防署南出張所廃止。
2月 1日	消防本部、気仙沼消防署新庁舎で業務開始。
〃	消防緊急通信指令施設開通式。（119 番統合）
〃	気仙沼・本吉広域防災センター条例施行。
〃	気仙沼・本吉広域防災センター職員辞令交付。（全員併任発令）
〃	気仙沼消防署南町出張所設置（臨港出張所併合）職員 8 人配置。
2月28日	消防緊急通信指令施設（Ⅱ型）完成。
3月23日	気仙沼消防署に高規格救急自動車配置。
3月29日	消防本部・気仙沼消防署・広域防災センター新庁舎落成式。
4月 1日	消防職員 7 人採用。
〃	警防課内に通信指令室勤務 6 人を配置、2 部制とした。
〃	「気仙沼・本吉広域防災センター」オープン。
4月17日	唐桑町漁火パーク「登山リフトカー」暴走事故。負傷者 31 人。
5月25日	救急救命士国家試験（1 人）合格。（以降毎年度養成）
8月12日	異常渇水による消防対策本部設置。（8 月 22 日まで）
9月30日	財日本損害保険協会から救助工作車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
10月27日	第 50 回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
11月13日	広域防災センター入館者 10, 000 人達成。
平成 7年 2月 1日	地震津波災害警防計画作成。
3月20日	気仙沼消防署南町出張所に消防ポンプ自動車更新配置。
4月 1日	消防本部に通信指令室を設け室長及び通信情報係・通信管理係を置き、消防署に救急係・救助係を配置し、分署に警防係・予防係を配置。
〃	消防職員 8 人採用。
5月 9日	旅客船「くろさき」岸壁衝突事故。負傷者 149 人。
7月14日	広域防災センター入館者 20, 000 人達成。

平成 7年 8月22日	当消防本部が緊急援助隊救急部隊に登録される。
8月25日	第 24 回全国消防救助技術大会（北九州市）において、志津川消防署隊 大森透、佐藤宗一、菅原健治消防士長、阿部権吾、小山敏光消防士「引揚救助の部」入賞。
12月 1日	宮城県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、歌津出張所に配置。
12月15日	気仙沼消防署大島出張所に消防ポンプ自動車更新配置。
平成 8年 4月 1日	第 6 代消防長に熊谷昭一就任。
〃	消防職員 7 人採用。
5月26日	広域防災センター入館者 30,000 人達成。
10月11日	消防職員委員会規則公布。
12月11日	第 1 回消防職員委員会開催。（以後毎年開催）
12月19日	第 1 回緊急消防援助隊北海道・東北ブロック合同訓練参加。（仙台市 20 日まで）
平成 9年 1月 8日	志津川消防署に災害対応特殊救急自動車配置。
2月 3日	気仙沼消防署待機宿舍移転落成。
2月16日	広域防災センター入館者 40,000 人達成。
2月28日	気仙沼消防署臨港出張所廃止。
4月 1日	第 7 代消防長に藤原博就任。
〃	消防職員 6 人採用。
〃	給与振込開始。
7月25日	志津川消防署歌津出張所の広報車更新、多機能型広報車配置。
平成10年 2月 8日	広域防災センター入館者 50,000 人達成。
3月 1日	自動車電話・携帯電話 119 番受付業務開始。
3月16日	気仙沼消防署に小型動力ポンプ付水槽車配置。
4月 1日	消防職員 6 人採用。
〃	通信指令室に 9 人配置。
6月15日	志津川消防署津山出張所に多機能型消防広報車配置。
12月 7日	広域防災センター入館者 60,000 人達成。
12月22日	気仙沼消防署大島出張所に救急自動車（2 B 型）配置。
平成11年 1月25日	気仙沼消防署に消防ポンプ自動車（CD－Ⅱ型）配置。
4月 1日	消防職員 5 人採用。
〃	消防職員定数を 197 人に改正。
5月13日	第 59 回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
11月12日	志津川消防署に資機材搬送車配置。
12月10日	志津川消防署津山出張所に高規格救急自動車配置。
12月31日	コンピュータ西暦 2000 年問題に伴う警戒。
平成12年 2月 1日	年間訓練計画に基づく水難救助訓練開始。
3月10日	高速消防救急艇「あさぎり」就航。（19t）
3月15日	志津川消防署歌津出張所新庁舎落成。
3月23日	広域防災センター入館者 70,000 人達成。
4月 1日	消防職員 5 人採用。

平成12年 4月 1日	権限移譲事務の開始。(煙火消費の許可事務, 建設用びょう打ち銃用空砲許可事務, 液化石油ガスの設備工事に関する事務)
4月27日	気仙沼消防署本吉分署に高規格救急自動車配置。
7月 7日	気仙沼消防署唐桑出張所に消防ポンプ自動車 (CD-I 型) 配置。
7月25日	第 41 回宮城県消防操法大会を歌津町で開催。
平成13年 3月31日	広域防災センター入館者 80,000 人達成。
4月 1日	消防職員 6 人採用。
〃	宮城県内航空消防応援協定締結。
〃	防災・消防ヘリコプター24 時間運航開始。
〃	広域消防水難救助隊発足。(潜水士資格者 18 人)
9月20日	「宮城県沖地震長期評価」の発表に伴い, 地震・津波対策検討委員会設置。
11月21日	気仙沼・本吉地域広域テロ対策特別本部の設置。化学防護服を気仙沼消防署, 本吉分署, 志津川消防署に配備。
12月18日	気仙沼消防署南町出張所に高規格救急自動車配置。
平成14年 4月 1日	第 8 代消防長に菊田清一就任。
〃	消防職員 5 人採用。
4月17日	平成 14 年度宮城県林野火災防ぎょ訓練を本吉町小泉地区において実施。
5月 8日	広域防災センター入館者 90,000 人達成。
10月 1日	高速消防救急艇あさぎり大島係留開始。
10月 9日	組合設立, 広域消防発足 30 周年記念式典挙行。
12月10日	志津川消防署歌津出張所に消防ポンプ自動車 (CD-I 型) 配置。
12月13日	志津川消防署に水槽付消防ポンプ自動車 (I-A 型) 配置。
〃	気仙沼消防署本吉分署に水槽付消防ポンプ自動車 (I-A 型) 配置。
平成15年 2月26日	(社)気仙沼市シルバー人材センターから指揮車の寄贈を受け, 消防本部に配置。
3月11日	気仙沼地域メディカルコントロール協議会設立。
3月26日	気仙沼消防署唐桑出張所に高規格救急自動車配置。
4月 1日	消防職員 3 人採用。
〃	通信指令室を通信指令課に改め 3 部体制 (職員 10 人) とした。
5月14日	広域防災センター入館者 100,000 人達成。
5月26日	三陸南地震。管内で震度 5 強観測。
6月 4日	地震津波災害活動計画作成。
7月26日	宮城県北部連続地震。 7 月 28 日から 2 日間, 延べ人員 6 人を鹿島台町に派遣し, タンク車による応援活動を実施。 この応援活動に対し, 消防庁長官から当消防本部に「功労章」が授与された。
8月26日	宮城県消防協会本吉支部の事務局所在地及び業務が, 宮城県気仙沼地方振興センターから消防本部へ移管。
10月 1日	地震津波安全対策担当配置。
10月23日	第 68 回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
11月19日	気仙沼消防署に消防ポンプ自動車 (BD-I 型) 配置。

平成15年12月 8日	志津川消防署津山出張所に消防ポンプ自動車（CD－I型）配置。
平成16年 4月 1日	消防職員 3人採用。
4月28日	第 27 回全国消防長会東北支部意見発表大会（新潟市）において、阿部利彦消防士が優秀賞受賞。
9月 1日	平成 16 年度 9. 1 宮城県総合防災訓練を気仙沼市階上地区において実施。
〃	緊急通報 F A X 受信運用開始。
9月30日	広域防災センター入館者 110,000 人達成。
平成17年 2月23日	当消防本部初の「気管挿管認定」救急救命士誕生。
3月31日	登米市（4 月 1 日）への身分移管に伴う職員 10 人退職。 広域市町村合併に伴う志津川消防署津山出張所の消防業務事務引継及び閉庁式を実施。
4月 1日	津山町が組合を脱退し、1 市 4 町で組合再編。
5月28日	気仙沼港において塩釜海上保安部「巡視船くりこま」潜水隊との合同潜水訓練実施。
8月16日	8. 16 宮城県沖地震。管内で震度 5 弱観測。
10月 1日	志津川町・歌津町が合併し「南三陸町」となり、1 市 3 町で組合再編。 志津川消防署から南三陸消防署へ名称変更。
12月 2日	南三陸消防署歌津出張所に高規格救急自動車配置。
平成18年 2月 8日	南三陸消防署に消防ポンプ自動車（CD－I型）配置。
2月13日	広域防災センター入館者 120,000 人達成。
3月 1日	谷村明信氏から潜水用資機材 7 式の寄贈を受けた。
3月 3日	気仙沼消防署に災害対応特殊はしご付消防ポンプ自動車配置。
3月31日	気仙沼市、唐桑町が合併し「気仙沼市」となり、1 市 2 町で組合再編。
4月 1日	消防職員 8 人採用。
9月24日	気仙沼湾に係留中のカツオ船（FRP 製）から火災発生、約 12 時間にわたり消火活動実施。
10月 6日	宮城県消防職員野球大会決勝大会が南三陸町歌津「平成の森」で行われ、当消防本部が優勝。
10月17日	当広域管内初の「薬剤（エピネフリン）投与の実施に係る認定」救急救命士誕生。
11月 1日	気仙沼ライオンズクラブから自動体外式除細動器（AED）1 台の寄贈を受け、防災センターに配置。
12月26日	気仙沼消防署に水難救助車配置。
平成19年 1月24日	気仙沼消防署本吉分署に消防ポンプ自動車（CD－I型）配置。
3月28日	宮城県防潮水門遠隔操作システムの操作装置が南三陸消防署に設置され運用開始。
4月 1日	第 9 代消防長に菅原武人就任。
〃	消防職員 7 人採用。
5月23日	平成 19 年度大規模津波防災総合訓練（国土交通省主催）が、気仙沼市をメイン会場に実施。
7月 3日	広域防災センター入館者 130,000 人達成。
平成20年 2月 6日	毎年 4 月 15 日から 5 月 14 日までを行楽期の火災予防月間とした。
4月 1日	第 10 代消防長に齋藤一善就任。
〃	消防職員 4 人採用。

平成20年 4月 1日	各署所に地震津波安全対策担当配置。
5月22日	第7回全国消防長会警防防災委員会を気仙沼市で開催。
6月14日	平成20年岩手・宮城内陸地震。 宮城県広域消防相互応援協定に基づく応援要請により、6月15日から6月23日まで9日間、延べ63人を栗原市に派遣。
7月24日	岩手県沿岸北部を震源とする地震。管内で震度5強観測。
7月28日	気仙沼消防署に資機材搬送車配置。
7月29日	南三陸消防署に指令車、気仙沼消防署本吉分署に査察車配置。
11月10日	災害情報等の電子メールでの配信開始。
平成21年 1月 9日	広域防災センター入館者140,000人達成。
3月24日	宮城県防潮水門遠隔操作システムの操作装置が防災センターに設置され運用開始。
4月 1日	第11代消防長に千葉章一就任。
〃	消防職員9人採用。(うち救急救命士1人)
9月 1日	気仙沼市、本吉町が合併し「気仙沼市」となり、1市1町で組合再編。 事務組合規約を変更、理事会制から管理者制へ移行。
12月28日	気仙沼消防署、南三陸消防署の高規格救急自動車更新配置。
平成22年 3月24日	新人職員人材育成実施計画作成。
4月 1日	出張所に係を配置。
〃	消防職員7人採用。
6月 9日	広域防災センター入館者150,000人達成。
12月 8日	気仙沼消防署に災害対応特殊化学消防ポンプ自動車Ⅱ型配置。
平成23年 3月11日	東北地方太平洋沖地震 管内で震度6弱観測 マグニチュード9.0。 国内観測史上最大級の地震、名称は「東日本大震災」。 消防職員10人殉職。 庁舎被害：津波により全壊（南三陸消防署、歌津出張所）・全損（南町出張所）。 地震による庁舎敷地地盤の沈下、擁壁亀裂（唐桑出張所）。 車両等被害：火災及び津波により被災（消防艇1艇、指揮車2台、資機材搬送車1台）。 緊急消防援助隊応援部隊数：1,141部隊、4,317人。
4月 1日	消防職員13人採用。
〃	嘱託員制度を導入。
9月25日	東日本大震災 組合消防職員殉職者合同慰霊祭を実施。
11月 9日	東日本大震災の活動に従事した功績に対し、総務大臣表彰が授与された。
平成24年 2月28日	気仙沼消防署南町出張所に消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ型）配置。
〃	台湾 洪氏から消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ型）の寄贈を受け、南三陸消防署に配置。
3月21日	気仙沼消防署大島出張所に広報車配置。
〃	南三陸消防署に指揮車及び資機材搬送車配置。
4月 1日	消防職員14人採用。
〃	再任用制度を導入。
6月23日	広域防災センター入館者160,000人達成。

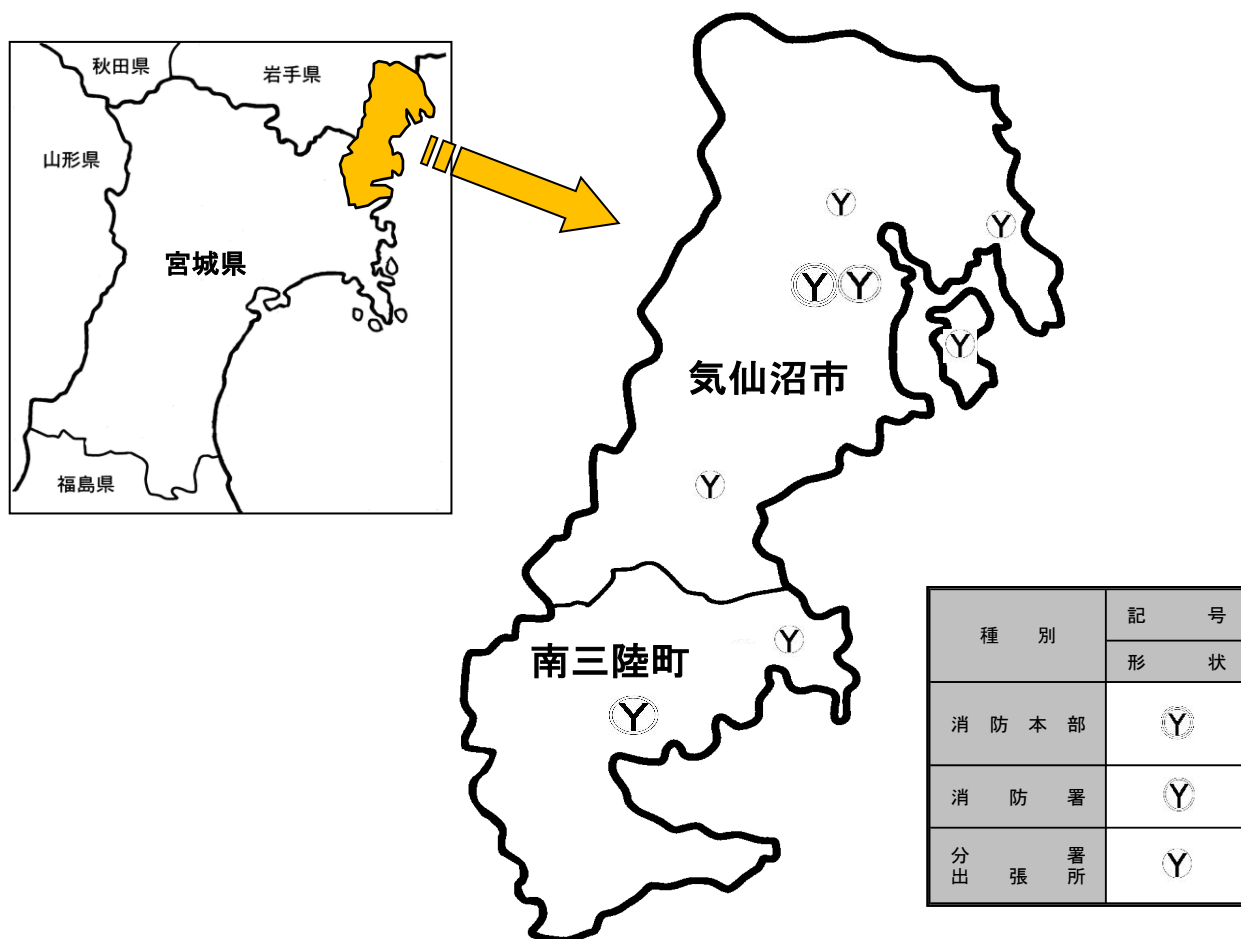
平成24年 9月 1日	東日本大震災の活動に従事した功績に対し、防災功労者内閣総理大臣表彰が授与された。
平成25年 2月18日	J A南三陸・J A共済連宮城「地域の安全・安心プロジェクト」により、高規格救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署本吉分署に配置。
3月18日	前田道路株式会社から消防ポンプ自動車（CD－I型）の寄贈を受け、気仙沼消防署南町出張所に配置。
3月27日	消防救急艇「あさぎり」竣工式。
4月 1日	第12代消防長に及川淳之助就任。
〃	消防職員10人採用。
〃	消防指令センター及び消防救急デジタル・アナログ無線施設運用開始。
〃	南三陸消防署及び南三陸消防署歌津出張所仮設庁舎開庁式。
7月 1日	人事評価制度開始。
6月26日	第36回全国消防職員意見発表の一環として、三浦勝郎消防司令補が東日本大震災被災地消防本部職員意見発表を実施。
12月21日	広域防災センター入館者170,000人達成。
平成26年 3月 3日	東日本大震災での教訓を後世に伝え、今後殉職事故を発生させないことを職員全員が誓い、確認する日として「消防誓いの日」（毎年3月11日）制定。
3月11日	東日本大震災消防職員殉職者慰霊碑、伝承碑建立式。（職員互助会事業）
3月24日	宮城県石油商業協同組合気仙沼支部、本吉支部と災害時における燃料等の供給に関する協定締結。
3月28日	気仙沼消防署に救助工作車（Ⅱ型）配置。
4月 1日	消防職員12人採用。（うち救急救命士2人）
7月 2日	第39回宮城県消防救助技術指導会において、南三陸消防署隊伊東寛晃、佐々木成紀消防士長、阿部洋輔消防士「ほふく救出の部」優勝。第43回全国消防救助技術大会（千葉市）の出場決定。（広島市大規模土砂災害発生に伴い全国大会中止）
7月22日	天皇皇后両陛下の宮城県内への行幸啓に伴い、管内市町で警備実施。（3日間）
7月31日	気仙沼消防署古町出張所落成式。（8月1日より業務開始） 気仙沼消防署南町出張所から気仙沼消防署古町出張所へ名称変更。
平成27年 1月31日	気仙沼ライオンズクラブから消防活動用広報車2台の寄贈を受け、気仙沼消防署唐桑出張所、南三陸消防署歌津出張所に配置。
3月 7日	気仙沼消防署古町出張所に高規格救急自動車更新配置。
4月 1日	第13代消防長に菅原裕二就任。
〃	消防職員11人採用。（うち救急救命士1人）
7月 1日	広域管内初となる宮城県メディカルコントロール協議会より救急救命士が処置拡大の認定を受け運用開始。
9月28日	アステラス製薬株式会社から高規格救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署大島出張所に配置。
平成28年 1月 1日	平成27年の火災件数が広域消防発足以降、最小件数を更新。（23件）
1月18日	広域防災センター入館者180,000人達成。

平成28年 4月 1日	消防職員 9 人採用。(うち救急救命士 1 人)
4月18日	第 39 回全国消防長会東北支部意見発表大会(仙台市)において、熊谷崇洋消防士入賞。
6月13日	気仙沼消防署唐桑出張所落成式。(6月1日より業務開始)
8月 1日	当消防本部に双子のイメージキャラクター「かなえ」ちゃん、「みなみ」ちゃん誕生。
8月 3日 ～4日	平成 28 年度少年消防クラブ交流会(全国大会) 合同訓練を南三陸町(平成の森)で開催。
8月31日	台風第 10 号に伴う大雨災害により広域消防初の緊急消防援助隊が出動。 8月31日から9月9日の10日間、延べ5隊(救助小隊・消火小隊)25人を岩手県岩泉町に派遣し、安否確認及び捜索活動を実施。
12月21日	気仙沼消防署唐桑出張所に高規格救急自動車更新配置。
平成29年 1月 1日	平成 28 年の火災件数が広域消防発足以降、最小件数を更新。(16 件)
2月 8日	台風第 10 号に伴う大雨災害に緊急消防援助隊を派遣し、活動に従事した功績に対し消防庁長官より賞状が授与された。
3月29日	気仙沼消防署に消防ポンプ自動車(CD-I 型)配置。
4月 1日	消防職員 3 人採用。
4月17日	南三陸消防署歌津出張所落成式。(5月1日より業務開始)
5月18日	第 25 回全国消防長会警防防災委員会を気仙沼市で開催。
10月 1日	「消防職員パワーハラスメント防止に関する指針」及び「職場におけるパワーハラスメントの防止に関する要綱」策定。
平成30年 2月 9日	南三陸消防署歌津出張所に高規格救急自動車更新配置。
2月14日	南三陸消防署歌津出張所消防職員待機宿舎を解体撤去。
3月23日	気仙沼消防署唐桑出張所に消防ポンプ自動車(CD-I 型)更新配置。
3月29日	広域防災センター入館者 190,000 人達成。
4月 1日	消防職員 3 人採用。
4月25日	第 41 回全国消防長会東北支部意見発表大会(山形市)において、遠藤崇史消防士長入賞。
9月 6日	北海道胆振東部地震により緊急消防援助隊出動。 9月6日から9月11日の6日間、救助小隊・後方支援隊7人を北海道勇払郡厚真町に派遣し、安否確認及び捜索活動を実施。
平成31年 2月 5日	北海道胆振東部地震に伴う災害に緊急消防援助隊を派遣し、活動に従事した功績に対し消防庁長官より賞状が授与された。
3月15日	気仙沼消防署本吉分署に水槽付消防ポンプ自動車(I-A 型)更新配置。
4月 1日	消防職員 2 人採用。
令和元年 5月21日	陸前高田市消防本部と三陸縦貫自動車道における消火、救急、救助業務等に関する覚書締結。
8月29日	気仙沼消防署古町出張所に高規格救急自動車更新配置。
9月 2日	南三陸消防署落成式。(8月8日より業務開始)

令和元年 9月10日	東日本大震災消防職員殉職者慰霊碑御魂入供養。(職員互助会事業)
10月13日	台風第19号被害に係る宮城県広域消防相互応援協定に基づく応援要請により、10月13日から10月17日、10月21日の6日間、延べ8隊(消火隊・救急隊)28人を丸森町に派遣。
令和 2年 1月15日	消防本部に人員輸送車更新配置。
3月24日	南三陸消防署に水槽付消防ポンプ自動車(I-A型)更新配置。
4月 1日	第14代消防長に三浦行博就任。
〃	消防職員4人採用。
5月 1日	岩沼市倉庫火災に係る宮城県広域消防相互応援協定に基づく応援要請により、5月1日から5月2日の2日間、延べ2隊(梯子車隊)8人を岩沼市に派遣。
10月14日	消防本部に事務連絡車更新配置。
10月29日	気仙沼消防署、南三陸消防署に高規格救急自動車更新配置。
11月19日	広域防災センター入館者200,000人達成。
令和 3年 2月16日	南三陸消防署歌津出張所に消防ポンプ自動車(CD-I型)更新配置。
4月 1日	消防職員2人採用。
7月31日	東京2020オリンピック競技大会宮城スタジアム開催消防特別警戒に伴い、消火小隊1隊5人を利府町に派遣。
12月20日	気仙沼消防署古町出張所に広報車配置。
令和 4年 1月12日	宮城県東部消防連携・協力推進委員会設置。(石巻、登米、気仙沼・本吉消防本部)
4月 1日	消防職員2人採用。
5月15日	宮城県林野火災防ぎょ訓練を気仙沼市 渡戸地内 気仙沼市民の森を会場に実施。
10月28日	組合設立、広域消防発足50周年記念式典挙行。
10月29日	第29回全国消防操法大会ポンプ車の部に気仙沼市消防団第1分団出場。
12月23日	宮城県東部消防通信指令事務協議会調印式において、管理者が協議書に調印。 (石巻、登米、気仙沼・本吉消防本部)
令和 5年 3月15日	広域防災センター入館者210,000人達成。
令和 5年 4月 1日	第15代消防長に戸羽一明就任。
〃	組合職員の定年等に関する条例の一部改正に伴い、定年延長制度を導入。
〃	宮城県東部消防通信指令事務協議会設置。(石巻、登米、気仙沼・本吉消防本部) 推進室(石巻地区消防本部)に職員2人派遣。
11月 2日	気仙沼消防署本吉分署に高規格救急自動車更新配置。
令和 6年 4月 1日	第16代消防長に吉田一元就任。
〃	消防職員1人採用。
5月 1日	消防本部に指揮隊を設置。
6月14日	消防救急艇「あさぎり」を塩釜地区消防事務組合へ譲渡。
9月 1日	令和6年度宮城県9.1総合防災訓練を南三陸町志津川地区で開催。
11月29日	広域防災センター入館者220,000人達成。

令和 7年 2月26日	岩手県大船渡市の林野火災へ緊急消防援助隊出動。 2月26日から3月16日までの19日間、延べ22隊70名（消火小隊、後方支援小隊）を岩手県大船渡市へ派遣し消火活動を実施。
令和 7年 4月 1日	消防職員4人採用。
令和 7年 4月 1日	危険物安全協会気仙沼支部、南三陸支部が統合。
令和 7年 6月12日	気仙沼消防署に小型動力ポンプ付き水槽車更新配置。
令和 7年 6月23日	消防本部に指揮車更新配置。
令和 7年10月 1日	マイナ保険証を活用した救急活動が開始。
〃	組織改編。通信指令課を指揮指令課に名称変更。
令和 8年 1月 1日	林野火災注意報・警報の運用開始。
令和 8年 1月29日	宮城県東部消防指令センター仮運用開始。職員6人派遣。
令和 8年 4月 1日	第17代消防長に昆野誠就任。
〃	消防職員2人採用。
〃	組織改編。消防本部に消防危機管理監を配置。リアス・アーク美術館の気仙沼市移管に伴い、事務局は消防本部総務課として業務継続。
〃	消防職員定数を195人に改正。
〃	宮城県東部消防指令センター運用開始。

圏域管内図



位 置 及 び 管 内 情 勢

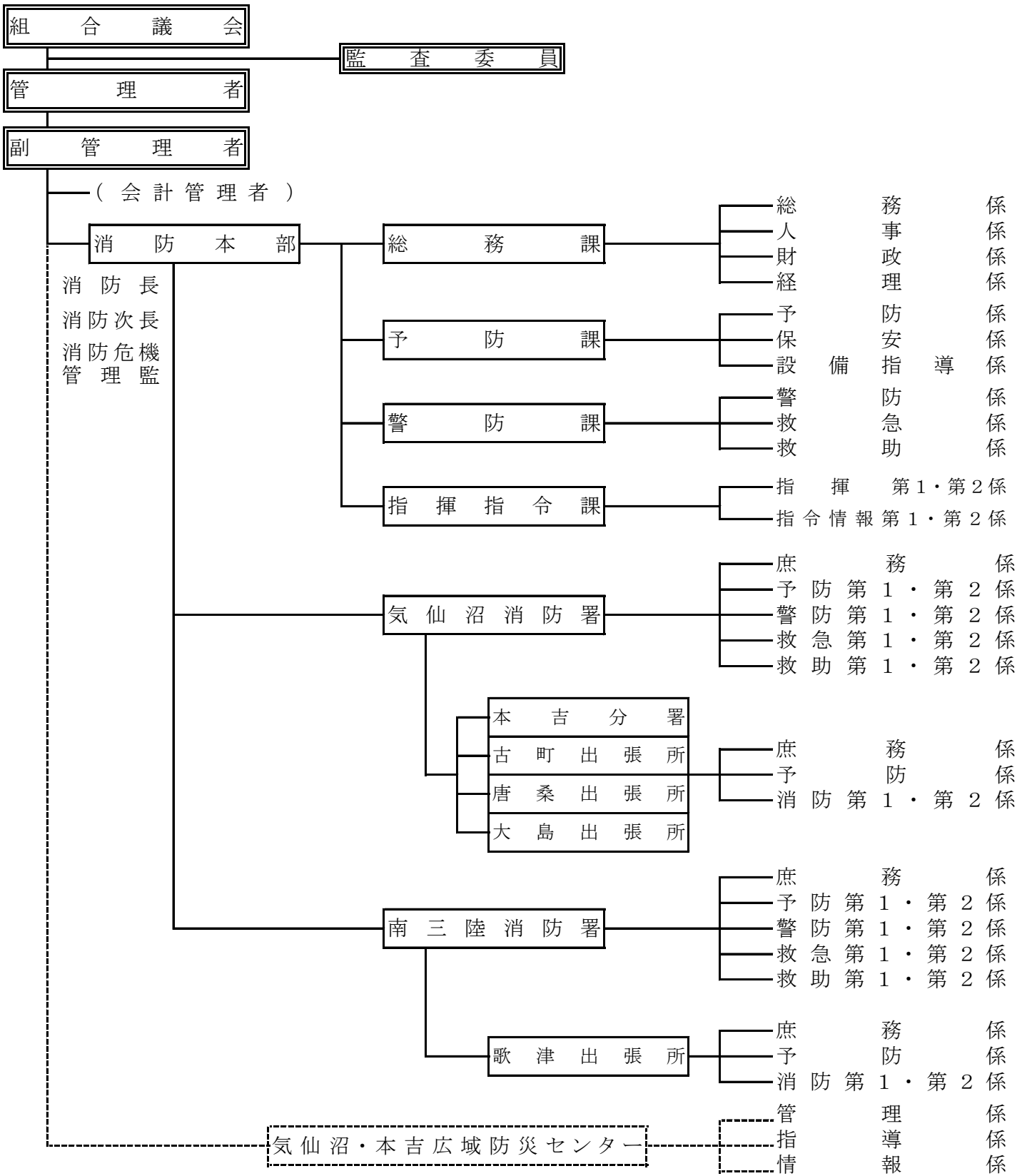
当組合は、気仙沼市と南三陸町の1市1町で構成され、宮城県の最北端に位置し、東は雄大な太平洋に面し、西は北上山系の支脈の稜線で、岩手県や宮城県の内陸市町村と接しています。また、太平洋側は、変化に富んだ美しいリアス式海岸で、三陸復興国立公園に指定され、多くの観光客が訪れています。

(令和8年3月31日現在)

市 町 名	面 積 (km ²)	世 帯 数 (世帯)	人 口 (人)
気 仙 沼 市	332.44	25,953	54,603
南 三 陸 町	163.40	4,378	11,109
合 計	495.84	30,331	65,712

組合組織図

(令和8年4月1日現在)



庁 舎 位 置

(令和8年4月1日現在)

本 部 ・ 署 所	所 在 地	標 高 (m)	敷地面積 (㎡)	構 造	面 積 (㎡)	竣 工
消 防 本 部	〒988-0104 気仙沼市赤岩五駄鱈43番地2	24.8	6,255.00	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ 3階建	建1,700.3 延2,981.4	平5.10
気仙沼消防署						
防災センター						
気仙沼消防署 本 吉 分 署	〒988-0309 気仙沼市本吉町津谷松尾1番地1	15.0	700.80	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ 2階建	建 208.25 延 314.50	昭48.1
気仙沼消防署 唐 桑 出 張 所	〒988-0524 気仙沼市唐桑町只越346番地13	64.0	2,642.50	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ 平屋建	建 451.47 延 425.25	平28.5
気仙沼消防署 古 町 出 張 所	〒988-0077 気仙沼市古町1丁目6番17号	15.7	1,145.67	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ 2階建	建 340.83 延 580.50	平26.7
気仙沼消防署 大 島 出 張 所	〒988-0604 気仙沼市廻館113番地1	36.0	429.40	軽量鉄骨造 一部木造 平屋建	建 153.7 延 150.9	昭54.3 平14.10 (増築)
南三陸消防署	〒986-0727 南三陸町志津川字新井田34番地4	20.0	6,940.05	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ 平屋建	建 934.89 延 929.98	令元.7
南三陸消防署 歌 津 出 張 所	〒988-0423 南三陸町歌津字枅沢28番地1	37.4	1,684.97	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ 平屋建	建 460.97 延 433.80	平29.3

待 機 宿 舎 位 置

(令和8年4月1日現在)

所 在 地	室 数	構 造	面 積(㎡)	竣 工
〒988-0171 気仙沼市赤岩牧沢44番地114	単身用4室	木 造 1 階 建	115.93	平9.3
〒988-0535 気仙沼市唐桑町馬場189番地7	世帯用2室	鉄 骨 耐 火 構 造 1 階 建	99.84	昭57.2
〒988-0309 気仙沼市本吉町津谷松尾68番地9	世帯用2室	鉄 骨 耐 火 構 造 1 階 建	100.00	昭58.3
〒986-0776 南三陸町志津川字竹川原47番地4	世帯用6室	鉄 骨 耐 火 構 造 2 階 建	297.61	昭55.3

総務

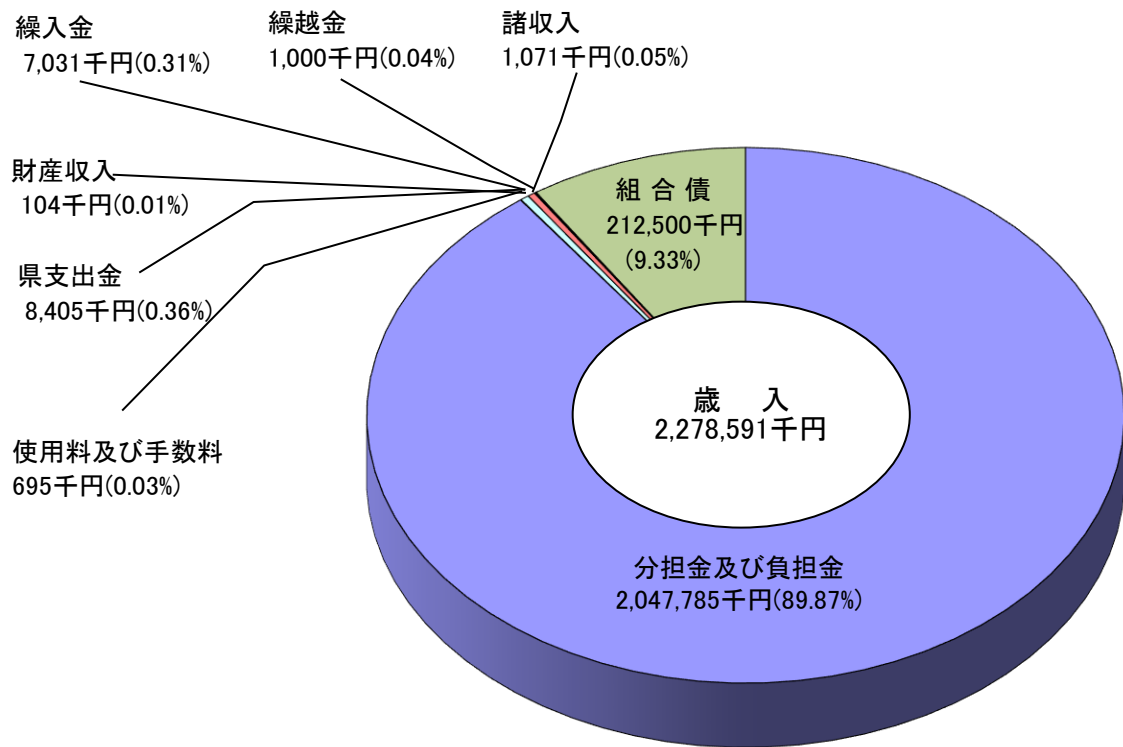


気仙沼消防署 小型動力ポンプ付き水槽車(令和7年7月1日更新)



消防本部 指揮車(令和7年7月1日更新)

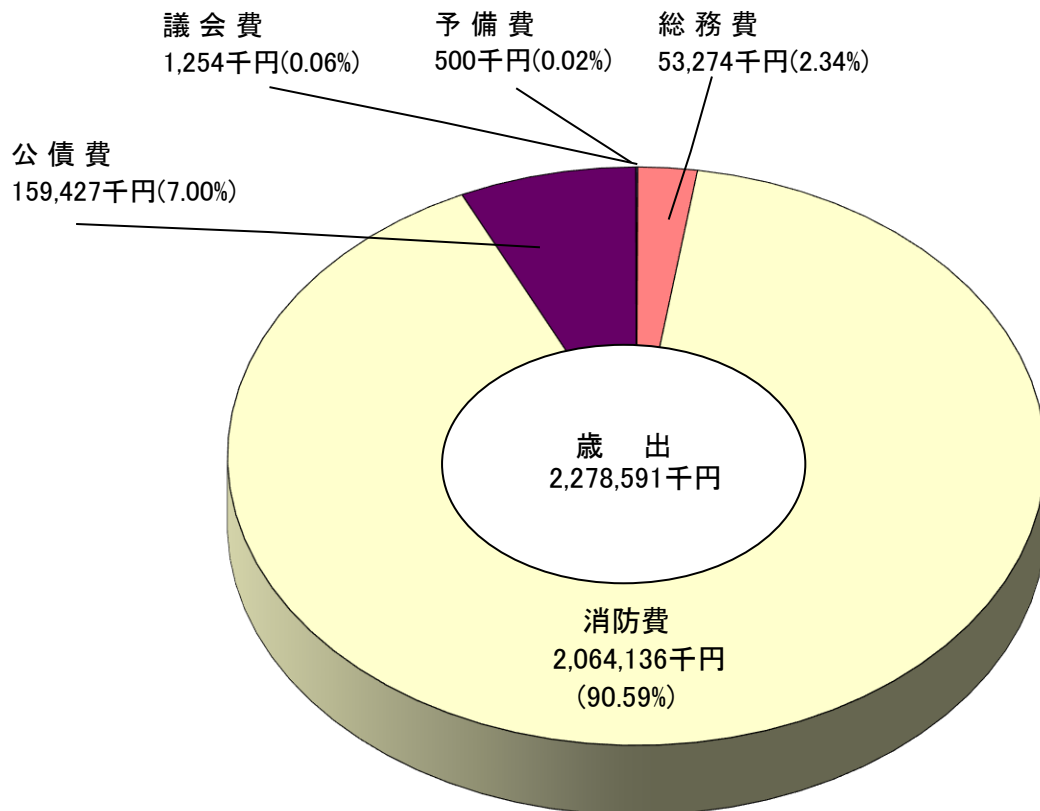
令和8年度当初歳入予算



(単位：千円)

科 目	令和8年度予算額	令和7年度予算額	比 較
分 担 金 及 び 負 担 金	2,047,785	2,022,675	25,110
使 用 料 及 び 手 数 料	695	4,294	△ 3,599
国 庫 支 出 金	0	0	0
県 支 出 金	8,405	247	8,158
財 産 収 入	104	304	△ 200
繰 入 金	7,031	28,345	△ 21,314
繰 越 金	1,000	1,000	0
諸 収 入	1,071	1,721	△ 650
組 合 債	212,500	605,900	△ 393,400
合 計	2,278,591	2,664,486	△ 385,895

令和8年度当初歳出予算



(単位：千円)

科 目	令和8年度予算額	令和7年度予算額	比 較
議 会 費	1,254	1,288	△ 34
総 務 費	53,274	71,806	△ 18,532
消 防 費	2,064,136	2,355,137	△ 291,001
教 育 費	0	157,321	△ 157,321
公 債 費	159,427	78,434	80,993
予 備 費	500	500	0
合 計	2,278,591	2,664,486	△ 385,895

令和8年度(当初)組合消防費にかかる性質別歳出の財源内訳

(単位:千円)

区 分	予 算 額	財 源 内 訳			
		負 担 金	国・県支出金	組 合 債	そ の 他
人 件 費	1,631,598	1,621,857	8,405		1,336
扶 助 費	35,490	35,490			
物 件 費	112,596	112,555			41
補 助 費 等	18,297	18,297			
維 持 補 修 費	2,728	2,728			
普通建設事業費	263,427	50,927		212,500	
災害復旧事業費	0	0			
公 債 費	159,427	159,427			
予 備 費	500	500			
合 計	2,224,063	2,001,781	8,405	212,500	1,377

令和8年度(当初)構成市町の一般会計と消防予算

(単位:千円)

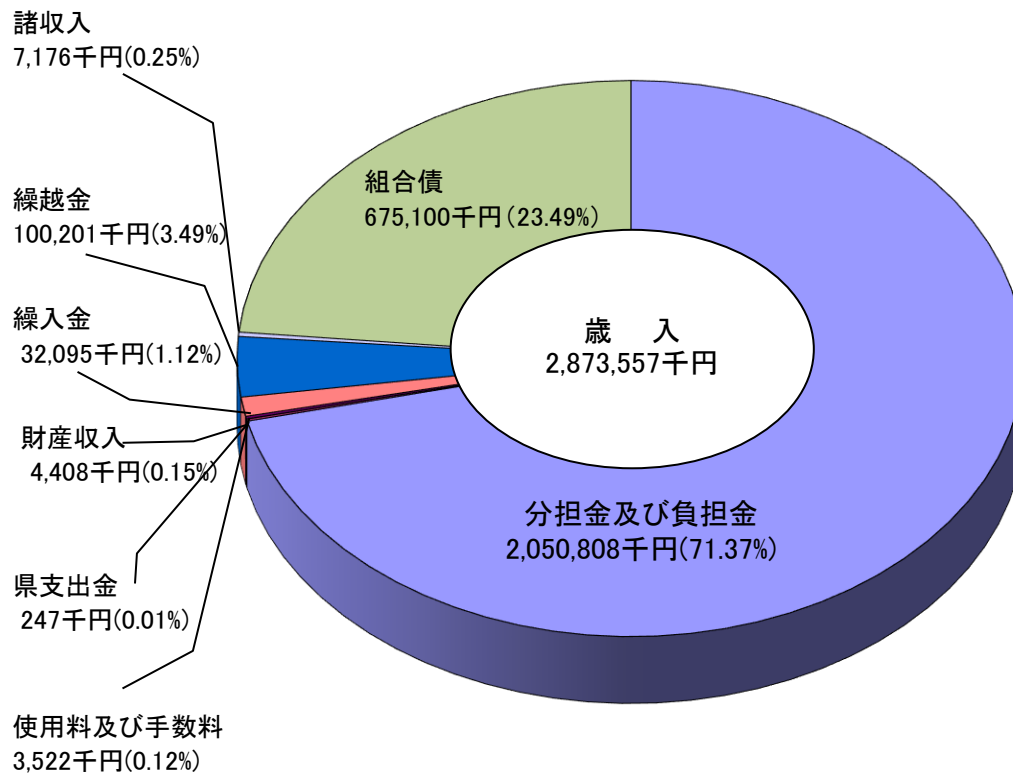
区 分	一 般 会 計 A	消 防 費 B	内 訳			割 合 B/A (%)
			常 備	非 常 備	そ の 他	
気 仙 沼 市	45,847	1,766	1,505	163	98	3.85
南 三 陸 町	11,610	600	496	51	53	5.17
合 計	57,457	2,366	2,001	214	151	4.12

令和7年度(決算)構成市町負担金負担割合

(単位:千円)

区 分	消 防 費 基 準 財 政 需 要 額		消 防 費 負 担 金	
	金 額 (千円)	構 成 比 (%)	金 額 (千円)	構 成 比 (%)
気 仙 沼 市	978,490	74.72	1,403,239	75.55
南 三 陸 町	331,104	25.28	454,228	24.45
合 計	1,309,594	100.00	1,857,467	100.00

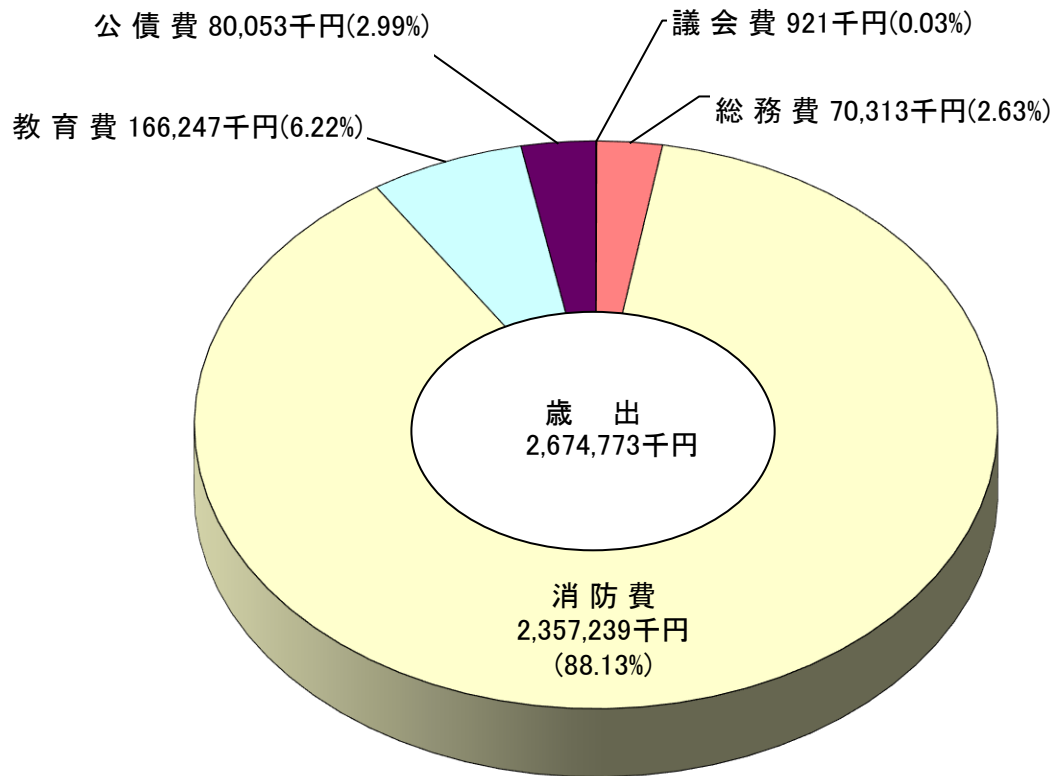
令和7年度歳入決算



(単位：千円)

科 目	令和7年度予算額(最終)	令和7年度決算額	比 較
分 担 金 及 び 負 担 金	2,057,168	2,050,808	△ 6,360
使 用 料 及 び 手 数 料	4,294	3,522	△ 772
国 庫 支 出 金	0	0	0
県 支 出 金	247	247	0
財 産 収 入	4,450	4,408	△ 42
繰 入 金	33,302	32,095	△ 1,207
繰 越 金	100,201	100,201	0
諸 収 入	2,321	7,176	4,855
組 合 債	692,400	675,100	△ 17,300
合 計	2,894,383	2,873,557	△ 20,826

令和 7 年度歳出決算



(単位：千円)

科 目	令和 7 年度予算額(最終)	令和 7 年度決算額	比 較
議 会 費	1, 288	921	367
総 務 費	73, 251	70, 313	2, 938
消 防 費	2, 564, 384	2, 357, 239	207, 145
教 育 費	174, 644	166, 247	8, 397
公 債 費	80, 316	80, 053	263
予 備 費	500	0	500
合 計	2, 894, 383	2, 674, 773	219, 610

消 防 職 員 配 置 状 況

(令和8年4月1日現在)

区 分		合 計	消防監	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消防士	事務吏員
消 防 本 部	消 防 長	1	1						
	次 長	1		1					
	危 機 管 理 監	1		1					
	総 務 課	14			1	4	2	2	5
	予 防 課	5		1	1	2	1		
	警 防 課	4		1	2	1			
	指 揮 指 令 課	21		1	8	8	4		
	小 計	47	1	5	12	15	7	2	5
気 仙 沼 消 防 署 管 内	気仙沼消防署	39		2	6	9	12	10	
	本 吉 分 署	19		1	1	6	8	3	
	唐 桑 出 張 所	11			1	4	4	2	
	古 町 出 張 所	20			2	7	7	4	
	大 島 出 張 所	11			1	4	4	2	
	小 計	100		3	11	30	35	21	
南 三 陸 消 防 署 管 内	南三陸消防署	34		2	6	8	10	8	
	歌 津 出 張 所	11			1	4	4	2	
	小 計	45		2	7	12	14	10	
合 計		192	1	10	30	57	56	33	5

※ 総務課には、宮城県復興・危機管理部消防課1名、宮城県防災航空隊1名、宮城県消防学校1名、宮城県消防学校初任総合教育入校者2名を含む。

※ 通信指令課には、宮城県東部消防指令センター6名の派遣を含む。

消 防 職 員 階 級 別 勤 続 年 数

(令和8年4月1日現在)

階級 勤続年数	合 計	消防監	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消防士	事務吏員
平均勤続年数	24.1	40.0	33.7	30.3	20.7	14.9	7.0	22.4
合 計	192	1	10	30	57	56	33	5
1 年 未 満	2						2	
1 年 以 上	4						4	
2 "	1						1	
3 "	1							1
4 "	2						2	
5 "	2					1	1	
6 "	4						4	
7 "	2						2	
8 "	3						3	
9 "	3					2	1	
10 "	9					3	6	
11 "	9					6	3	
12 "	12					9	3	
13 "	10				2	7	1	
14 "	11				4	7		
15 "	12				4	8		
16 "	7				4	3		
17 "	8				6	2		
18 "	4				3	1		
19 "	6				5	1		
20 "	7				6	1		
21 "								
22 "	3				2			1
23 "	3				3			
24 "	4			1	3			
25 "	7			1	5			1
26 "	4			1	3			
27 "	5			1	3	1		
28 "	6			5	1			
29 "	6		2	3		1		
30 "	6			4	1	1		
31 "	9			6	1			2
32 "	7		2	4		1		
33 "								
34 "	4		2	2				
35 "	2		2					
36 "	2		1	1				
37 "								
38 "								
39 "								
40 "	1	1						
41 "	2		1			1		
42 "	1			1				
43 "								
44 "								
45 "	1				1			

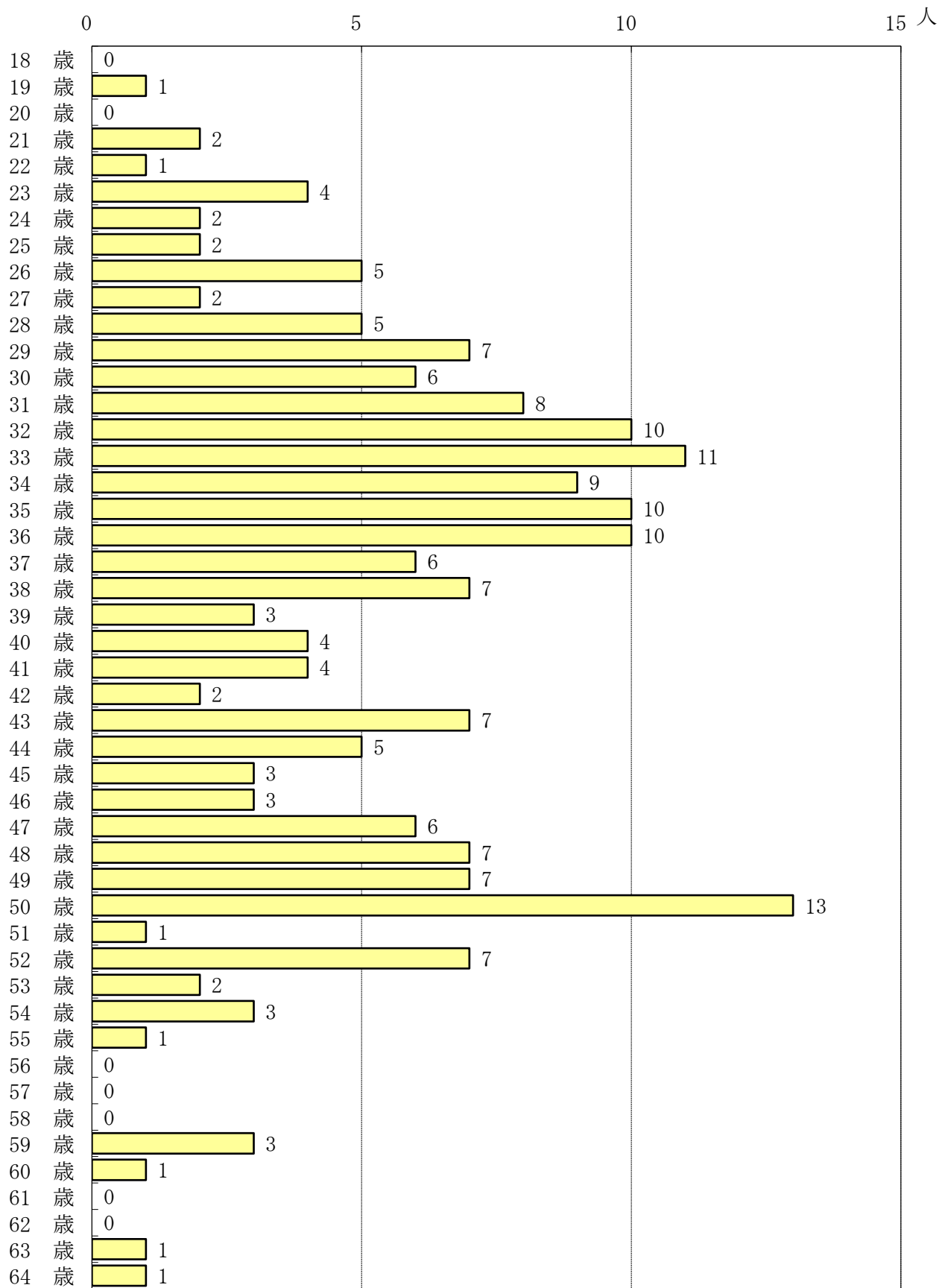
消 防 職 員 階 級 別 年 齢

(令和8年4月1日現在)

階級 年 齢	合 計	消防監	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消防士	事務吏員
平 均 年 齢	38.8	59.0	53.3	50.0	40.7	34.3	27.0	44.0
合 計	192	1	10	30	57	56	33	5
18 歳								
19 歳	1						1	
20 歳								
21 歳	2						2	
22 歳	1						1	
23 歳	4						4	
24 歳	2						2	
25 歳	2						2	
26 歳	5					1	4	
27 歳	2					1	1	
28 歳	5					2	3	
29 歳	7					3	4	
30 歳	6					3	3	
31 歳	8					7	1	
32 歳	10				1	8	1	
33 歳	11					7	3	1
34 歳	9				1	8		
35 歳	10				6	3	1	
36 歳	10				6	4		
37 歳	6				5	1		
38 歳	7				5	2		
39 歳	3				2	1		
40 歳	4				3			1
41 歳	4				4			
42 歳	2				2			
43 歳	7				6			1
44 歳	5				5			
45 歳	3				3			
46 歳	3			1	2			
47 歳	6			4	1	1		
48 歳	7			4	2	1		
49 歳	7			4	2	1		
50 歳	13		2	9		1		1
51 歳	1			1				
52 歳	7		4	3				
53 歳	2		1	1				
54 歳	3		1	1				1
55 歳	1			1				
56 歳								
57 歳								
58 歳								
59 歳	3	1	2					
60 歳	1			1				
61 歳								
62 歳								
63 歳	1				1			
64 歳	1					1		

消防職員年齢構成図

(令和8年4月1日現在)



学校等教育状況

(過去10年)

年度 (H:平成 R:令和)			種 別										計
宮 城 県 消 防 学 校	初 任 総 合 教 育		3	1		2	2	4	2	3	3	9	29
	専科 教育	警 防 科	2		2		2		2	2		2	12
		火 災 調 査 科	2		2		2		2	2	2	2	14
		予 防 査 察 科	2		2		2	2	2	2	2		14
		危 険 物 科		2		2		2		2		2	10
		特 殊 災 害 科		2		2			2		2		8
		救 助 科	1										1
		救 急 科	1										1
		幹 部 教 育	初 級 幹 部 科		2		2		2		2		2
	中 級 幹 部 科		2		2		2		2		2		10
	上 級 幹 部 科		1			1			1		1		4
	特 別 教 育	はしご自動車操作									1		1
		薬 剤 投 与 講 習											
		救急救命士再教育	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	20
		救急救命士処置拡大				2	20	8	3	8	8	8	57
		指 揮 隊 長 教 育				2			1		1	1	5
		救 助 隊 長 教 育										1	1
		救急隊員再教育		2	2				2				6
		救助隊員再教育 高度救助隊員教	2	2	2	2	2		2	2	2		16
		通信指令員教育講習			2		2						4
		女性消防吏員教育		1	1								2
	小 計		18	14	17	17	36	20	23	25	26	29	225
	消 防 大 学 校	総 合 教 育	幹 部 科	2	1	1	2	1				1	1
専 科 教 育		警 防 科		1			1						2
		救 助 科											
		救 急 科										1	1
		予 防 科						1					1
		危 険 物 科			1								1
		火 災 調 査 科							1				1
実 務 講 習		女性活躍推進コース						1					1
小 計		2	2	2	2	2	2	1		1	2	16	
救急救命東京研修所		1	2	2	2	2	2	2	1	1	2	17	
合 計		21	18	21	21	40	24	26	26	28	33	258	

職 員 資 格 取 得 状 況

(令和8年4月1日現在)

階 級			総 数	消防司令長 以 上	消防司令	消 司 令 補	消防士長	消 防 士	
種 別 消防吏員数									
			187	11	30	57	56	33	
大 型 免 許	2 種		12	1	5	4	2		
	1 種		127	8	19	48	42	10	
	特 殊		13	1	2	6	3	1	
	け ん 引		4			1	2	1	
中 型 免 許	2 種		6	1		5			
	1 種		116	11	30	47	20	8	
準中型免許			1 種	61		9	35	17	
普 通 免 許	2 種		13		2	10	1		
	1 種		33			3	12	18	
自 動 2 輪	普 通		62	3	8	27	17	7	
	大 型		29	3	4	15	6	1	
整 備 管 理 者			3	2	1				
救 急 救 命 士			58	5	9	16	21	7	
			気 管 挿 管 認 定	47	5	9	16	16	1
			ビデオ喉頭鏡認定	38		9	15	13	1
			薬 剤 投 与 認 定	58	5	9	16	21	7
			ブドウ糖投与等認定	52	2	9	15	19	7
潜 水 士			51	2	13	20	11	5	
小 型 船 舶 操 縦 士		1 級	12		4	7	1		
		2 級	35	3	13	12	6	1	
無 線	陸 上 特 殊	1 級	5			2	1	2	
		2 級	102	1	6	22	47	26	
		3 級	71	5	25	33	7	1	
		国内電信級	1			1			
	海上特殊	1 級	6			1	2	3	
		2 級	13	1	5	7			
	ア マ チュア	4 級							
		電話級							
小 型 移 動 式 ク レ ーン			65	8	20	24	10	3	
玉 掛 技 能			65	8	20	26	8	3	
特定化学物質等作業主任者			2	2					
特別管理産業廃棄物管理責任者			16	2	9	5			
アセチレンガス溶接士			24	1	1	14	6	2	
電 気 工 事 士		1 種	1					1	
		2 種	7	1		4		2	
衛 生 管 理 者	第 1 種		1			1			
	第 2 種		8	3	4		1		
危険物取扱者	甲 種		3		1	2			
	乙 種		179	10	29	57	55	28	
消 防 設 備 士	甲 種		1		1				
	乙 種		18	1	4	8	4	1	
予防技術資格者	予 防 査 察		124	3	13	47	42	19	
	消防用設備等		41	2	7	22	10		
	危 険 物		58	1	7	32	15	3	

予 防



「第14回消防絵画コンクール」最優秀賞 気仙沼市立唐桑小学校6年 工藤 朝日（くどう あさひ）

2025年度 全国統一防火標語

急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部 宮城県消防協会本吉地区支部
気仙沼本吉地区危険物安全協会 気仙沼市防火管理者協会 気仙沼市唐桑町
防火管理者協会 本吉町防火管理者協会 南三陸町防火管理者協会

「令和7年秋の火災予防運動ポスター」
第14回 消防絵画コンクール 最優秀賞
気仙沼市立唐桑小学校 工藤朝日 さん

防 火 対 象 物

消防法第17条対象物数

(令和8年3月31日現在)

用 途 別 署 所 別			合 計	気 仙 沼 市					南 三 陸 町	
				気 仙 沼 消 防 署	本 吉 分 署	唐 桑 出 張 所	古 町 出 張 所	大 島 出 張 所	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所
1	イ	劇場・映画館・演芸場等	5	1	1		1		1	1
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	136	32	31	14	14	4	29	12
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等								
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル	9	5			4			
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等								
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	3	3						
3	イ	待 合 ・ 料 理 店 等								
	ロ	飲 食 店	58	21	6	1	21	2	5	2
4	百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト ・ 店 舗 等		151	75	9	3	41	1	20	2
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	69	10	3	8	7	17	15	9
	ロ	寄 宿 舎 ・ 下 宿 ・ 共 同 住 宅	296	150	5	1	93	2	37	8
6	イ	(1) 病 院 等								
		(2) 診 療 所 等								
		(3) 助産所等（入所施設有）	9	2			5	2		
		(4) 助産所等（入所施設無）	26	15	3	1	3	2	1	1
	ロ	(1) 養 護 老 人 ホ ー ム 等	37	8	6	4	11	2	4	2
		(2) 救 護 施 設								
		(3) 乳 児 院								
		(4) 障 害 児 入 所 施 設								
		(5) 障 害 者 支 援 施 設 等	7		3	4				
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等	20	6	5		6		1	2
		(2) 更 生 施 設								
		(3) 助 産 施 設 ・ 保 育 所 等	22	6	2	1	9	1	1	2
		(4) 児童発達支援センター等	2	1			1			
		(5) 身体障害者福祉センター等	15	7	1	5	1			1
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校	12	3	3		4		2	
7	学 校 ・ 各 種 学 校 等		88	28	15	4	21	1	13	6
8	図 書 館 ・ 博 物 館 ・ 美 術 館 等		6	2		2			1	1
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等								
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場								
10	車 両 の 停 車 場 等		1				1			
11	神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 等		63	12	11	7	16	4	10	3
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	436	177	37	25	84	12	68	33
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	1				1			
13	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	24	9	1		10		1	3
	ロ	飛 行 機 な ど の 格 納 庫								
14	倉 庫		338	149	32	17	64	9	52	15
15	前各項に該当しない事業場		360	150	33	19	92	5	48	13
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	182	82	7	8	55	6	20	4
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	101	62	2	4	22	1	6	4
16の2		地 下 街								
16の3		準 地 下 街								
17	文 化 財 等		8				6		2	
合 計			2,485	1,016	216	128	593	71	337	124

用途別消防用設備等の設置状況

(令和8年3月31日現在)

消防用設備等 用 途 別			消 火 設 備			警 報 設 備			避 難 設 備	
			消 火 器	屋 内 消 火 栓	ク ス プ ラ リ ン	報 自 知 動 設 火 備 災	警 漏 報 電 報 火 器 災	警 非 報 設 備 常	避 難 器 具	誘 導 灯
1	イ	劇場・映画館・演芸場等	5	2	1	3		3		5
	ロ	公会堂・集会場	62	7		30	1	58	1	65
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等								
	ロ	遊技場・ダンスホール	10			9		6	1	9
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等								
	ニ	カラオケボックス等	3			3			1	3
3	イ	待合・料理店等								
	ロ	飲食店	150			18	1	28	7	104
4	百貨店・マーケット・店舗等		152	18	3	82		44		156
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	71	17	3	104	16	7	8	89
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	322	1		99	1	4	52	11
6	イ	(1) 病院等								
		(2) 診療所等	1							
		(3) 助産所等（入所施設有）	8	2	3	8		3	1	8
		(4) 助産所等（入所施設無）	26			12		2	2	26
	ロ	(1) 養護老人ホーム等	38	2	38	38			2	37
		(2) 救護施設								
		(3) 乳児院								
		(4) 障害児入所施設								
		(5) 障害者支援施設等	10		8	10				8
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等	19	2		8		2	1	21
		(2) 更生施設								
		(3) 助産施設・保育所等	23	4		18	2	1		15
		(4) 児童発達支援センター等	2			1				3
		(5) 身体障害者福祉センター等	18			13			1	17
	ニ	幼稚園・特別支援学校	12	2		9	2	1		9
7	学 校 ・ 各 種 学 校 等		85	59		74		4	16	13
8	図 書 館 ・ 博 物 館 ・ 美 術 館 等		5	2		2		3	1	3
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等								2
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場								2
10	車 両 の 停 車 場 等									
11	神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 等		51	2		4	2	27		7
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	438	71		193	2	3	1	84
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	1							1
13	イ	自動車車庫・駐車場	45			8				31
	ロ	飛行機などの格納庫								
14	倉 庫		352	32		97	1	1		63
15	前各項に該当しない事業場		288	23		80		50	12	145
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	178	5	8	106	1	20	12	143
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	75	7		22	1	6	1	20
16の2		地 下 街								
16の3		準 地 下 街								
17	文 化 財 等		7			7	3		1	3
合 計			2,457	258	64	1,058	33	273	121	1,103

用途別予防査察状況

(令和7年度中)

用 途 別 署 所 別			合 計	気 仙 沼 市					南 三 陸 町	
				気仙沼消防署	本吉分署	唐桑出張所	古町出張所	大島出張所	南三陸消防署	歌津出張所
1	イ	劇場・映画館・演芸場等	2		1					1
	ロ	公会堂・集会場	57		13	8	2	10	16	8
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等								
	ロ	遊技場・ダンスホール	1				1			
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等								
	ニ	カラオケボックス等								
3	イ	待合・料理店等	2				2			
	ロ	飲食店	29	3	2		4	10	6	4
4		百貨店・マーケット・店舗等	38	6	8	3	10	3	7	1
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	42	4		3	2	15	7	11
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	11	1	3	15	3		3	1
6	イ	(1) 病院等								
		(2) 診療所等								
		(3) 助産所等（入所施設有）	1				1			
		(4) 助産所等（入所施設無）	7	3		1		1	1	1
	ロ	(1) 養護老人ホーム等	18	1	2	4	3	2	4	2
		(2) 救護施設								
		(3) 乳児院								
		(4) 障害児入所施設								
		(5) 障害者支援施設等	2			1	1			
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等	10	1	4		2		1	2
		(2) 更生施設								
		(3) 助産施設・保育所等	10		1	2	3	1	1	2
		(4) 児童発達支援センター等								
		(5) 身体障害者福祉センター等	2	1			1			
	ニ	幼稚園・特別支援学校	2		1				1	
7		学校・各種学校等	22		8	4	4	1	3	2
8		図書館・博物館・美術館等	2			1				1
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等								
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場								
10		車両の停車場等								
11		神社・寺院・教会等	34	2	10	4	7	5	4	2
12	イ	工場・作業場	63	9	9	12	7	5	10	11
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ								
13	イ	自動車車庫・駐車場	9		3		1	4		1
	ロ	飛行機などの格納庫								
14		倉庫	55	11	3	7	7	7	17	3
15		前各項に該当しない事業場	53	8	10	6	13	5	9	2
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	32	6	2	3	2	7	6	6
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	6	1		2		1	1	1
16の2		地下街								
16の3		準地下街								
17		文化財等	3				1		2	
合 計			513	57	80	61	77	77	99	62

用途別中高層建築物の現況

(令和8年3月31日現在)

区 分 用 途 別			対 法 象 第 物 17 数 条	法 第 8 条 対 象 物 数		中 高 層 建 築 物					
				甲種	乙種	3階	4階	5階	6階	7階	8階 以上
1	イ	劇場・映画館・演芸場等	5	3	1	1					
	ロ	公会堂・集会場	136	32	147	2					
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等									
	ロ	遊技場・ダンスホール	9	9							
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等									
3	ニ	カラオケボックス等	3	2	1						
	イ	待合・料理店等									
4	ロ	飲食店	58	16	43	1					
	百貨店・マーケット・店舗等		151	80	40	4					
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	69	42	6	4		2	4		3
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	296	25		80	21	16	3	1	5
6	イ	(1) 病院等									
		(2) 診療所等									
		(3) 助産所等（入所施設有）	9	3		2	1	2			
		(4) 助産所等（入所施設無）	26	6		2					
	ロ	(1) 養護老人ホーム等	37	32		2	2				
		(2) 救護施設									
		(3) 乳児院									
		(4) 障害児入所施設									
		(5) 障害者支援施設等	7	3							
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等	20	7	5	1	2				
		(2) 更生施設									
		(3) 助産施設・保育所等	22	14	3	1					
		(4) 児童発達支援センター等	2	1							
		(5) 身体障害者福祉センター等	15	3	2						
	ニ	幼稚園・特別支援学校	12	8	2	1					
7	学 校 ・ 各 種 学 校 等		88	33		25	5	1			
8	図 書 館 ・ 博 物 館 ・ 美 術 館 等		6	2	1	1	1				
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等									
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場									
10	車 両 の 停 車 場 等		1								
11	神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 等		63	23	5		1				
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	436	19		16	3	3			
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	1								
13	イ	自動車車庫・駐車場	24			2					
	ロ	飛行機などの格納庫									
14	倉 庫		338			9	1				
15	前各項に該当しない事業場		360	48	13	39	5	7	2		
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	182	100	24	45	6	4	1	2	1
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	101	13		13	2				
16の2		地 下 街									
16の3		準 地 下 街									
17	文 化 財 等		8		2	1					
合 計			2,485	524	295	252	50	35	10	3	9

防火管理者を要する対象物

(令和8年3月31日現在)

署 所 別 用 途 別			合 計		気 仙 沼 市 南 三 陸 町														
					気仙沼消防署		本吉分署		唐桑出張所		古町出張所		大島出張所		南三陸消防署		歌津出張所		
					甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	
1	イ	劇場・映画館・演芸場等	3	1	1		1					1			1				
	ロ	公会堂・集会場	32	147	9	31	6	27	1	16	7	20	1	11	5	31	3	11	
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等																	
	ロ	遊技場・ダンスホール	9		5						4								
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等																	
	ニ	カラオケボックス等	2	1	2	1													
3	イ	待合・料理店等																	
	ロ	飲食店	16	43	7	19	2	1		1	6	14		3	1	5			
4		百貨店・マーケット・店舗等	80	40	43	19	4	2	1	1	24	11		1	8	5			1
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	42	6	9		2	1	3	4	4		10	1	10			4	
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	25		10						11				3			1	
6	イ	(1) 病院等																	
		(2) 診療所等																	
		(3) 助産所等（入所施設有）	3		1						1		1						
		(4) 助産所等（入所施設無）	6		3		1		1		1								
	ロ	(1) 養護老人ホーム等	32		8		4		3		10		2		3			2	
		(2) 救護施設																	
		(3) 乳児院																	
		(4) 障害児入所施設																	
		(5) 障害者支援施設等	3				2		1										
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等	7	5	2	2	3	1				1	2					1	
		(2) 更生施設																	
		(3) 助産施設・保育所等	14	3	4	1	1		1		4	2	1		1			2	
		(4) 児童発達支援センター等	1		1														
		(5) 身体障害者福祉センター等	3	2	2	1				1								1	
	ニ	幼稚園・特別支援学校	8	2	2		3				2	1			1	1			
7		学校・各種学校等	33		10		5		2		8				5			3	
8		図書館・博物館・美術館等	2	1	1				1							1			
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等																	
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場																	
10		車両の停車場等																	
11		神社・寺院・教会等	23	5	4	3	5		3		6	2	3		1			1	
12	イ	工場・作業場	19		11		3				3				2				
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ																	
13	イ	自動車車庫・駐車場																	
	ロ	飛行機などの格納庫																	
14		倉庫																	
15		前各項に該当しない事業場	48	13	16	3	4	3	4	3	19	1		1	5	2			
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	100	24	37	14	6		9	1	24	6	3	1	15	2		6	
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	13		7				1		2		1		1			1	
16の2		地下街																	
16の3		準地下街																	
17		文化財等		2								1				1			
合 計			524	295	195	94	52	35	31	27	137	61	22	18	62	48	25	12	

建 築 同 意 事 務

(令和7年度中)

署 所 別 用 途 別			合 計	気 仙 沼 市				南 三 陸 町	
				気 仙 沼 消 防 署	本 吉 分 署	唐 桑 出 張 所	大 島 出 張 所	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所
1	イ	劇場・映画館・演芸場等							
	ロ	公会堂・集会場	2	1		1			
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等							
	ロ	遊技場・ダンスホール							
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等							
	ニ	カラオケボックス等							
3	イ	待合・料理店等							
	ロ	飲食店	5	1	2		2		
4		百貨店・マーケット・店舗等	7	4				2	1
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等							
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	2	2					
6	イ	(1) 病院等							
		(2) 診療所等							
		(3) 助産所等（入所施設有）							
		(4) 助産所等（入所施設無）	3	2					1
	ロ	(1) 養護老人ホーム等	2	2					
		(2) 救護施設							
		(3) 乳児院							
		(4) 障害児入所施設							
		(5) 障害者支援施設等	1	1					
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等							
		(2) 更生施設							
		(3) 助産施設・保育所等							
		(4) 児童発達支援センター等							
		(5) 身体障害者福祉センター等							
	ニ	幼稚園・特別支援学校							
7		学校・各種学校等							
8		図書館・博物館・美術館等							
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等							
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場							
10		車両の停車場等							
11		神社・寺院・教会等	1						1
12	イ	工場・作業場	7	5				2	
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ							
13	イ	自動車車庫・駐車場	4	3				1	
	ロ	飛行機などの格納庫							
14		倉庫	4	1	1			1	1
15		前各項に該当しない事業場	17	10	1		1	5	
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	2				2		
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	1				1		
	16の2	地下街							
	16の3	準地下街							
		専用住宅	6	6					
		併用住宅							
		その他	5	4				1	
合 計			69	42	4	1	6	12	4

※古町出張所管内分については、気仙沼消防署で審査している。

危 険 物

危険物施設

(令和8年3月31日現在)

署 所 別 製造所等別		合 計	気 仙 沼 市					南 三 陸 町	
			気 仙 沼 消 防 署	本 吉 分 署	唐 桑 出 張 所	古 町 出 張 所	大 島 出 張 所	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所
合 計		275	120	30	9	49	11	38	18
製 造 所									
貯 蔵 所	小 計	180	79	15	5	36	9	25	11
	屋 内	22	9	3		5	2	2	1
	屋 外 タ ン ク	22	15	1		1		5	
	屋 内 タ ン ク	5	4			1			
	地 下 タ ン ク	52	20	4	3	11	1	11	2
	簡 易 タ ン ク								
	移 動 タ ン ク	67	24	6	1	18	3	7	8
	屋 外	12	7	1	1		3		
取 扱 所	小 計	95	41	15	4	13	2	13	7
	給 油	43	16	6	3	6	2	5	5
	第 一 種 販 売								
	第 二 種 販 売								
	一 般	51	24	9	1	7		8	2
	移 送	1	1						

危険物施設の予防査察実施状況

(令和7年度中)

署 所 別 製造所等別		合 計	気 仙 沼 市					南 三 陸 町	
			気 仙 沼 消 防 署	本 吉 分 署	唐 桑 出 張 所	古 町 出 張 所	大 島 出 張 所	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所
合 計		132	46	15	9	9	11	28	14
製 造 所									
貯 蔵 所	小 計	94	40	7	5	6	9	19	8
	屋 内	7	2			2	2		1
	屋 外 タ ン ク	5				1		4	
	屋 内 タ ン ク								
	地 下 タ ン ク	18		2	3	3	1	7	2
	簡 易 タ ン ク								
	移 動 タ ン ク	60	38	5	1		3	8	5
	屋 外	4			1		3		
取 扱 所	小 計	38	6	8	4	3	2	9	6
	給 油	20	3	4	3		2	4	4
	第 一 種 販 売								
	第 二 種 販 売								
	一 般	18	3	4	1	3		5	2
	移 送								

危険物事務処理件数

(令和7年度中)

区 分 製造所等別		許 可		完 成		(完成検査前検査 タンク検査)	仮 使 用	種 類 ・ 数 量 変 更	譲 渡 引 渡	廃 止 届	合 計
		設置	変更	設置	変更						
合 計		2	9	2	8		4	2	3	7	37
製 造 所											
貯 蔵 所	小 計	2	4	2	3			2	3	4	20
	屋 内							2		1	3
	屋外タンク										
	屋内タンク										
	地下タンク										
	簡易タンク										
	移動タンク	2	4	2	3				3	3	17
	屋 外										
取 扱 所	小 計		5		5		4			3	17
	給 油		4		4		4			1	13
	第一種販売										
	第二種販売										
	一 般		1		1					2	4
	移 送										

民 間 防 火 組 織

危険物安全協会結成状況

(令和8年4月1日現在)

名 称		結成年月日	会 員 数	摘 要
気仙沼本吉地区危険物安全協会		S48. 4. 24	90	
構成組織	気仙沼地区		71	
	南三陸地区		19	

女性防火クラブ結成状況

(令和8年4月1日現在)

ク ラ ブ 連 合 会 名		結成年月日	単位クラブ数	会員数	事 務 局 所 在 地
1	気 仙 沼 市	S56. 5. 28	6	615	気仙沼市赤岩五駄鱈43-2
2	唐 桑 町	S45. 6. 17	1	130	気仙沼市唐桑町只越346-13
3	本 吉 町	S50. 4. 9	38	3,481	気仙沼市本吉町津谷松尾1-1
4	南 三 陸 町	H21. 4. 1	27	2,000	南三陸町入谷字桜沢116-15
5	気仙沼本吉地区 女性防火クラブ連合会	S56. 8. 11	72	6,226	気仙沼市赤岩五駄鱈43-2

防火管理者協会結成状況

(令和8年4月1日現在)

名 称		結成年月日	会 員 数	摘 要
1	気 仙 沼 市	S42. 9. 28	134	
2	気 仙 沼 市 唐 桑 町	S52. 11. 21	33	
3	気 仙 沼 市 本 吉 町	S51. 8. 20	44	
4	南 三 陸 町	H26. 4. 22	85	
合 計			296	

幼年消防クラブ結成状況

(令和8年4月1日現在)

市 町 名		結成年月日	ク ラ ブ 数	クラブ員数	摘 要
1	気 仙 沼 市	S57. 6. 10	11	409	
2	気仙沼市唐桑町	H元. 12. 25	1	60	
3	気仙沼市本吉町	S59. 12. 4	3	27	
4	南三陸町志津川	S58. 3. 9	4	139	
5	南三陸町歌津	S56. 6 .4	2	71	
合 計			21	706	

少年消防クラブ結成状況

(令和8年4月1日現在)

市 町 名		結成年月日	ク ラ ブ 数	クラブ員数	摘 要
1	気 仙 沼 市	S63. 6. 4	11	251	
2	気仙沼市唐桑町	S55. 7. 17	1	21	
3	気仙沼市本吉町	H29. 4. 25	2	59	
4	南三陸町志津川	H29. 5. 19	5	396	
5	南三陸町歌津	H23. 2. 18	3	234	
合 計			22	961	

警 防



第51回広域消防技術大会(総合訓練, 署所対抗警防技術競技)

消 防 車 両

消防車両等の配置状況

(令和8年4月1日現在)

所 属 車 両	合 計	消 防 本 部	気 仙 沼 消 防 署	本 吉 分 署	唐 桑 出 張 所	古 町 出 張 所	大 島 出 張 所	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所
合 計	38	8	9	4	3	3	3	5	3
消 防 ポ ン プ 自 動 車	8	1 (非常用)	1	1	1	1	1	1	1
水 槽 付 ポ ン プ 自 動 車	3	1 (非常用)		1				1	
化 学 車	1		1						
小型動力ポンプ付水槽車	1		1						
は し ご 車 (30m 級)	1		1						
救 助 工 作 車	1		1						
水 難 救 助 車	1		1						
高 規 格 救 急 自 動 車	8	1 (非常用)	1	1	1	1	1	1	1
指 揮 車	4	2 (非常用1)	1					1	
広 報 車	6	1		1	1	1	1		1
資 機 材 搬 送 車	2		1					1	
事 務 連 絡 車	1	1							
人 員 輸 送 車	1	1							

消防車両等の配置現況

(令和8年4月1日現在)

所 属	名 称	車 名	登録年月	経過年数	無 線 呼 称
消 防 本 部	消防ポンプ車(非常用)	日 野	H18.01	20	本 部 ポンプ1
	水槽付ポンプ自動車 (非 常 用)	日 野	H14.12	23	〃 タンク1
	高規格救急車(非常用)	ト ヨ タ	H25.02	13	〃 救 急 1
	指 揮 車	三 菱	H19.03	19	〃 指 揮 1
	指揮車 (非常用)	ト ヨ タ	R7.06	1	〃 指 揮 2
	広 報 車	日 産	H25.03	13	〃 広 報 1
	事 務 連 絡 車	ト ヨ タ	R02.10	5	
	人 員 輸 送 車	ト ヨ タ	R02.01	6	
気仙沼消防署	消 防 ポンプ自動車	日 野	H29.03	9	気仙沼 ポンプ1
	化 学 車	日 野	H22.12	15	〃 化 学 1
	小型動力ポンプ付水槽車	日 野	R7.05	1	〃 水 槽 1
	は し ご 車	日 野	H18.02	20	〃 梯 子 1
	救 助 工 作 車	日 野	H26.03	12	〃 救 助 1
	水 難 救 助 車	ト ヨ タ	H23.09	14	〃 救 助 2
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	R02.10	5	〃 救 急 1
	指 揮 車	三 菱	H19.02	19	〃 指 揮 1
	資 機 材 搬 送 車	日 野	H20.07	16	〃 搬 送 1
本 吉 分 署	消 防 ポンプ自動車	日 野	H19.01	19	本 吉 ポンプ1
	水槽付ポンプ自動車	日 野	H31.03	7	〃 タンク1
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	R05.10	3	〃 救 急 1
	広 報 車	三 菱	H20.07	17	〃 広 報 1
唐 桑 出 張 所	消 防 ポンプ自動車	日 野	H30.03	8	唐 桑 ポンプ1
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H28.12	9	〃 救 急 1
	広 報 車	三 菱	H26.11	11	〃 広 報 1
古 町 出 張 所	消 防 ポンプ自動車	日 野	H25.03	13	古 町 ポンプ1
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	R01.08	6	〃 救 急 1
	広 報 車	ダ イ ハ ツ	R03.11	4	〃 広 報 1
大 島 出 張 所	消 防 ポンプ自動車	日 野	H24.02	14	大 島 ポンプ1
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H27.09	8	〃 救 急 1
	広 報 車	日 産	H24.03	14	〃 広 報 1
南三陸消防署	消 防 ポンプ自動車	日 野	H24.02	14	南三陸 ポンプ1
	水槽付ポンプ自動車	日 野	R02.03	6	〃 タンク1
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	R02.10	5	〃 救 急 1
	指 揮 車	日 産	H24.03	14	〃 指 揮 1
	資 機 材 搬 送 車	日 野	H24.03	14	〃 搬 送 1
歌 津 出 張 所	消 防 ポンプ自動車	三 菱	R03.02	5	歌 津 ポンプ1
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H30.02	8	〃 救 急 1
	広 報 車	三 菱	H26.11	11	〃 広 報 1

消防力の整備指針と現有

消防本部・署所の人員

(算定人員は、消防施設整備計画実態調査：令和7年4月1日現在)

(現有人員数は令和8年4月1日現在)

区 分		整 備 台 数 (台)	搭 乗 人 員	搭乗人員 に対する 整備台数 (台)	算 定 人 員 (人)		現 有 人員数 (人)	
					整備台数に対する 算定人員			
整備台数に対する人員 (消防隊員・救急隊員・救助隊員・指揮隊員)	消 防 ポ ン プ 自 動 車	9	5人搭乗	1	15	99	156	141
			4人搭乗	7	84			
			乗換運用	1	0			
	は し ご 自 動 車	1	5人搭乗	—	—	0		
			4人搭乗	—	—			
			乗換運用	1	0			
	化 学 消 防 車	1	5人搭乗	1	15	15		
			4人搭乗	—	—			
			乗換運用	—	—			
	大 型 化 学 車 等 (三 点 セ ッ ト)	0	—	—	—	—		
	消 防 艇	0	—	—	—	—		
	救 急 自 動 車	7	3人搭乗	2	18	18		
			兼務運用	5	0			
	救 助 工 作 車	1	5人搭乗	1	15	15		
指 揮 車	1	3人搭乗	1	9	9			
特殊車等	小型動力ポンプ付水 槽 車	1	乗換運用	1	0	0		
	水 難 救 助 車	1	乗換運用	1	0			
	資 機 材 搬 送 車	2	乗換運用	2	0			
	広 報 車	5	乗換運用	5	0			
非常用車両等	非常用ポンプ車	1						
	非常用救急車	1						
	指 揮 車	3						
通 信 員							10	6
予 防 要 員							21	17
専任の予防要員							15	9
警防要員をもって充てる予防要員の数							6	8
総務事務等の執行のために必要な人員							25	36
消防本部及び署所の消防職員の総数							206	192

※ 大型化学車等の三点セットとは、「大型化学消防車」、「大型高所放水車」、「泡原液搬送車」をいう。

※ 「人員輸送車」「連絡車」は含めず。

※ 消防職員の総数に予防要員の「警防要員をもって充てる予防要員の数」は含めず。

署所及び動力消防ポンプの基準と現有

(消防施設整備計画実態調査：令和7年4月1日現在)

市 町 名	地 域 名	署 所					動 力 消 防 ポ ン プ 数											
		人 口 （人）	算 定 数	整 備 数	不 足 数	比 率	署所管理分				消防団管理分							
							算 定 数	整 備 数	不 足 数	比 率	算定数		整備数		不足数		比 率	
											消 防 ポ ン プ 自 動 車	小 型 引 動 力 ポ ン プ	消 防 ポ ン プ 自 動 車	小 型 引 動 力 ポ ン プ	消 防 ポ ン プ 自 動 車	小 型 引 動 力 ポ ン プ	消 防 ポ ン プ 自 動 車	小 型 引 動 力 ポ ン プ
											(台)	(口)	(台)	(口)	(台)	(口)	(%)	(%)
											①	ア	①－ ア	ア/① ×100	②	イ	②－イ	イ/② ×100
気 仙 沼 市	市街地	24, 099	2	2	0	100	3	3	0	100	8	6	8	6	0	0	100	100
	準市街地	21, 914	3	3	0	100	4	4	0	100	7	31	7	31	0	0	100	100
	その他	10, 287				－				－	3	34	3	34	0	0	100	100
	計	56, 300	5	5	0	100	7	7	0	100	18	71	18	71	0	0	100	100
南 三 陸 町	市街地	－				－				－							－	－
	準市街地	5, 102	2	2	0	100	3	3	0	100	1	14	1	14	0	0	100	100
	その他	6, 396				－				－	1	25	1	25	0	0	100	100
	計	11, 498	2	2	0	100	3	3	0	100	2	39	2	39	0	0	100	100
広 域	市街地	24, 099	2	2	0	100	3	3	0	100	8	6	8	6	0	0	100	100
	準市街地	27, 016	5	5	0	100	7	7	0	100	8	45	8	45	0	0	100	100
	その他	16, 683				－				－	4	59	4	59	0	0	100	100
	計	67, 798	7	7	0	100	10	10	0	100	20	110	20	110	0	0	100	100

消 防 水 利

管内水利状況

(令和8年4月1日現在)

署 所 種 別			気仙沼消防署		大島出張所		唐桑出張所		本吉分署		南三陸消防署		歌津出張所		合 計		
合 計 (A) + (B) + (C)			1, 188		129		139		387		306		164		2, 313		
消 火 栓	小 計 (A)	地 上	482	953	62	88	81	87	166	201	25	176	29	71	845	1, 576	
		地 下	471		26		6		35		151		42		731		
	公 設	地 上	447		62		81		164		24		29		807		
		地 下	450		26		6		34		151		42		709		
	私 設	地 上	35						2		1				38		
		地 下	21						1						22		
	防 火 水 槽	小 計 (B)		221		40		49		183		124		91		708	
		40m³以上		184		35		40		116		113		88		576	
		40m³未満		37		5		9		67		11		3		132	
	プ ー ル (C)			14		1		3		3		6		2		29	

※ 古町出張所管轄の消防水利は気仙沼消防署に含まれる。

通 信



消防救急デジタル無線

宮城県東部消防指令センター 指令台



通 信

通 信 施 設 の 現 況

(令和8年4月1日現在)

所 属 区 分			合 計	消 防 本 部	沼 沢 消 防 署 内						南 三 陸 消 防 署 内			
					気 管 仙 沼 消 防 署	本 吉 分 署	唐 桑 出 張 所	古 町 出 張 所	大 島 出 張 所	小 計	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所	小 計	
有 線	加 入	一 般 回 線	17	9		2	1	1	1	5	2	1	3	
		テ レ フ ォ ン サ ー ビ ス	1	1										
		F A X	9	3		1	1	1	1	4	1	1	2	
	指 令 ・ 無 線 専 用 回 線		11	4	1	1	1	1	1	5	1	1	2	
	直 通 電 話		1			1				1				
衛 星 携 帯 電 話			8	1	1	1	1	1	1	5	1	1	2	
携 帯 電 話			10	1	2	1	1	1	1	6	2	1	3	
デ ジ タ ル 無 線	消 防	基 地 局	3	3										
		陸上移動局	卓 上	7	1		1	1	1	1	4	1	1	2
			可 搬	5	3	1					1	1		1
			車 載	30	5	9	3	2	2	2	18	5	2	7
			携 帯	32	3	8	4	3	3	3	21	5	3	8
	車 両 運 用 端 末 装 置		30	5	9	3	2	2	2	18	5	2	7	
署活動用無線機			39	3	10	5	3	4	3	25	8	3	11	
IPハイブリッド型			20	3	3	3	2	2	2	12	3	2	5	
IP無線			1	1										

119番受信件数

(令和7年)

種別	月別												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	2		1	1		3	2	14	1		3	3	30
	(2)		(1)			(2)	(2)	(9)	(1)		(2)	(1)	(20)
救急	361	310	332	242	301	336	362	316	314	312	338	355	3,879
携帯電話	(187)	(156)	(170)	(141)	(133)	(173)	(190)	(164)	(160)	(149)	(181)	(214)	(2018)
救助	1		2	2	1	2	1	2	1		1	2	15
	(1)		(2)	(2)		(2)	(1)	(2)	(1)		(1)	(2)	(14)
その他災害	3	3	2	2	5	6	4	5	8	2	7	4	51
	(1)	(1)		(2)	(4)	(5)	(3)	(2)	(5)	(2)	(5)	(4)	(34)
誤り	10	12	15	3	16	10	5	9	10	8	12	11	121
	(6)	(6)	(12)	(3)	(10)	(7)	(4)	(6)	(8)	(5)	(7)	(7)	(81)
いたずら等			1			1	1	1		2		2	8
			(1)			(1)						(1)	(3)
訓練・演習		2	1				1	3	1			2	10
		(2)					(1)	(3)	(1)			(2)	(9)
試験	9	6	6	6	9	25	15	9	6	8	7	3	109
	(2)	(2)		(2)		(3)	(5)	(4)		(2)			(20)
その他	24	16	23	20	22	24	23	34	45	23	21	26	301
	(12)	(13)	(19)	(10)	(12)	(14)	(15)	(26)	(31)	(12)	(16)	(15)	(195)
119転送		1	4			3	1	1		1	2		13
		(1)	(4)			(3)	(1)	(1)		(1)	(2)		(13)
合計	410	350	387	276	354	410	415	394	386	356	391	408	4,537
携帯電話	(211)	(181)	(209)	(160)	(159)	(210)	(222)	(217)	(207)	(171)	(214)	(246)	(2407)

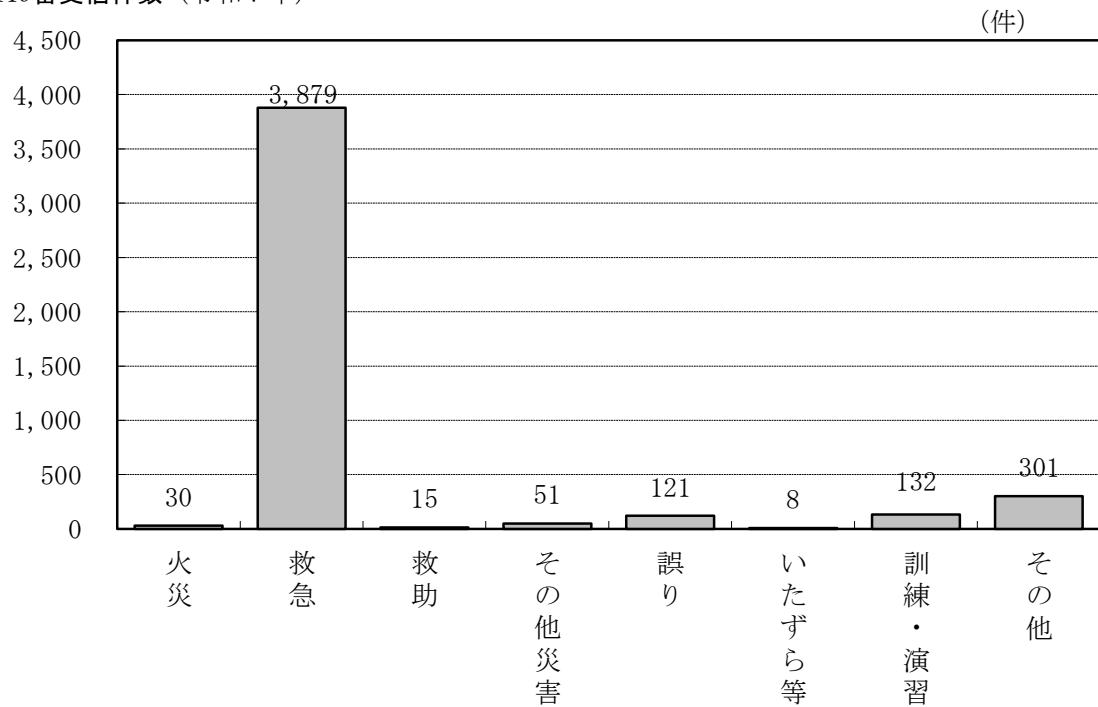
※()は受信件数のうち、携帯電話からの入電件数。

※火災・救急・救助には第2報、第3報も含む。

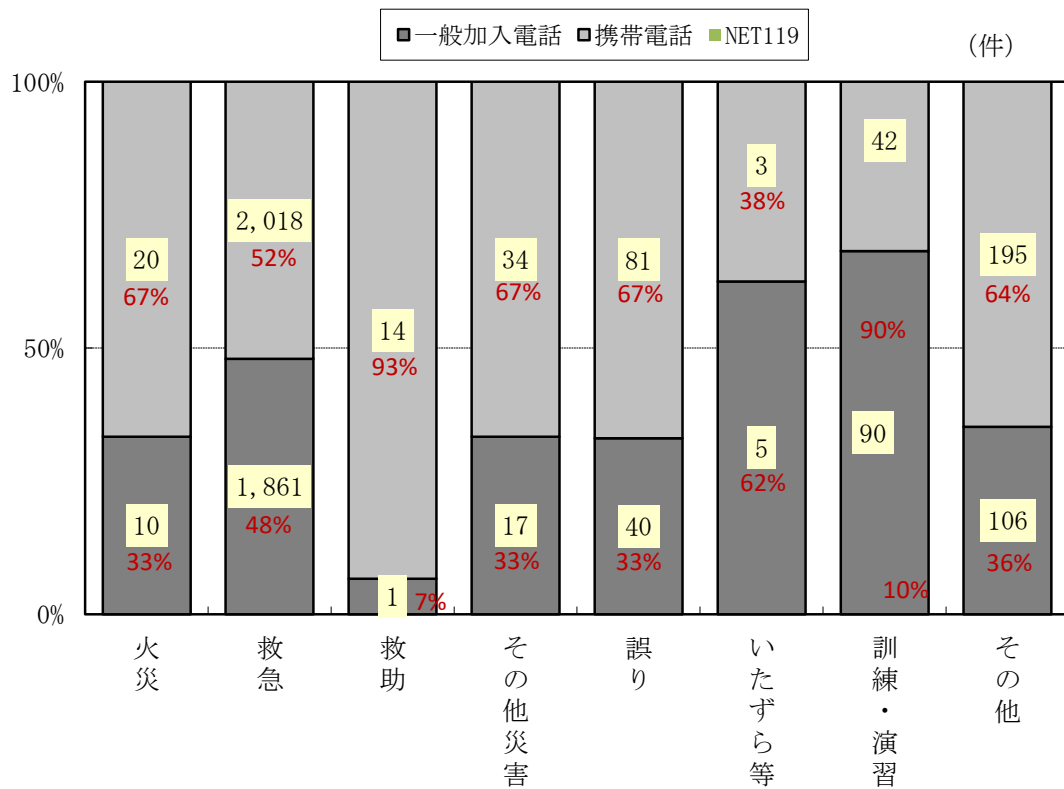
※「119転送」は、管轄外で発生している災害の119番通報(携帯電話や又聞き通報等)を管轄する消防本部へ転送した件数を計上。

※Net119, FAX119, メール119は災害のみ計上。

119番受信件数（令和7年）



119番通報 一般加入電話・携帯電話・NET119比率（令和7年）



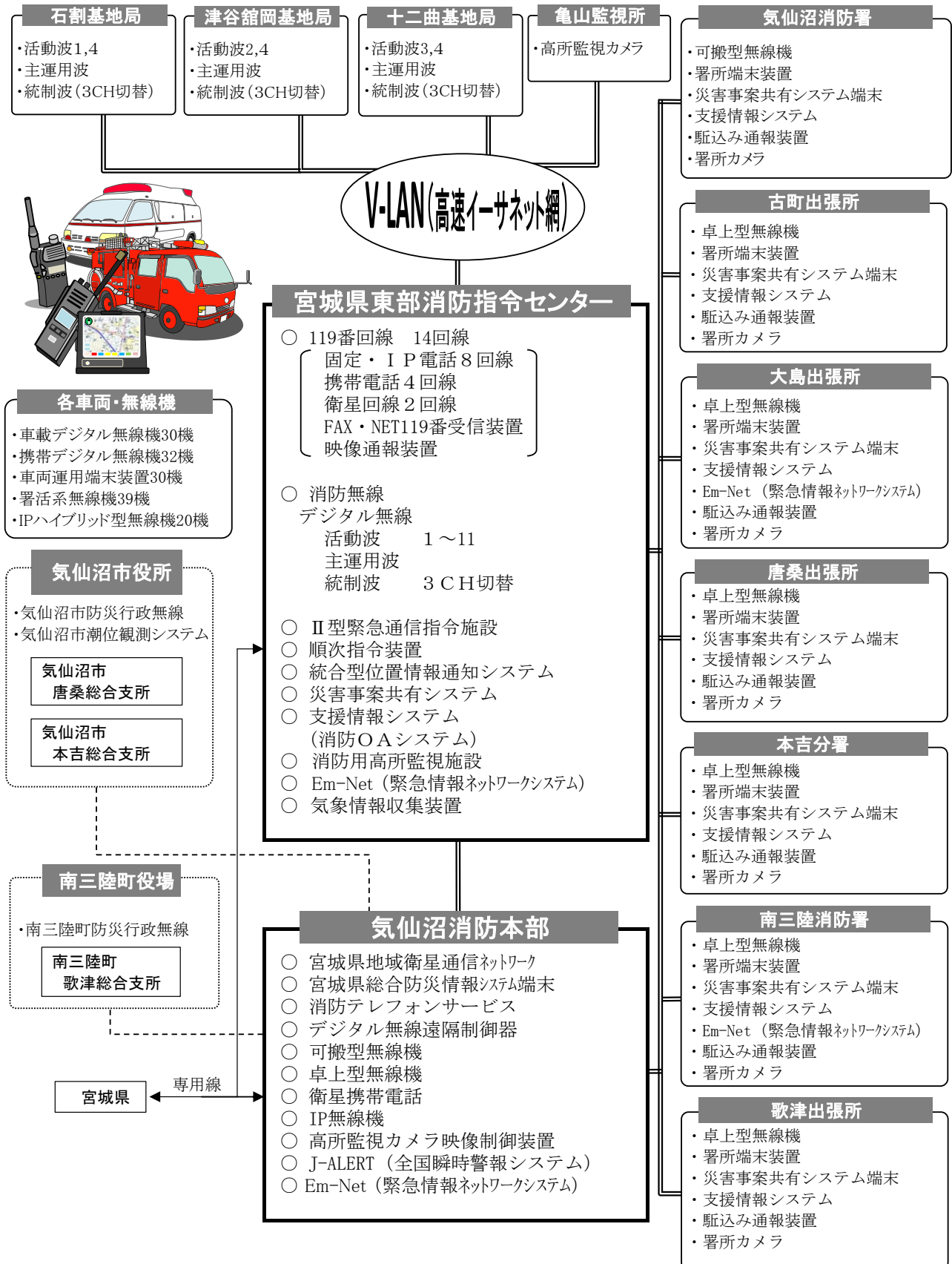
※ 「NET119」 による通報は無し。

119番通報全体に占める携帯電話比率・・・50%

※ 「試験」「携帯119転送」は除く。

通 信 系 統 図

(令和8年4月1日現在)



気 象 統 計

(令和7年)

気仙沼市(観測地:防災センター)																	
月	平均		最大瞬間		気温			湿度				気圧		雨量			
	風速	風向	風速	風向	平均	最高	最低	平均	最高	最低	実効	現地	海面	10分 最大	時間 最大	日最 大	月積 算
	(m/s)		(m/s)		(°C)			(%)				(hPa)		(mm)			
1月	1.7	北西	18.2	北西	2.0	12.2	-5.0	75.0	97.4	32.2	74.7	1011.6	1015.5	0.5	2.5	10.5	14.0
2月	2.3	北西	20.4	北西	1.5	12.9	-4.9	65.9	96.1	24.4	67.0	1008.7	1020.1	0.5	0.5	0.5	0.5
3月	2.0	北西	21.7	西	6.1	20.6	-2.1	67.9	97.5	19.7	67.1	1011.9	1012.9	1.0	3.5	22.0	51.0
4月	1.7	南東	22.4	西	10.4	25.2	0.0	78.5	97.7	18.0	77.8	1008.2	1014.6	2.0	10.0	54.5	93.0
5月	1.5	南東	18.7	北西	14.5	29.6	5.0	81.2	97.7	24.7	79.9	1009.5	1012.8	4.5	17.5	98.0	222.5
6月	1.2	南東	14.4	北西	20.6	34.3	10.0	82.9	97.7	36.1	83.1	1005.9	1009.5	1.0	2.5	10.5	28.5
7月	1.2	南東	10.6	南南東	25.2	36.2	16.4	82.4	97.7	42.7	82.2	1007.4	1007.3	1.5	3.5	8.0	18.5
8月	1.1	北北西	14.0	西	26.1	36.2	19.8	82.4	97.7	41.1	82.0	1006.5	1008.2	1.5	3.5	6.5	24.5
9月	1.2	北北西	14.7	南	22.1	36.6	13.1	85.8	97.5	37.5	85.7	1010.5	1014.1	16.5	71.0	148.0	375.5
10月	1.3	北北西	11.9	西北北西	14.7	26.9	2.8	84.2	97.7	43.3	84.0	1016.9	1019.3	2.5	8.5	29.5	128.0
11月	1.6	北北西	19.7	西北北西	8.8	20.0	-0.4	76.2	97.5	36.6	76.7	1013.7	1018.0	5.0	17.0	49.0	19.5
12月	1.5	西北北西	20.6	西	4.3	20.1	-4.3	79.4	97.5	40.5	79.1	1013.1	1012.2	1.0	3.0	13.0	35.5
平均値	1.5	北北西			13			78.5				78.3	1010.3	1013.4			
最高値	9.4	西	22.4	西		36.6			97.7			92.0	1030.9	1034.3	16.5	71.0	375.5
起時	11月1日		4月16日			9月2日			4月23日			6月26日	12月23日	12月23日	9月5日	9月5日	9月5日
最低値							-5			18.0	54.6	981.7	984.7				
起時							1月5日			4月19日	3月4日	11月1日	11月1日				
風向頻	北	北北東	北東	東北東	東	東南東	南東	南南東	南	南南西	南西	西南西	西	西北西	北西	北北西	静穏
%	7.7	0.0	2.5	0.7	1.2	1.2	18.7	3.3	0.2	0.0	0.2	0.5	5.9	11.5	24.1	19.7	0.8

南三陸町(観測地:南三陸消防署)																	
月	平均		最大瞬間		気温			湿度				気圧		雨量			
	風速	風向	風速	風向	平均	最高	最低	平均	最高	最低	実効	現地	海面	10分 最大	時間 最大	日最 大	月積 算
	(m/s)		(m/s)		(°C)			(%)				(hPa)		(mm)			
1月	1.2	西北北西	16.3	西	2.0	12.2	-5.9	81.6	97.7	42.2	81.6	1013.0	1020.2	1.0	3.5	12.0	20.0
2月	1.7	西北北西	20.1	西北北西	1.3	14.8	-6.5	73.0	97.5	24.1	73.9	1010.3	1017.4	0.5	0.5	1.0	1.5
3月	1.6	西北北西	23.2	西北北西	6.1	22.3	-4.2	73.2	97.7	26.3	72.4	1013.2	1020.2	1.5	6.0	33.5	68.0
4月	1.5	東北東	18.5	西北北西	10.3	25.8	-1.6	82.6	97.7	23.6	82.2	1009.6	1016.5	2.0	7.5	58.5	101.0
5月	1.3	東北東	15.5	東北東	14.7	29.7	4.2	84.6	98.0	31.6	83.1	1010.7	1017.5	4.5	20.0	95.5	211.5
6月	1.1	南南西	14.6	西	21.1	35.1	8.5	85.3	98.0	36.9	85.7	1007.1	1013.8	1.0	2.0	6.0	20.5
7月	1.2	東北東	12.2	南南西	26.1	37.9	17.1	84.4	98.0	40.2	84.3	1008.5	1015.0	1.5	5.0	7.0	15.0
8月	1.0	西	11.3	西北北西	26.1	36.9	19.0	86.6	97.7	45.2	86.1	1007.7	1014.2	12.0	14.5	15.0	63.5
9月	0.8	東北東	13.0	南西	22.0	35.7	12.1	89.4	97.7	42.2	89.3	1011.8	1018.4	10.5	23.0	63.0	250.5
10月	0.7	東北東	13.7	西	14.7	27.5	2.1	88.6	97.7	38.0	88.2	1018.2	1025.0	4.0	16.5	41.0	169.0
11月	1.1	西	19.0	西	8.7	20.8	-1.5	82.4	97.7	41.3	83.1	1015.1	1022.1	5.5	26.5	68.0	69.0
12月	1.1	西	18.6	西	4.3	20.9	-4.0	85.6	97.7	49.1	85.1	1014.6	1021.7	1.5	3.5	16.0	38.0
平均値	1.2	東北東			13.1			83.1				82.9	1011.7	1018.5			
最高値	9.6	西	23.2	西北北西		37.9			98.0			94.1	1032.3	1039.7	12.0	26.5	250.5
起時	3月26日		3月26日			7月21日			5月17日			9月13日	12月23日	12月23日	8月27日	11月1日	5月31日
最低値							-6.5			23.6	59.2	984.4	990.9				
起時							2月19日			4月27日	3月4日	11月1日	11月1日				
風向頻	北	北北東	北東	東北東	東	東南東	南東	南南東	南	南南西	南西	西南西	西	西北西	北西	北北西	静穏
%	3.8	2.7	6.6	15.3	5.8	4.6	3.1	1.1	1.1	1.4	1.8	3.1	20.7	16.9	7.9	3.2	0.9

気象情報等の受信件数

(令和7年)

種 別 \ 月 別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
警 報	波 浪	1		1		1		1			1			5
	大 雨									1		1		2
	洪 水					1				1		1		3
	暴 風	2		4	2	1		1		1	1	1	1	14
	大 雪													0
	暴 風 雪	1	3										2	6
	津 波							1						1
	大 津 波													0
	高 潮													0
警 報 計		4	3	5	2	3	0	3	0	3	2	3	3	31
注 意 報	乾 燥	2	2	6	6	2						6	3	27
	強 風	9	5	15	14	8	7	3	2	5	8	8	8	92
	波 浪	7	4	7	4	6	1	3	1	5	7	1	5	51
	大 雨				1	1				4		2		8
	洪 水				1	2				2	1	1		7
	雷	1		2	8	3	5	11	11	10	4	5	2	62
	濃 霧	4		3	10	11	8	11	10	11	11	8	5	92
	大 雪		2	1										3
	風 雪	5	8										2	15
	着 雪		2	1										3
	低 温		2											2
	霜			15	7	1					3	7		33
	高 潮													0
	津 波							1					1	2
注 意 報 計		28	25	50	51	34	21	29	24	37	34	38	26	397
警 報 ・ 注 意 報 計		32	28	55	53	37	21	32	24	40	36	41	29	428

管内消防団



気仙沼市消防団

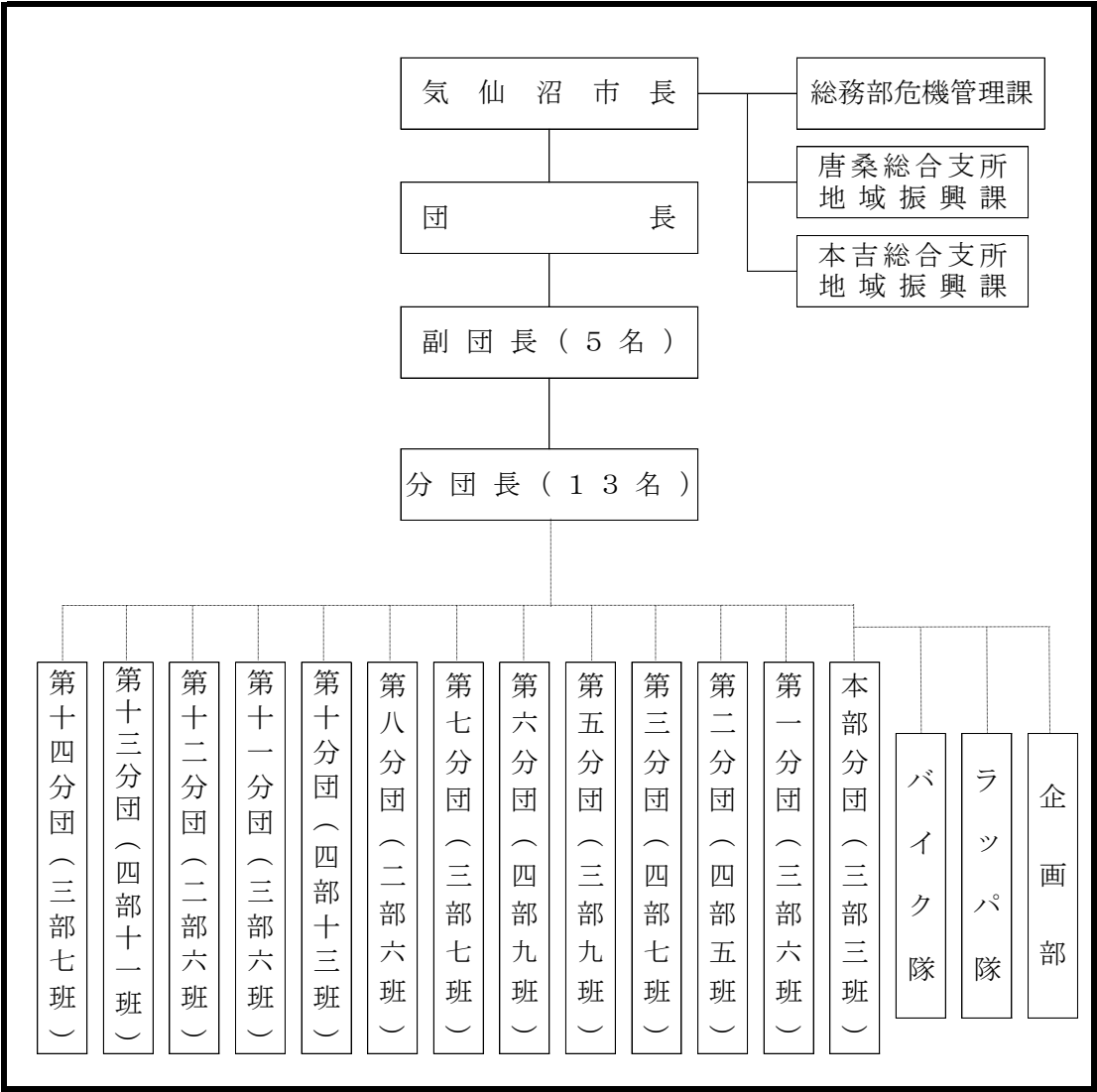


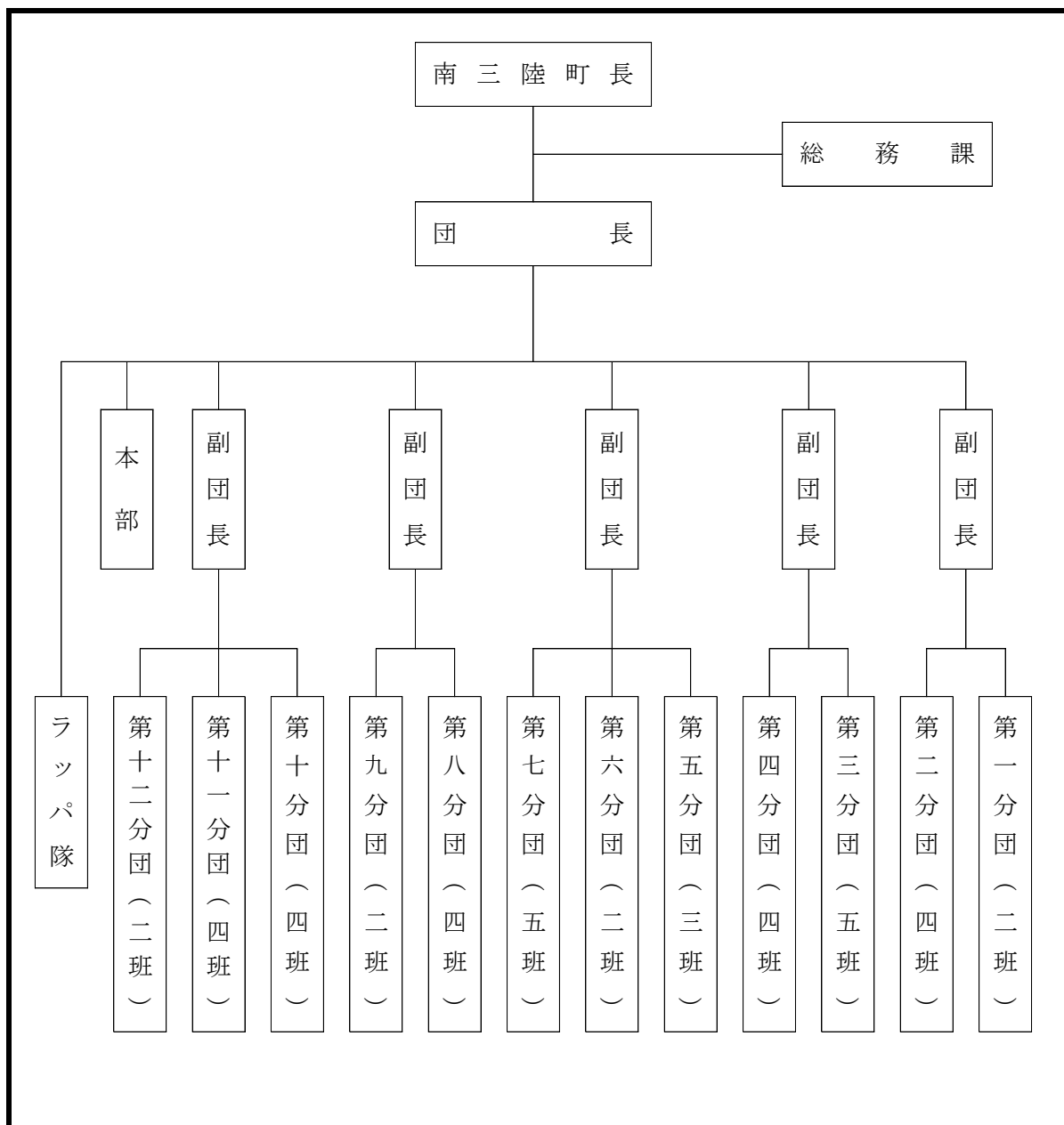
南三陸町消防団

管内消防団

組織機構図：気仙沼市消防団

(令和8年4月1日現在)





組 織 (令和8年4月1日現在)

区 分 市 町	団 数	分 団 数	部 数	班 数	条例定員数	実 員 数
気 仙 沼 市	1	13	43	100	800	626
南 三 陸 町	1	12		41	450	386
合 計	2	25	43	141	1,250	1,012

階級別消防団員数 (令和8年4月1日現在)

階 級 市 町	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
気 仙 沼 市	1	5	13	26	42	94	445	626
南 三 陸 町	1	5	12	12		41	315	386
合 計	2	10	25	38	42	135	760	1,012

年齢別消防団員数 (令和8年4月1日現在)

年 齢 市 町	20歳未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	合 計
気 仙 沼 市	0	23	92	180	194	137	626
南 三 陸 町	0	16	78	131	125	36	386
合 計	0	39	170	311	319	173	1,012

在職年数別消防団員数

(令和8年4月1日現在)

年 数 市 町	5 年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	合 計
気 仙 沼 市	85	90	90	107	70	65	119	626
南 三 陸 町	62	72	64	53	65	24	46	386
合 計	147	162	154	160	135	89	165	1,012

消防団員報酬

(令和8年4月1日現在) (単位：円)

報 酬 市 町	年 報 酬							出動報酬
	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	
気 仙 沼 市	94,900	77,300	59,200	50,200	42,000	39,000	36,500	5,400 (4時間以内の場合)
南 三 陸 町	162,600	118,800	89,700	80,400		71,400	36,600	4時間未満：4000 4時間以上：8000

消防施設の現況

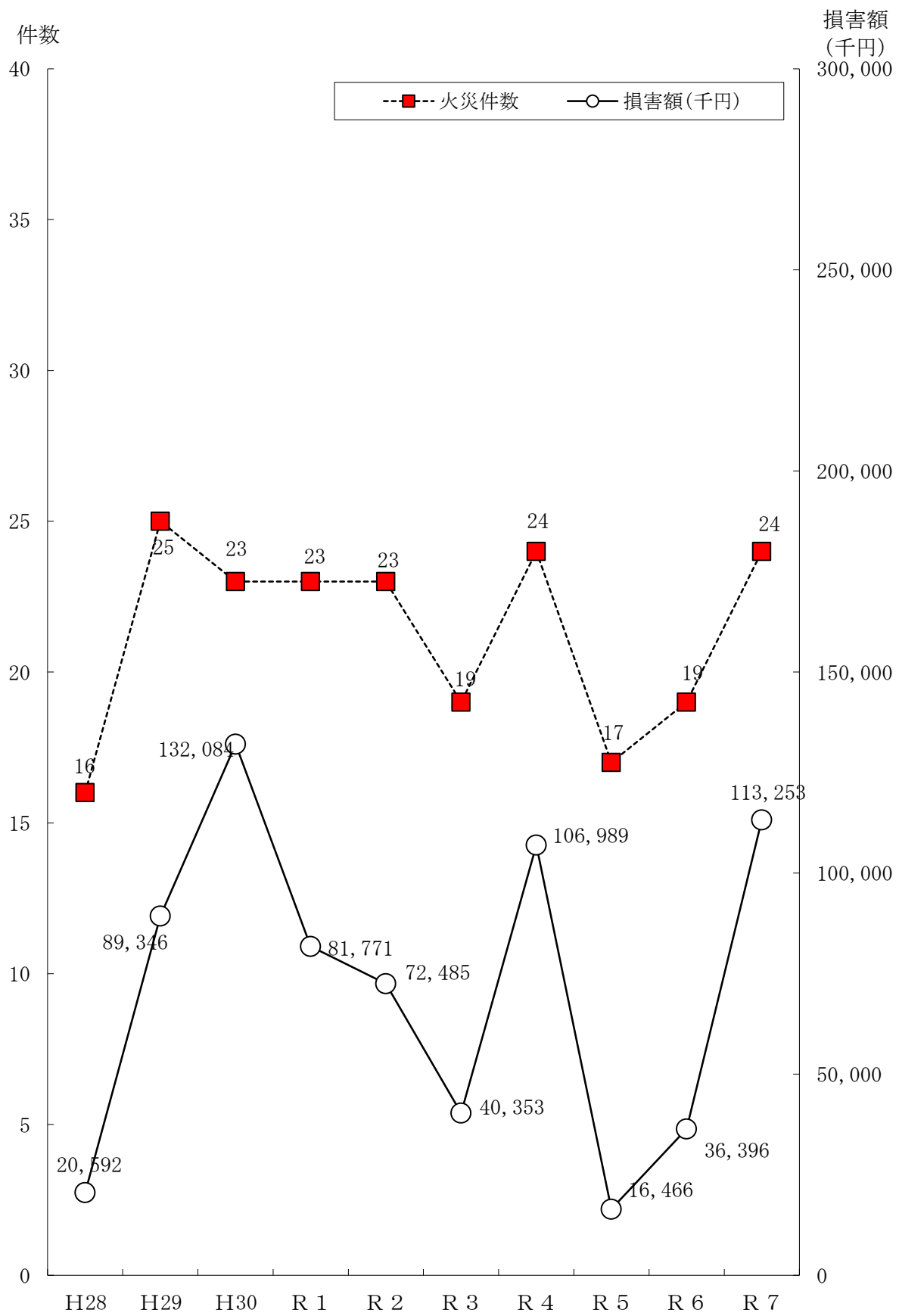
(令和8年4月1日現在)

施 設 市 町	消防ポンプ 自 動 車	積 載 車	小型動力 ポ ン プ	消 火 栓	防火水槽	プール等
気 仙 沼 市	17	68	3	1,329	493	21
南 三 陸 町	2	41	3	247	215	8
合 計	19	109	6	1,576	708	29

火災・救急・救助統計



火災件数及び損害額の推移

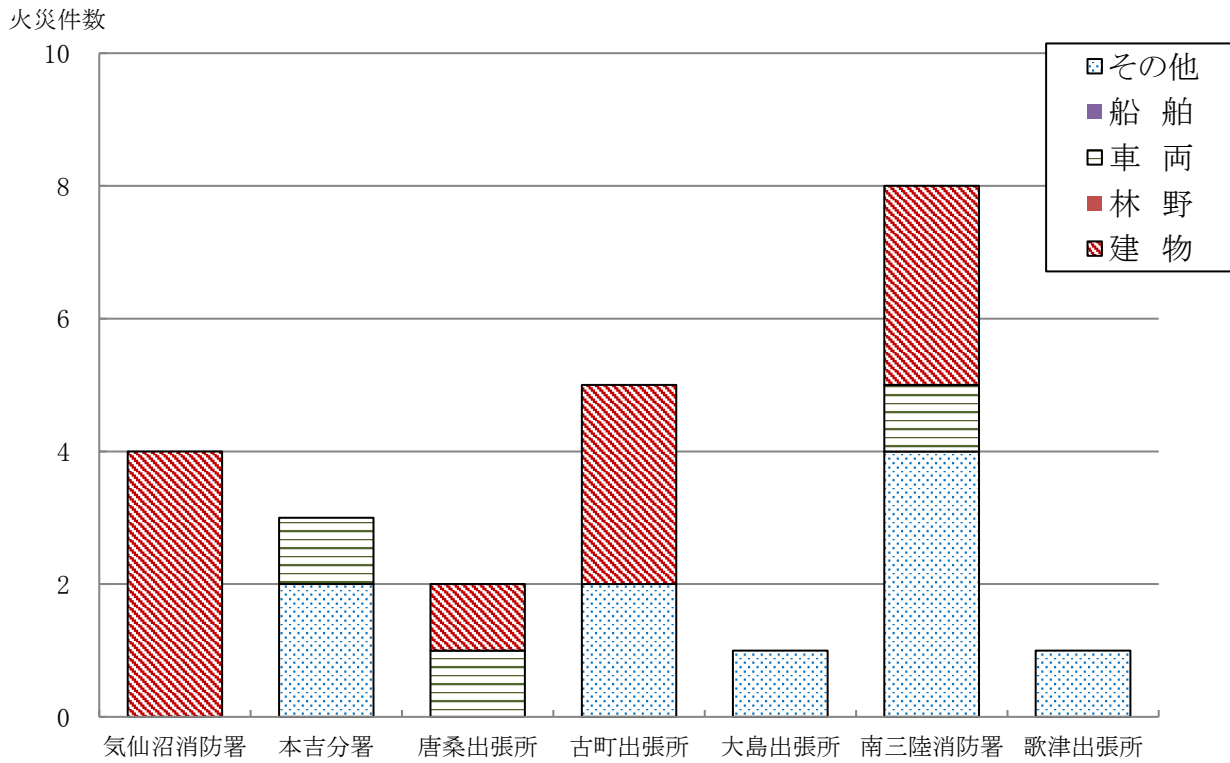


署 所 別 火 災 発 生 状 況

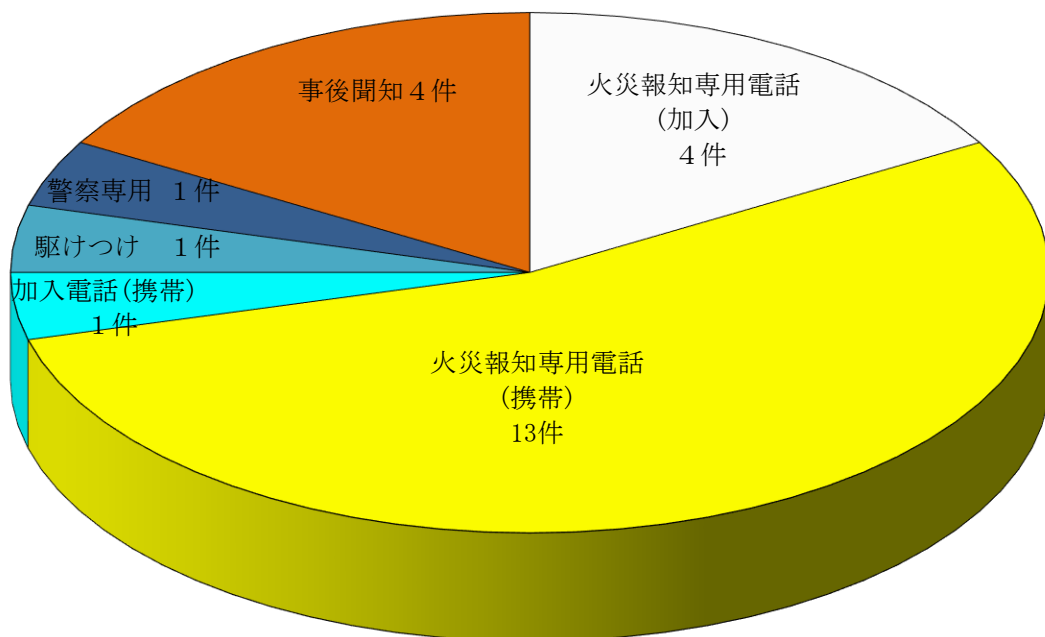
(令和 7 年)

署所別 区 分		気 仙 沼 消 防 署	本 吉 分 署	唐 桑 出 張 所	古 町 出 張 所	大 島 出 張 所	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所	総 計
火 災 件 数	建 物	4		1	3		3		11
	林 野								
	車 両		1	1			1		3
	船 舶								
	そ の 他		2		2	1	4	1	10
	合 計	4	3	2	5	1	8	1	24
り 災 棟 数	全 焼			1	2		2		5
	半 焼	1					1		2
	部 分 焼	1			4				5
	ぼ や	2		1	3		1		7
	合 計	4		2	9		4		19
建物焼損床面積 (㎡)		50		228	95		158		531
内類焼					7				7
建物焼損表面積 (㎡)					47		14		61
内類焼					35				35
林野焼損面積 (a)					1				1
内類焼					1				1
り 災 世 帯 数		3		1	2		1		7
り 災 人 員		5		7	8		1		21
損 害 額 (千円)	建 物	46,483		39,447	5,420		16,944		108,294
	内類焼	71			1,222				1,293
	林 野						50		50
	内類焼						50		50
	車 両		3,000	940	150		335		4,425
	内類焼			90	150				240
	船 舶								
	内類焼								
	そ の 他			10	3		34	437	484
	内類焼			10	3		34		47
	合 計	46,483	3,000	40,397	5,573		17,363	437	113,253
	内類焼	71		100	1,375		84		1,630
死 者					1		1		2
負 傷 者		1		2	1		1		5
放 水 火 災 件 数		2	2	2	2		4		12

署 所 別 火 災 発 生 状 況



覚 知 別 火 災 発 生 状 況



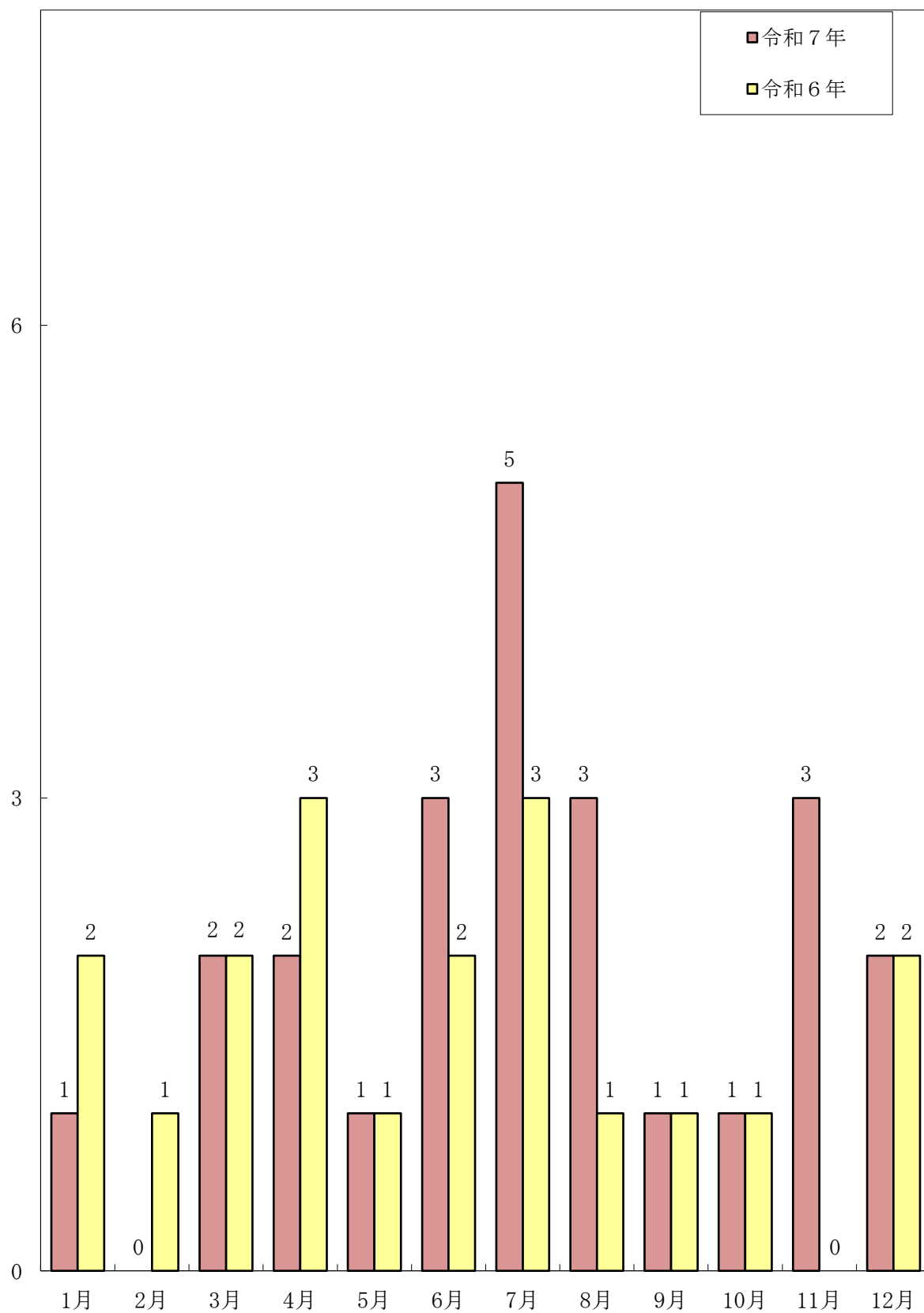
月別火災発生状況

月 別 区 分			1 月		2 月		3 月			4 月			5 月			6 月		
火 災 件 数	建 物	全 焼	1	1	1													
		半 焼																
		部 分 焼																
		ぼ や						1										
	林 野		1			2			2			1			3			
	車 両						1											
	船 舶																	
	そ の 他						1			1			1			1		
り 災 棟 数	棟 数	全 焼	1	2				1								2		
		半 焼	1															
		部 分 焼																
		ぼ や																
	世 帯 数	全 損																
		半 損																
		小 損																
	建 物	焼損床面積(㎡)		95														
内類焼																		
焼損表面積(㎡)		14																
内類焼																		
林野焼損面積(a)																		
内類焼																		
損 害 額 (千円)	建 物	建 物	15,098													22		
		内類焼																
		収 容 物	582				11,359							9				
		内類焼																
	林 野																	
	内類焼																	
	車 両									3,000								
	内類焼																	
	船 舶																	
	内類焼																	
	そ の 他		33															
	内類焼		33															
合 計		15,713				11,359			3,000				31					
内類焼		33																
死 者			1															
負 傷 者			1															
放 水 火 災 件 数			1									1		1				
放 水 ポ ン プ 台 数			3									1		1				
出 動 延 べ 人 員 (吏 員)			32				25			6		3		46				
出 動 延 べ 人 員 (団 員)			54				8							60				

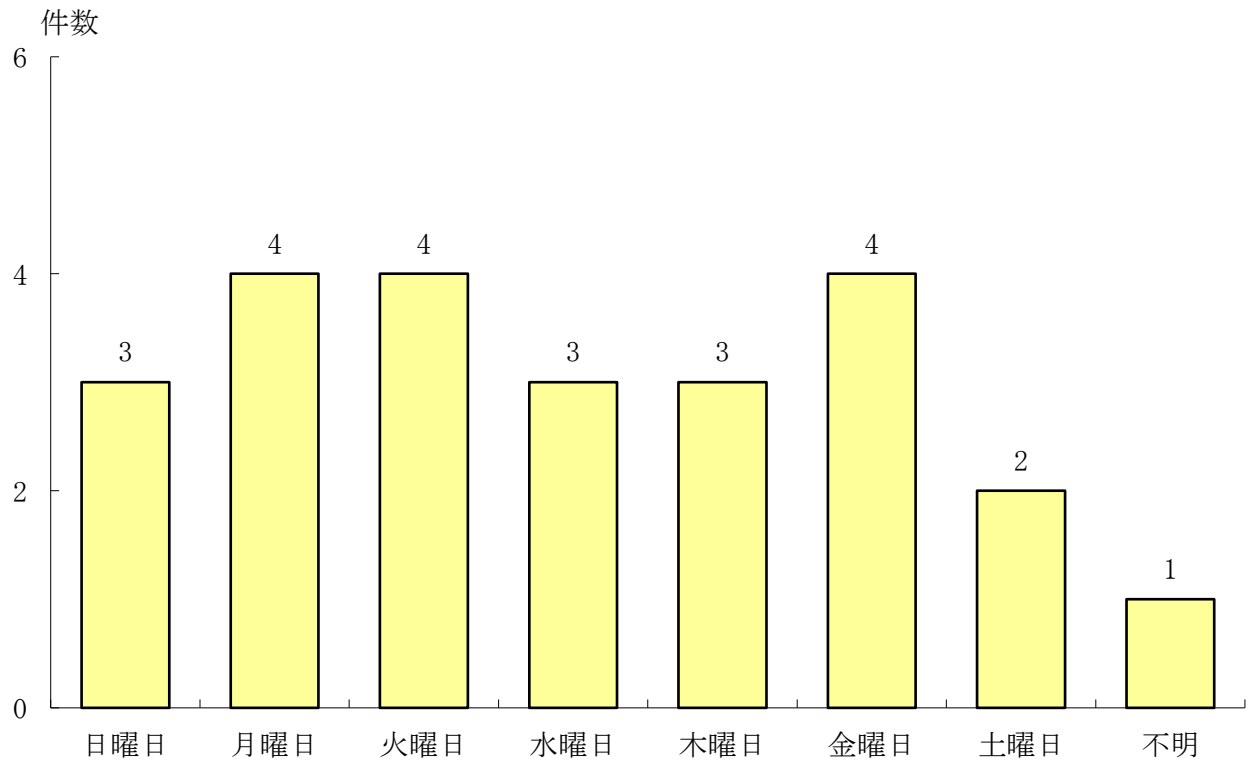
7 月			8 月			9 月			10 月			11 月			12 月			合 計		
			1			1									1			4		
				2			1						2		1			1	11	
			1													2		1		
		5			3			1			1	2		3			2	5		24
	1											1							3	
	4			1					1										10	
			2			1									1				5	
														2		1			2	
			3		5	2		4											5	
						1						2				1			7	
			1			1								1		1			3	
					1			2					1		1		3		1	
						1						1			1				3	
					97			88							251				531	
					7														7	
					35			12											61	
					35														35	
					1														1	
					1														1	
					12, 726			3, 507				10			31, 582				62, 945	
					1, 222										19				1, 241	
					24, 232			674							8, 493				45, 349	
															52				52	
	50																		50	
	50																		50	
	335							150				850			90				4, 425	
								150							90				240	
	437				1			3				10							484	
					1			3				10							47	
	822				36, 959			4, 334				870			40, 165				113, 253	
	50				1, 223			153				10			161				1, 630	
										1									2	
								1							3				5	
	2				3			1				1			2				12	
	4				10			5				3			7				34	
	46				76			35		7		46			69				391	
	81				181			55				62			105				606	

月別火災発生状況

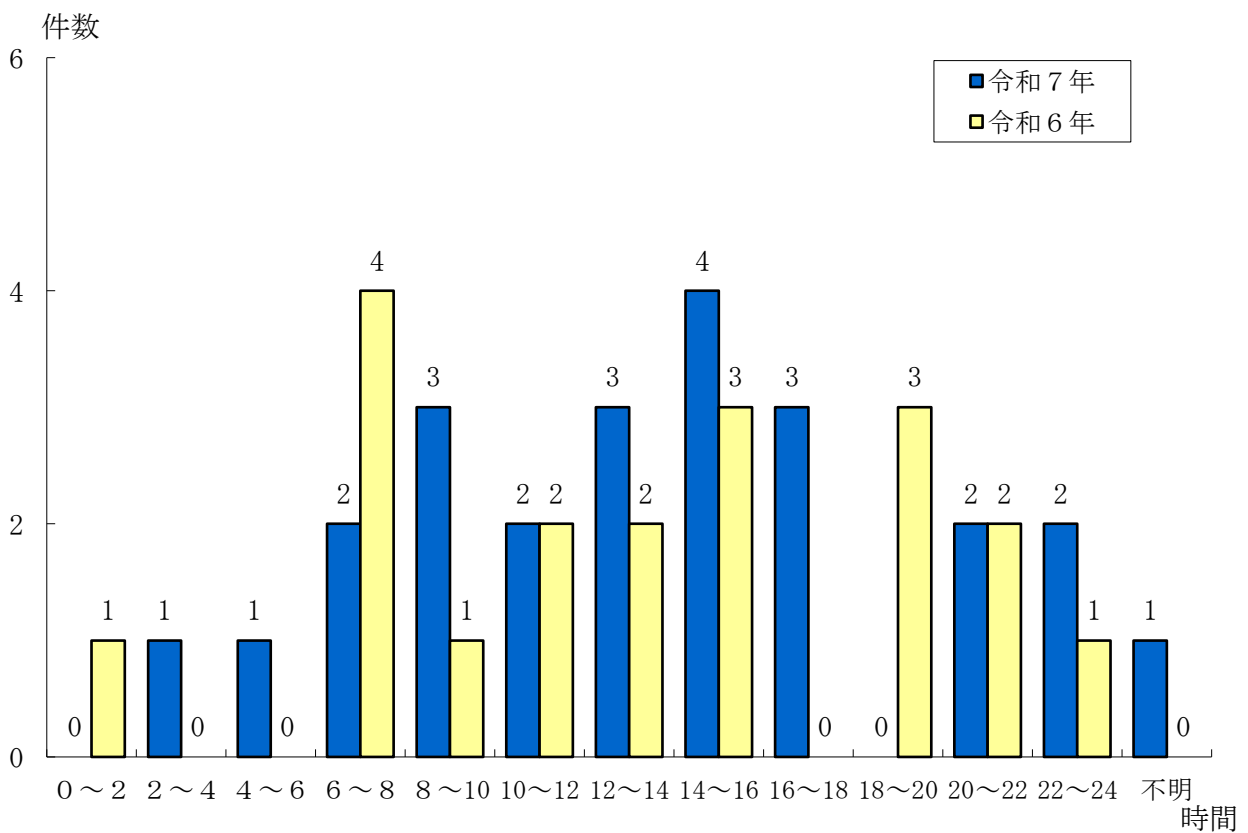
件数



曜 日 別 火 災 発 生 状 況



時 間 別 火 災 発 生 状 況



原因別火災発生状況・損害額

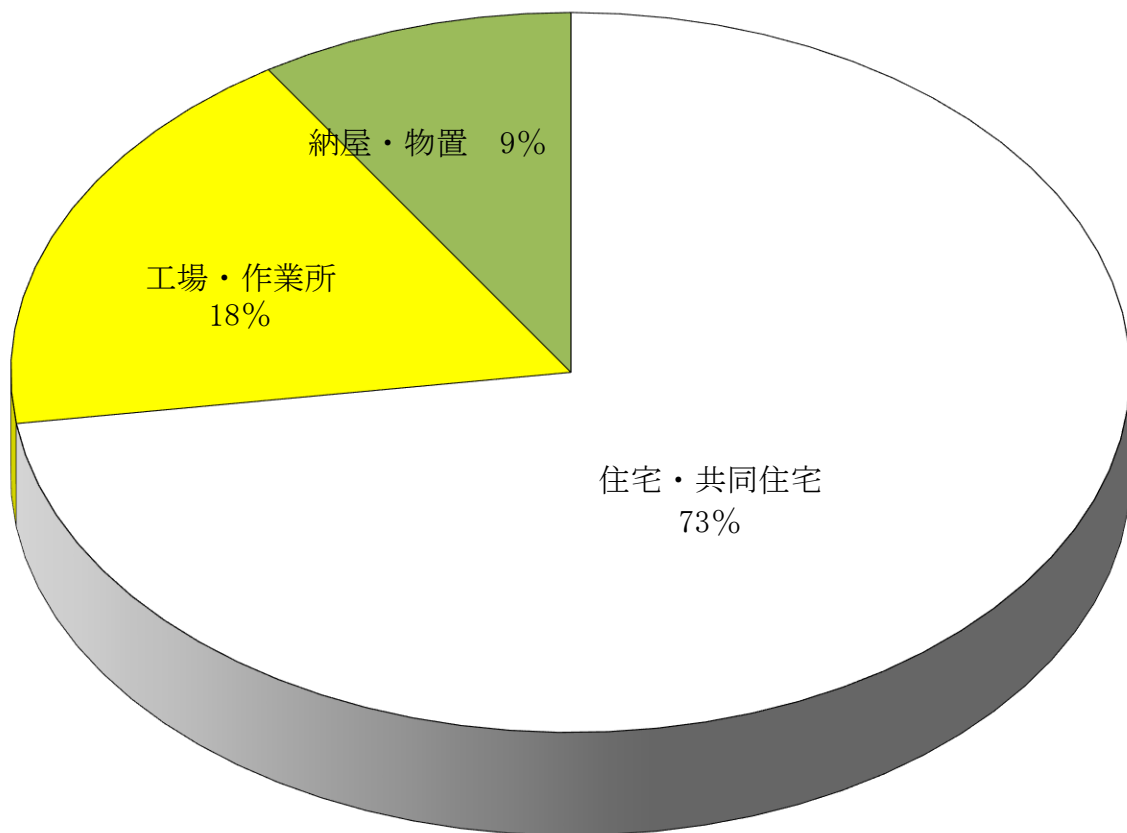
原 因	年 別 件数・損害額	令 和 7 年		令 和 6 年	
		件数	損害額（千円）	件数	損害額（千円）
電 灯 ・ 電 話 等 の 配 線 ， 配 線 器 具		4	628	3	239
放 火 ・ 放 火 の 疑 い		3	0	3	5,899
電 気 機 器		2	34,933	3	2742
溶 接 機 ・ 溶 断 機		1	11,359		
内 燃 機 関		1	3,000		
ロ ー ソ ク		1	1,241		
焼 却 炉		1	1,222		
ク ラ ッ チ		1	860		
交 通 機 関 内 配 線		1	385	1	48
線 香		1	10		
電 気 装 置		1	7	1	16
た ば こ		1	0		
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー		1	0		
ス ト ー ブ				1	650
内 燃 機 関				1	550
風 呂 か ま ど				1	138
石 油 給 湯 機				1	25
バ ー ナ ー				1	0
火 の つ い た 紙				1	0
不 明		5	59,608	2	26,089
合 計		24	113,253	19	36,396

建物用途別火災発生状況（火元）

（令和7年）

用途別 区 分	出 火 件 数					焼損床面積 (㎡)	損 害 額 (千円)
	合 計	全 焼	半 焼	部分焼	ぼ や		
住 宅 ・ 共 同 住 宅	8	4	1		3	497	61,487
工 場 ・ 作 業 所	2			1	1	27	45,855
納 屋 ・ 物 置	1				1		7
合 計	11	4	1	1	5	524	107,349

※件数及び用途別については火元用途による。



令和7年の救急概況

(1) 出動件数と搬送人員

令和7年における出動件数は4,013件、搬送人員は3,691人である。
これを前年と比較すると出動件数は139件減少し、搬送人員も152人の減少となっている。

管内では1日平均約11件の割合で救急隊が出動し、管内人口65,627人(2025.12.1現在 宮城県推計人口月報より)のうち約17人に1人が救急隊によって搬送されたことになる。

(2) 署所別出動及び搬送状況

署所別出動件数及び搬送人員では、気仙沼消防署が1,211件・1,118人で、最も出動件数が多く、出動件数全体の30.2%を占めている。

次いで、古町出張所が1,014件・947件、南三陸消防署505件・472人、本吉分署445件・408人、唐桑出張所365件・335人、歌津出張所225件・242人、大島出張所191件・169人の順となっている。

(3) 事故種別出動及び搬送状況

事故種別では、出動件数及び搬送人員が最も多いのは、急病の2,798件・2,578人で出動件数全体の69.7%となっており、次いで一般負傷580件・530人、その他(転院搬送等)397件・389人、交通事故106件・102人となっている。

この4種で出動件数は全体の96.7%、搬送人員は全体の97.5%を占めている。

(4) 月別、時間別出動及び曜日別搬送状況

月別出動件数では、7月が380件で最も多く、次いで12月が371件、1月が365件・11月が352件・6月が351件・3月が335件の順となっている。

時間別出動件数は、10時～12時が546件と最も多く、次いで8時～10時が540件、12時～14時が479件となっている。

曜日別搬送状況は、月曜日が575人で最も多く、次いで火曜日が566人、木曜日が528人で、最も少ないのが土曜日の494人となっている。

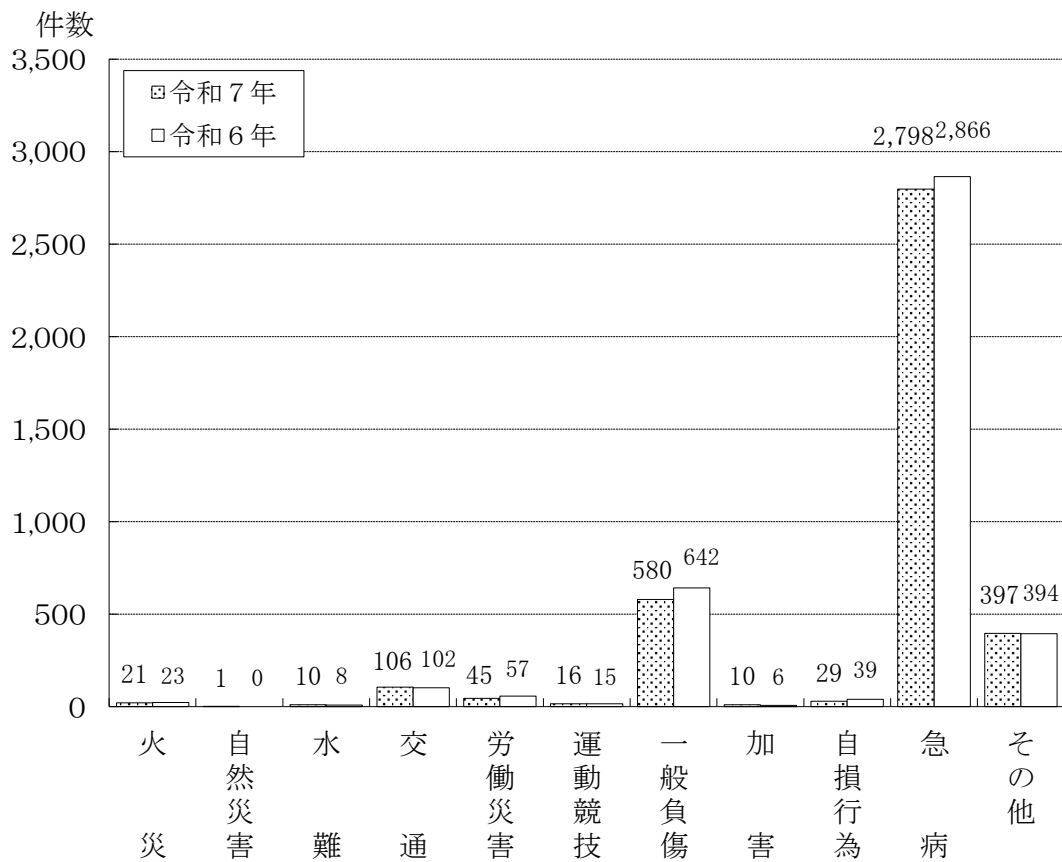
(5) 年齢別、傷病程度別搬送状況

年齢別搬送人員を見ると、65歳以上の高齢者が2,828人(77.0%)と全体に占める割合が高く、高齢者全体に対する急病搬送は71.7%を占めている。

傷病程度別搬送状況を見ると、中等症が2,017人(54.6%)で全体に占める割合が最も高く、次いで軽症1,187人(32.2%)となっている。

事故種別救急活動状況

事故種別 区 分		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
令和 7 年	出動件数	21	1	10	106	45	16	580	10	29	2,798	397	4,013
	搬送人員	6		3	102	42	14	530	8	19	2,578	389	3,691
令和 6 年	出動件数	23		8	102	57	15	642	6	39	2,866	394	4,152
	搬送人員	1		3	97	58	13	603	5	27	2,645	391	3,843



署 所 別 事 故 別 活 動 状 況

署所別 \ 事故種別			火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
気 仙 沼	7 年	出動件数	2	1	3	28	15	7	175	2	12	848	118	1,211
		搬送人員			1	33	13	7	158	1	9	780	116	1,118
	6 年	出動件数	2		3	32	23	6	166	2	11	758	93	1,096
		搬送人員			1	32	24	5	155	1	8	717	92	1,035
古 町	7 年	出動件数	1		1	40	10	1	153	5	9	747	74	1,041
		搬送人員				35	10	1	136	5	4	685	71	947
	6 年	出動件数	1		1	25	8	3	189	2	9	848	76	1,162
		搬送人員			1	23	8	3	173	2	4	745	75	1,034
大 島	7 年	出動件数	7		1	3	2	1	30		1	138	8	191
		搬送人員	1			3	2		30			126	7	169
	6 年	出動件数	16		1	5	3	3	40	1	2	140	10	221
		搬送人員			1	4	3	2	38	1	2	128	10	189
唐 桑	7 年	出動件数			2	13	2	2	59	2	1	273	11	365
		搬送人員			1	12	2	1	54	1	1	252	11	335
	6 年	出動件数	1			11	3		81		5	300	12	413
		搬送人員	1			11	3		76		3	280	11	385
本 吉	7 年	出動件数	8		1	6	10	1	62	1	2	284	70	445
		搬送人員	2			5	9	1	59	1	2	259	70	408
	6 年	出動件数	3		1	11	9		69	1	7	299	83	483
		搬送人員				10	9		67	1	6	274	83	450
南 三 陸	7 年	出動件数	2		2	12	5	1	65		1	316	101	505
		搬送人員	1		1	11	5	1	61		1	290	101	472
	6 年	出動件数			1	12	7	3	55		4	308	100	490
		搬送人員				10	7	3	54		3	297	101	475
歌 津	7 年	出動件数	1			4	1	3	36		3	192	15	255
		搬送人員	2			3	1	3	32		2	186	13	242
	6 年	出動件数			1	6	4		42		1	213	20	287
		搬送人員				7	4		40		1	204	19	275
合 計	7 年	出動件数	21	1	10	106	45	16	580	10	29	2,798	397	4,013
		搬送人員	6	0	3	102	42	14	530	8	19	2,578	389	3,691
	6 年	出動件数	23		8	102	57	15	642	6	39	2,866	394	4,152
		搬送人員	1		3	97	58	13	603	5	27	2,645	391	3,843

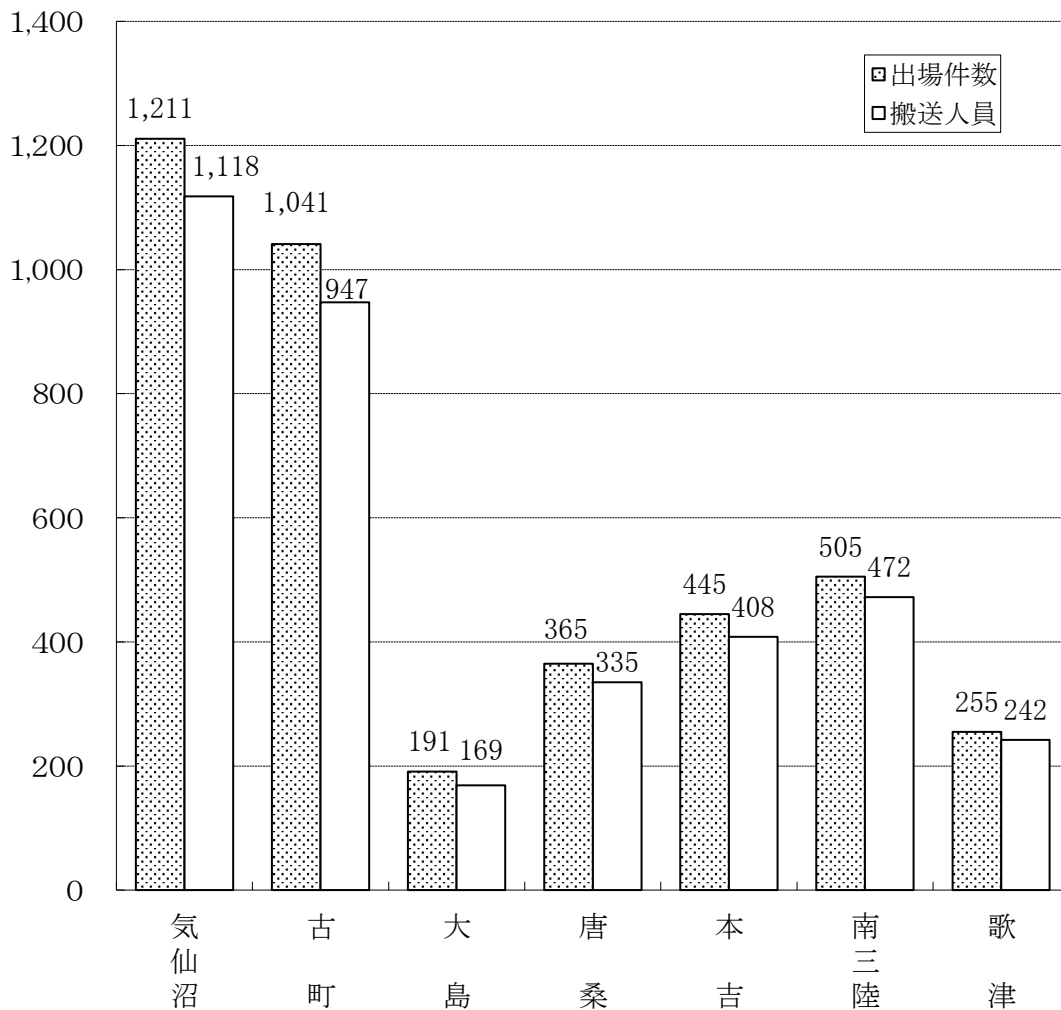
署 所 別 救 急 活 動 状 況

出動件数 4, 0 1 3 件, 搬送人員 3, 6 9 1 人に占める各署所の割合は,

気 仙 沼	1, 2 1 1 件	3 0 . 2 %	1, 1 1 8 人	3 0 . 3 %
古 町	1, 0 4 1 件	2 6 . 0 %	9 4 7 人	2 5 . 6 %
大 島	1 9 1 件	4 . 7 %	1 6 9 人	4 . 6 %
唐 桑	3 6 5 件	9 . 1 %	3 3 5 人	9 . 1 %
本 吉	4 4 5 件	1 1 . 1 %	4 0 8 人	1 1 . 0 %
南 三 陸	5 0 5 件	1 2 . 6 %	4 7 2 人	1 2 . 8 %
歌 津	2 5 5 件	6 . 3 %	2 4 2 人	7 . 2 %

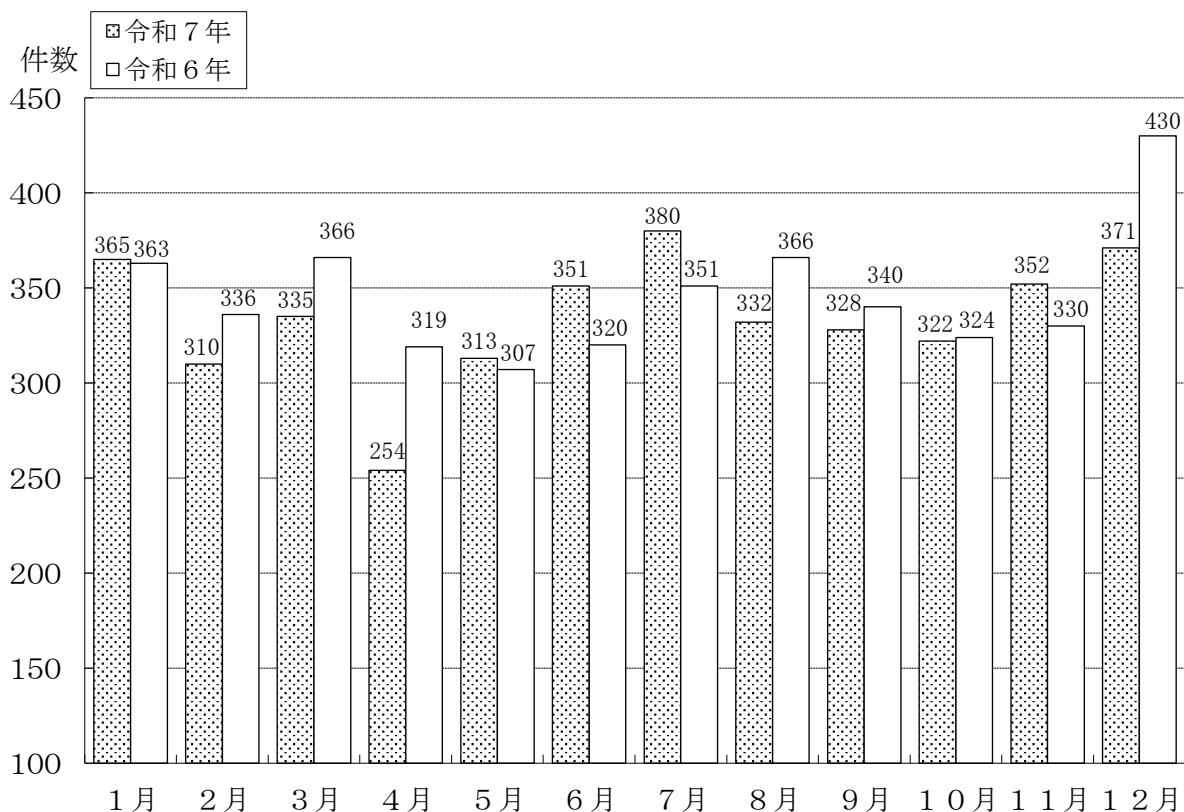
となっている。

件 : 人



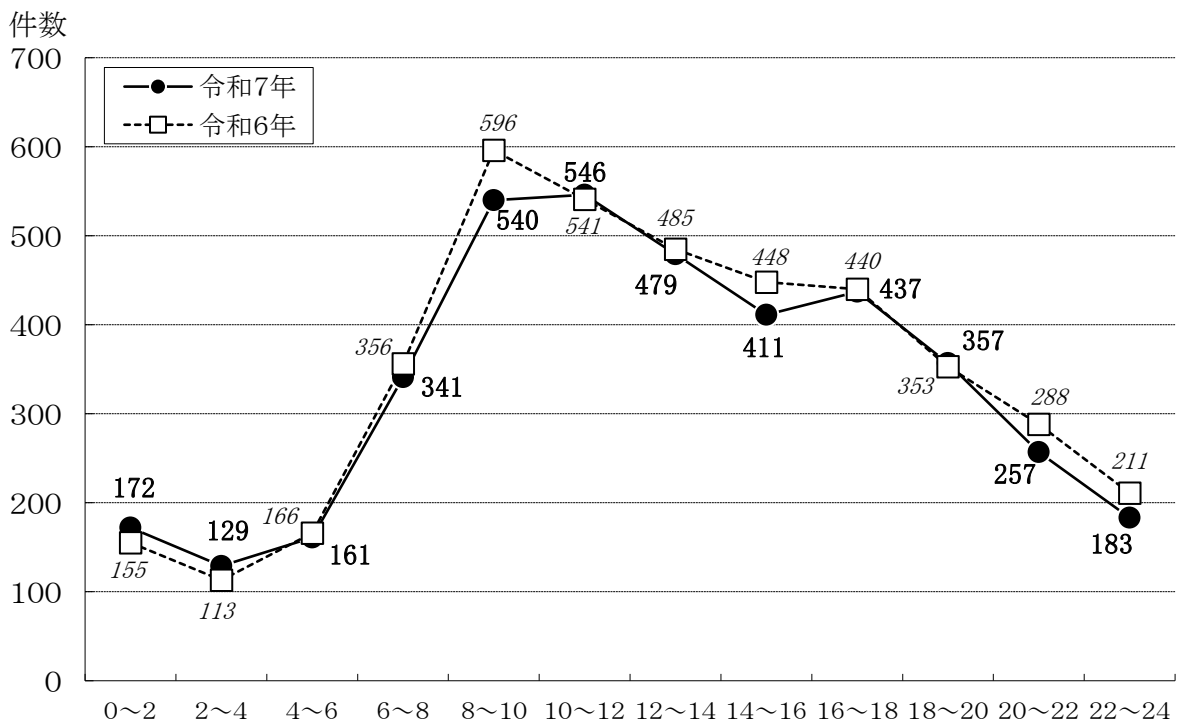
月 別 出 動 件 数

事故種別 月 別	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
1 月	3		1	5	3		51	2	1	277	22	365
2 月			1	7	4		46		2	222	28	310
3 月	1		3	7	3	1	38		8	238	36	335
4 月	1			6	5	2	34	1	2	178	25	254
5 月				10	2	1	50		1	220	29	313
6 月	2			8	1	3	56	1	3	241	36	351
7 月	2			10	4	3	56		2	262	41	380
8 月	4		2	10	5	1	43		1	227	39	332
9 月	2	1		10	6	1	57	1	1	211	38	328
1 0 月				12	5	1	40	1	1	222	40	322
1 1 月	3		1	8	2	1	50	3	4	253	27	352
1 2 月	3		2	13	5	2	59	1	3	247	36	371
合計	21	1	10	106	45	16	580	10	29	2,798	397	4,013



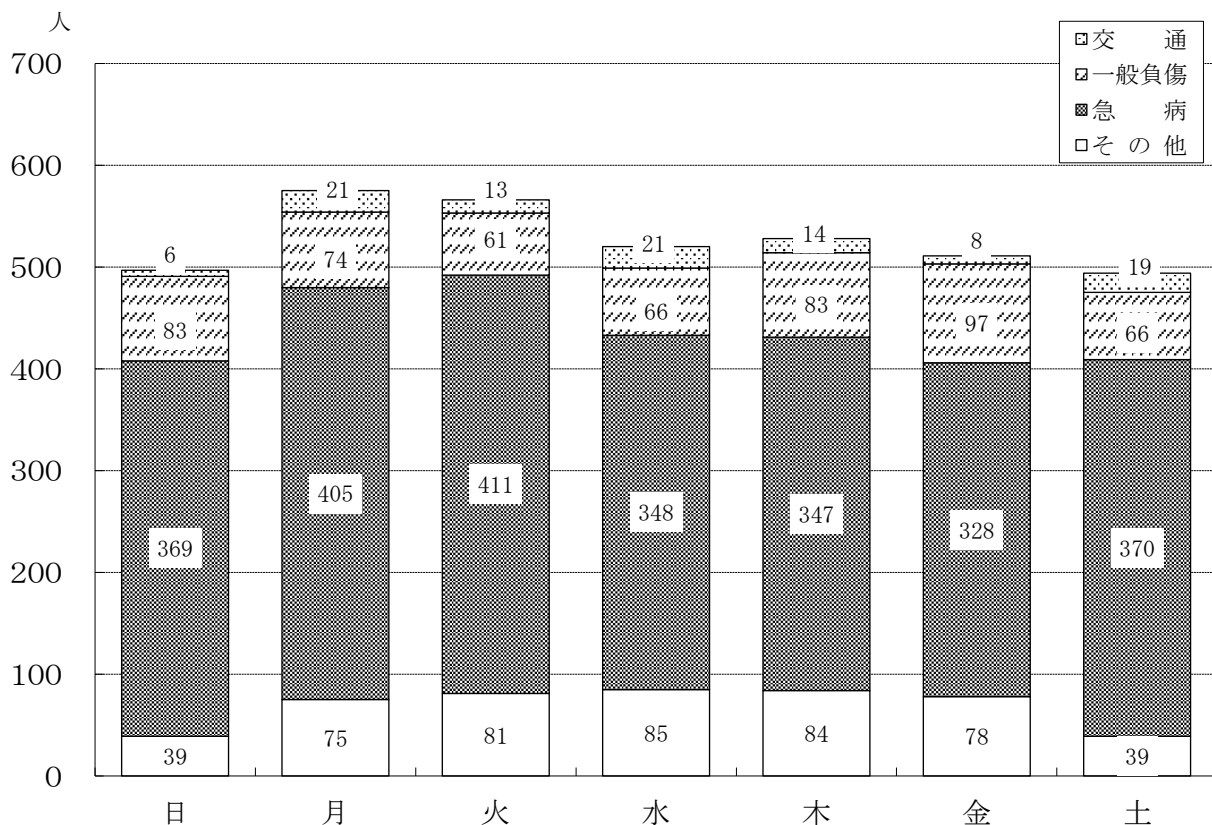
時 間 別 出 動 件 数

事故種別 時間別	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
0～2	1		1	3	1		24	2	2	133	5	172
2～4	1						24	2		99	3	129
4～6	1	1	1	2	2		24			127	3	161
6～8			1	7	4		64		3	254	8	341
8～10	1		3	23	7	1	83		3	373	46	540
10～12	1			8	8	6	68		3	358	94	546
12～14	4		1	13	10	2	64	1	3	296	85	479
14～16	3		3	19	7	4	59	1	2	253	60	411
16～18	3			8	4	2	63		3	296	58	437
18～20				13	1	1	43	2	6	273	18	357
20～22	4			8			35	2	3	196	9	257
22～24	2			2	1		29		1	140	8	183
合計	21	1	10	106	45	16	580	10	29	2,798	397	4,013



曜 日 別 搬 送 人 員

事故種別 \ 曜 日	日	月	火	水	木	金	土	計
火 災	1	2	1			2		6
自 然 災 害								
水 難	1		1				1	3
交 通	6	21	13	21	14	8	19	102
労 働 災 害	4	5	9	6	9	7	2	42
運 動 競 技	3	2	2	1	1	2	3	14
一 般 負 傷	83	74	61	66	83	97	66	530
加 害	1	1	2	1		1	2	8
自 損 行 為	4	1	4	2	5	3		19
急 病	369	405	411	348	347	328	370	2,578
そ の 他	25	64	62	75	69	63	31	389
合 計	497	575	566	520	528	511	494	3,691



事 故 種 別 年 齢 区 分 傷 病 程 度 別 搬 送 人 員 状 況

事故種別 区 分		火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
新 生 児	死 亡												
	重 症											2	2
	中等症											3	3
	軽 症										1		1
	その他												
	計										1	5	6
乳 幼 児	死 亡												
	重 症										2	1	3
	中等症							1			24	9	34
	軽 症				2			9			24		35
	その他												
	計				2			10			50	10	72
少 年	死 亡												
	重 症												
	中等症				3		3	4		1	10	4	25
	軽 症				4		7	2			24	1	38
	その他												
	計				7		10	6		1	34	5	63
成 人	死 亡			1				1			7	1	10
	重 症	1			5	2		2		2	36	18	66
	中等症	1			26	12		22	2	7	223	58	351
	軽 症				24	10	2	48	3	5	199	4	295
	その他												
	計	2		1	55	24	2	73	5	14	465	81	722
高 齢 者	死 亡	1		2				4		1	68		76
	重 症				3	1		13			250	63	330
	中等症	3			13	9	1	236	1	2	1,136	203	1,604
	軽 症				22	8	1	188	2	1	574	22	818
	その他												
	計	4		2	38	18	2	441	3	4	2,028	288	2,828
合 計	死 亡	1		3				5		1	75	1	86
	重 症	1			8	3		15		2	288	84	401
	中等症	4			42	21	4	263	3	10	1,393	277	2,017
	軽 症				52	18	10	247	5	6	822	27	1,187
	その他												
	計	6		3	102	42	14	530	8	19	2,578	389	3,691

※ 傷病程度の区分で「その他」とは、医師の診断のないもの及びその他の場所へ搬送したものをいう。

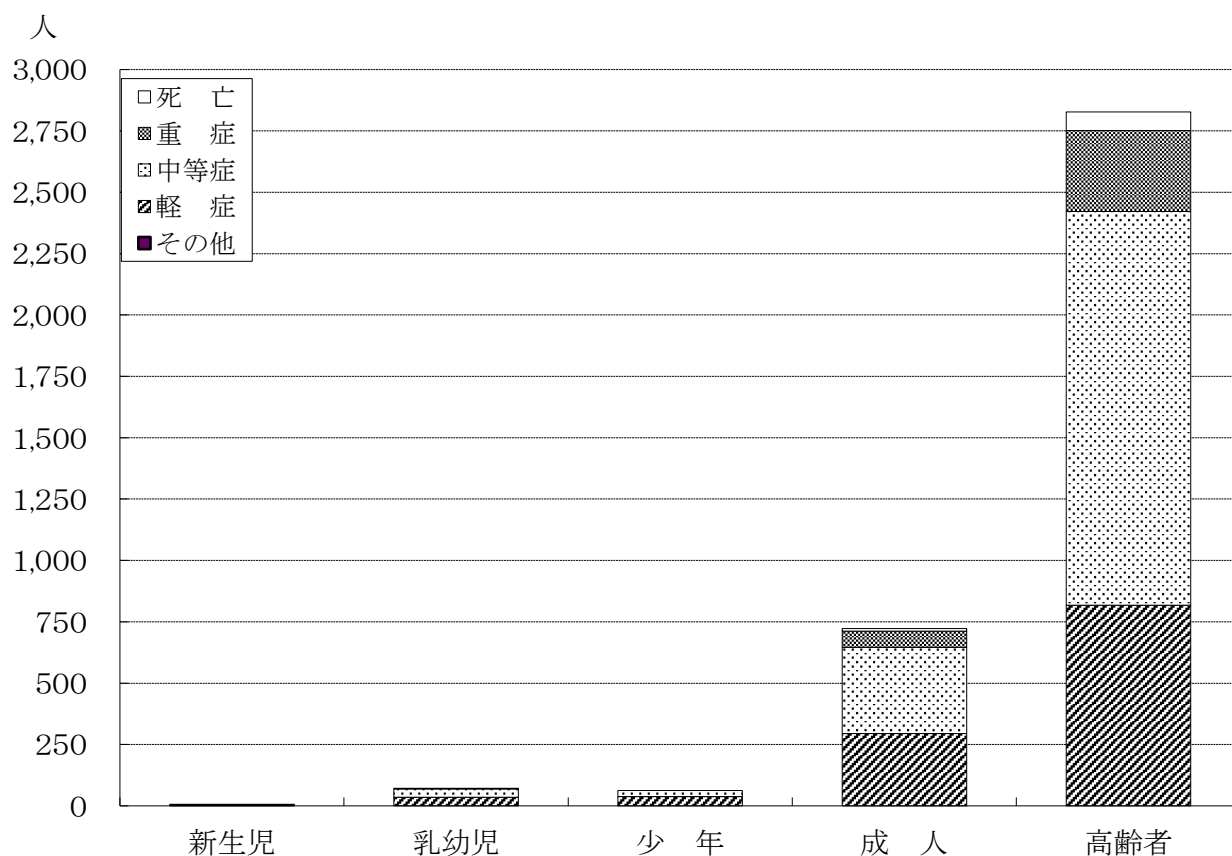
年 齢 区 分 別 搬 送 人 員

搬送人員 3,691人のうち

・ 新生児	〔生後28日未満〕	6人	0.2%
・ 乳幼児	〔生後28日～7歳未満〕	72人	1.8%
・ 少 年	〔7歳～18歳未満〕	63人	1.7%
・ 成 人	〔18歳～65歳未満〕	722人	19.3%
・ 高齢者	〔65歳以上〕	2,828人	77.0%

をそれぞれ搬送している。

年齢区分ごとの傷病程度は下記グラフのとおりとなっている。



医 療 機 関 別 搬 送 人 員

告示別	事故種別		急病		交通		一般負傷		その他		計	
	開設者別		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外	
救急告示医療機関	国立		5	5					10	10	15	15
	公立		2,394	19	94	6	504	7	316	20	3,308	52
	公的		95	95	5	5	17	17	110	110	227	227
	私 的	病院	8	8					30	30	38	38
		診療所										
計			2,502	127	99	11	521	24	466	170	3,588	332
その他の医療機関	国立											
	公立		30	2	1		3		10	9	44	11
	公的											
	私 的	病院	7	1					3		10	1
		診療所	39	1	2		6		2	1	49	2
計			76	4	3		9		15	10	103	14
計	国立		5	5					10	10	15	15
	公立		2,424	21	95	6	507	7	326	29	3,352	63
	公的		95	95	5	5	17	17	110	110	227	227
	私 的	病院	15	9					33	30	48	39
		診療所	39	1	2		6		2	1	49	2
計			2,578	131	102	11	530	24	481	180	3,691	346
その他の場所	接骨院他											
	その他											
	計											
合計			2,578	131	102	11	530	24	481	180	3,691	346

その他の救急活動状況

覚知別出動状況

覚 知 別	出動件数
計	4,013
1 1 9 番	3,857
警 察 電 話	15
加 入 電 話	103
駆 け 付 け	23
自 己 覚 知	9
そ の 他	6

不搬送理由

不 搬 送 理 由	出動件数
計	335
辞退（到着前）	7
辞退（到着後）	126
拒 否	30
死 亡	93
他車（隊）搬送	18
傷病者なし	23
誤 報 ・ いたずら	2
そ の 他	36

診療科目別搬送状況

診 療 科 目 別	搬送人員
計	3,691
外 科	121
内 科	990
脳神経外科	563
循環器科	501
呼吸器科	288
消化器科	295
整形外科	566
小 児 科	84
泌尿器科	78
産 婦 人 科	27
精神神経科	10
耳鼻咽喉科	87
眼 科	3
皮 膚 科	18
救命センター	4
その他の科	56

その他の統計

種 別	出動件数
転 院 搬 送	393
医 師 ・ 資 機 材 搬 送	2
そ の 他	2
転 送	15
ドクターヘリ	12
初動要請	10
現場要請	2

※ 転院搬送：医療機関からの要請に応じて当該医療機関の管理下にある傷病者を他の医療機関へ搬送すること。

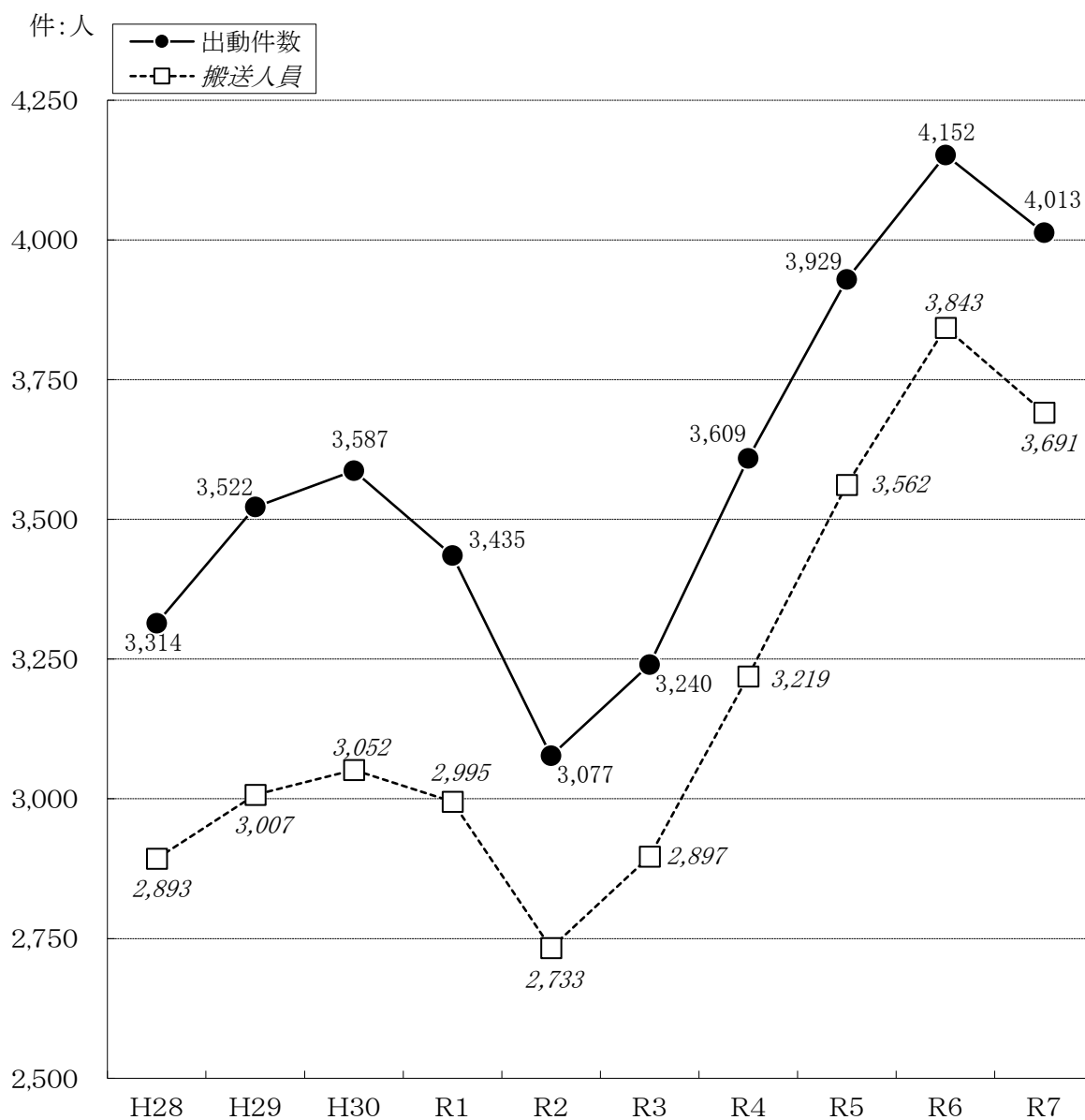
※ 転 送：医療機関に搬送し医師に引き継いだものの、当該医療機関の事情等により他の医療機関に同一の救急隊が搬送すること。

※ ドクターヘリ：平成28年10月28日より運航開始。
通報時要請したものを「初動要請」、救急現場から要請したものを「現場要請」という。

過去10年間の救急活動の推移

令和7年の救急活動は、平成28年を基準とした場合、出動件数・搬送件数ともに大幅に増加している。

過去10年の推移としては、令和3年以降、急激な増加傾向にあった出動件数・搬送人員ともに5年ぶりの減少となったが、過去最多を記録した令和6年に続き、2年連続で4,000件を超えている。

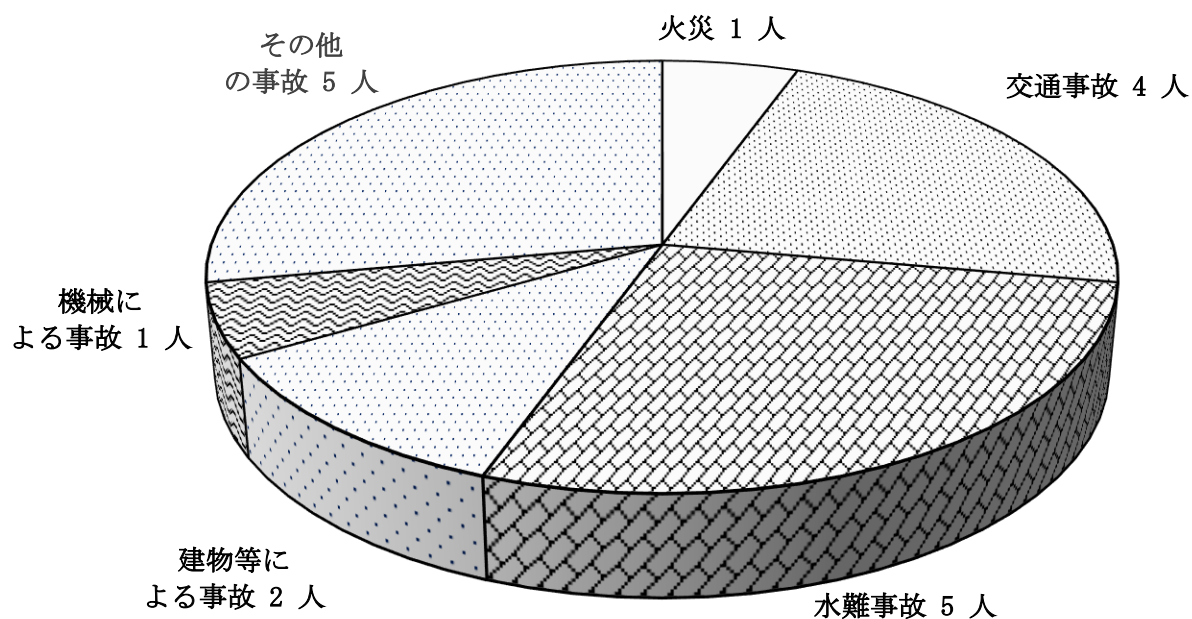


事故種別救助活動状況

事故種別 件数区分		火 災		交	水	風自	機よ	建よ	ガ酸	破	その	計
		建	建物以外	通	難	水然	る	物る	ス欠	裂	他の	
令和7年	出動件数	1		13	8	1	3	5			4	35
	活動件数	1		4	5	0	1	2			5	18
	救助人員	1		4	5	0	1	2			5	18
令和6年	出動件数			14	6		1	2			8	31
	活動件数			7	3		1	1			4	16
	救助人員			7	3		1	1			5	17

※ 水難事故6件のうち5件に、「水難救助隊」が出動している。

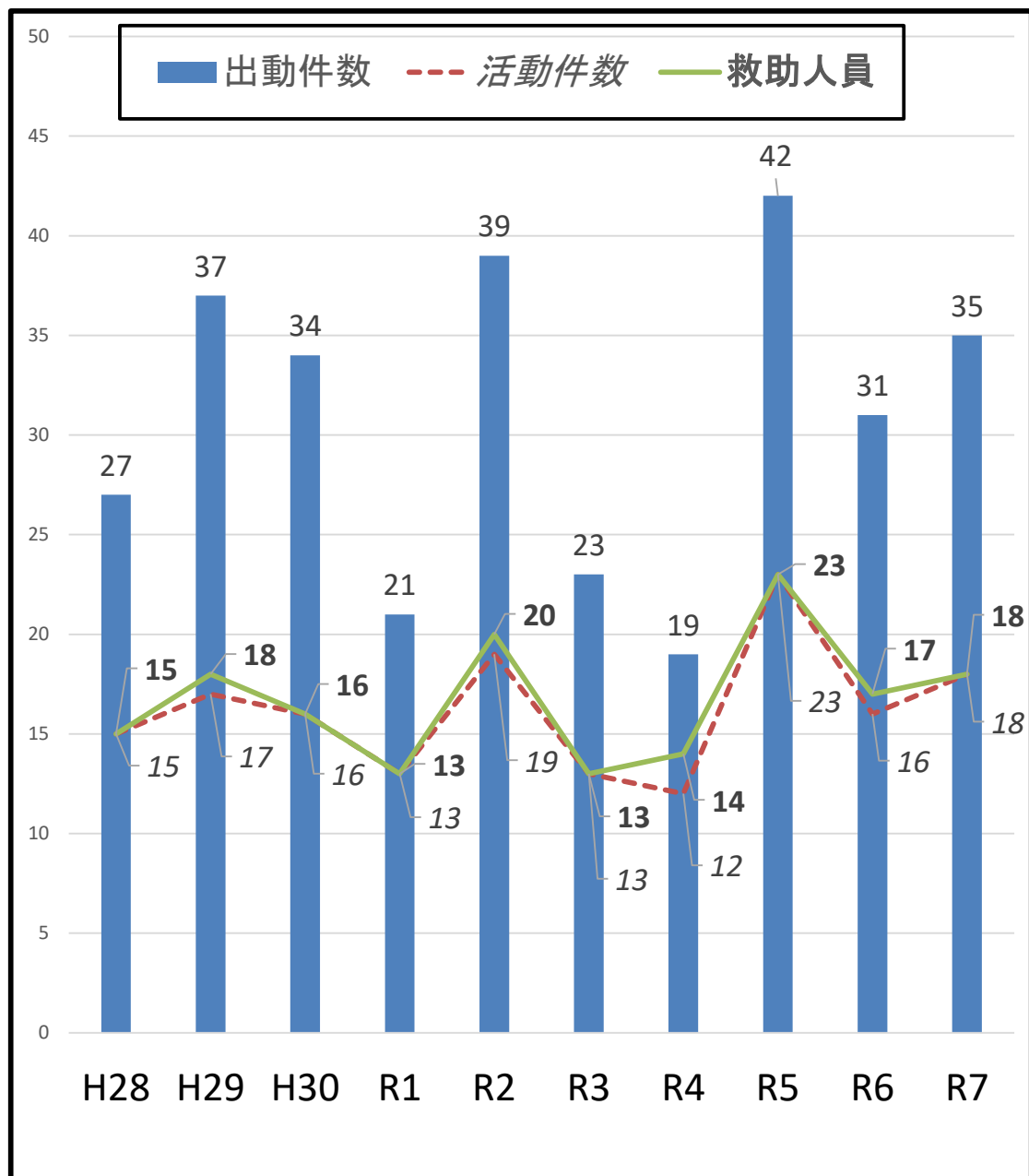
事故種別救助人員



過去10年間の救助活動の推移

過去10年間は、若干の増減を繰り返しながら推移している。

令和7年の救助活動は、過去10年間に於いて出動件数、活動件数、救助人員は平均的な値となっている。



防災センター



消火器取扱い訓練



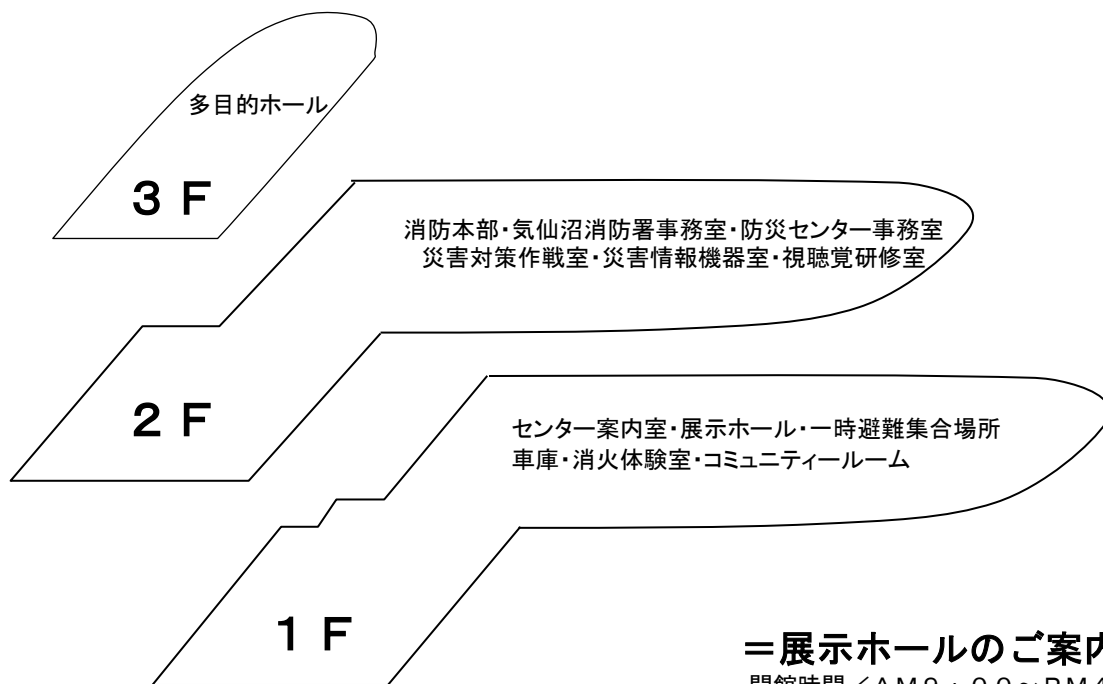
地震体験コーナー

防 災 セ ン タ ー の 概 要

「気仙沼・本吉広域防災センター」は、消防本部・消防署との合築の施設で国土庁と宮城県の補助を受け、平成6年4月1日にオープンしました。

平常時は、地震・煙・消火等の体験学習や各種展示を通じて防災行動力・防災知識等の向上を図ります。

また、災害時には、災害対策活動の拠点として1市1町や関係機関等への情報提供や連絡調整等を行います。

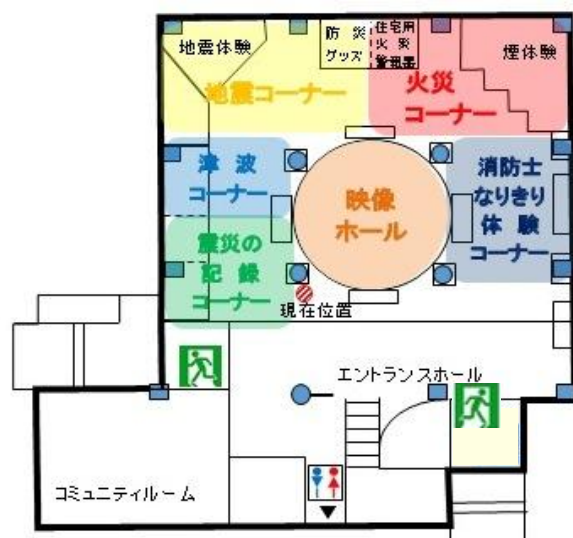


その他、敷地内には災害時に備えた備蓄倉庫、訓練塔があります。

＝展示ホールのご案内＝

開館時間／AM9：00～PM4：00

休 館 日／月曜日・年末年始(12/28～1/7)



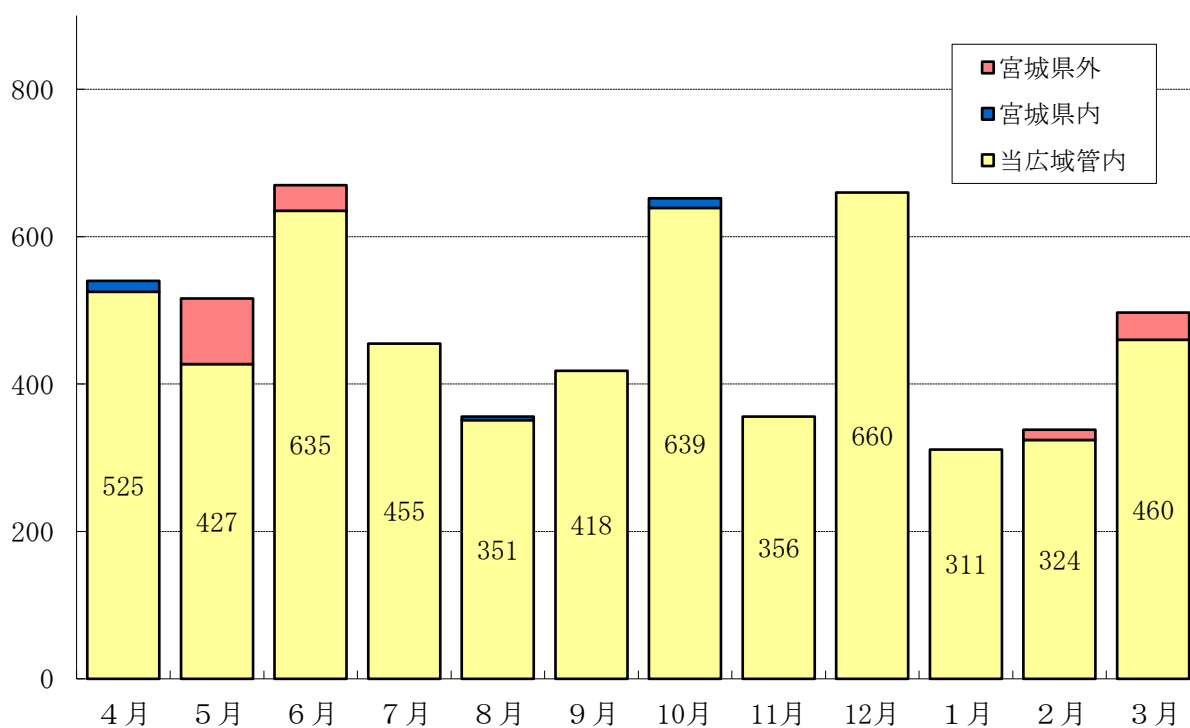
■センター概要

- 敷地面積／5,225.02㎡ 延べ床面積／2,981.4㎡
(他に、備蓄倉庫／299.95㎡、訓練塔／299.75㎡)

月 別 ・ 地 域 別 利 用 状 況

(令和7年度) (単位:人)

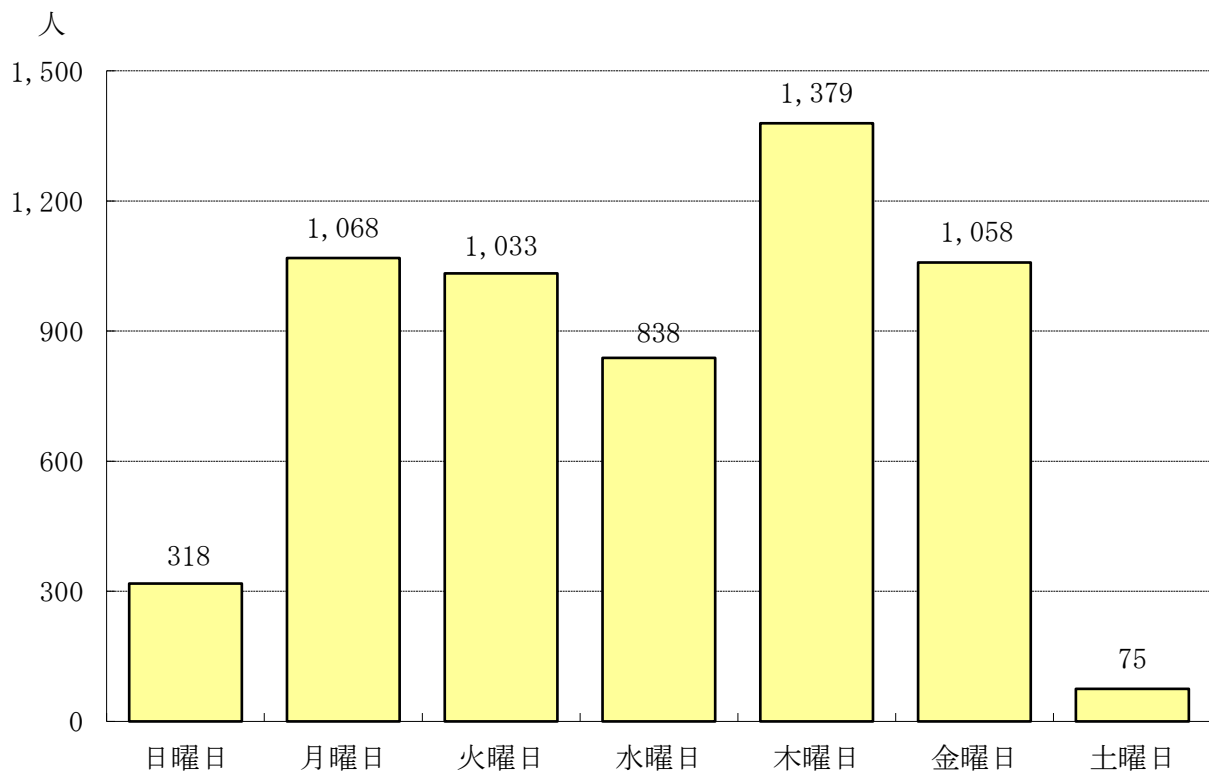
	当 広 域 管 内	宮 城 県 内	宮 城 県 外	合 計
4 月	525	15	0	540
5 月	427	0	89	516
6 月	635	0	35	670
7 月	455	0	0	455
8 月	351	5	0	356
9 月	418	0	0	418
10 月	639	13	0	652
11 月	356	0	0	356
12 月	660	0	0	660
1 月	311	0	0	311
2 月	324	0	14	338
3 月	460	0	37	497
合 計	5,561	33	175	5,769
令和6年度計	5,734	107	131	5,972
前年度比較	△ 173	△ 74	44	△ 203
開館以来累計	199,146	11,766	16,784	227,696



月 別 ・ 曜 日 別 利 用 状 況

(令和7年度) (単位：人)

	日	月	火	水	木	金	土	合 計
4 月	3	82	134	120	170	31	0	540
5 月	0	55	90	59	214	98	0	516
6 月	92	102	79	67	186	144	0	670
7 月	8	50	128	63	96	94	16	455
8 月	1	32	100	19	82	122	0	356
9 月	61	90	30	139	22	76	0	418
10 月	17	130	2	126	216	147	14	652
11 月	15	51	109	38	59	77	7	356
12 月	37	235	141	24	88	135	0	660
1 月	1	24	94	73	71	10	38	311
2 月	43	43	48	38	52	114	0	338
3 月	40	174	78	72	123	10	0	497
合 計	318	1,068	1,033	838	1,379	1,058	75	5,769
令和6年度計	282	1,043	1,233	783	1,442	1,008	181	5,972
前年度比較	36	25	△ 200	55	△ 63	50	△ 106	△ 203
開館以来累計	27,522	24,725	37,823	40,107	43,456	40,645	13,418	227,696



利 用 者 別 状 況

(令和7年度)

団 体 名 等	団 体 数	人 数
幼 年 消 防 ク ラ ブ	2	67
少 年 消 防 ク ラ ブ	12	375
婦 人 防 火 ク ラ ブ	7	143
危険物安全協会・防火管理者協会	12	233
消 防 団	35	647
行 政 機 関	163	3,685
各 種 団 体 等	1	25
救 急 救 命 指 導 講 習	30	279
上 記 以 外 (見 学 ・ 体 験 等)	－	315
合 計	262	5,769

主 な 備 蓄 品

(令和8年3月31日現在)

品 名	数 量	備 考
毛 布	210枚	
非 常 食	820食	アルファ米 (700) , ビスケット (120)
飲 料 水	720本	500m l
担 架	19台	折りたたみ
防 災 ト イ レ	1 基	
ブ ル ー シ ー ト	10枚	
メ ガ ホ ン	7 個	サイレン付き
防 災 リ ヤ カ ー	4 台	ワンタッチ (2) , 折りたたみ (1) 救護者担架付 (1)
飲 料 水 用 ポ リ 缶	8 缶	
ポ リ バ ケ ツ	6 個	

※備蓄品については、年次計画により購入。



気仙沼・本吉消防本部の女性消防職員推進キャラクター「かなえちゃん・みなみちゃん」
キャラクターデザインも当消防本部の女性消防吏員が担当して作成しており、LINEスタンプ
への登録を行っております。

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部

〒988-0104 宮城県気仙沼市赤岩五駄鱈43番地2

TEL 0226-22-6689

FAX 0226-22-0119